

OnestopPodcast

親方 Project 編

2019-07-27 版 親方 Project 発行

はじめに

この本の目的

この本を手にとっていただき、ありがとうございます。

OnestopPodcast というタイトル通り、Podcast を聞く、配信を始める、続けるの 3 つの視点でそれぞれのステージに関するノウハウ、テクニック、メリットをまとめた本です。執筆者はいずれも Podcast の聴講や配信を日常的に行っている人で、自分の体験に基づく様々なノウハウを共有いただきました。

1 章「Podcast を聞こう」では、Podcast を聞くメリット、聞き方、自分に合う Podcast の探し方といった内容を取り上げました。これを機会に、新しい Podcast を探してみませんか？

2 章では、「Podcast を始めよう」という内容で、Podcast を始めるにあたって必要なネタ出し、企画、収録などにかかるテクニックを取り上げています。ほらこれでもういままで Podcast を始めることができますよ？

3 章では、「Podcast を続けよう」と題し、始める以上に大変な「継続する」ことに焦点を当てました。ゲストを呼ぶ方法、リスナーとのエンゲージを上げる方法、モチベーションや Podcast に関するイベントなどについても触れました。なにも Podcast に限らず、何かを継続するときの参考にもなるのではないかでしょうか？

また、付録として、Podcast を聞く人、配信している人 (Podcaster) のアンケートがあります。リスナーには、なぜ聞いているのか、どんなジャンルを聞いているのかをお尋ねしました。Podcaster には、なぜ自分で配信しているのか、配信に込めた思いは？ といった点をお尋ねしました。いずれもその人なりの素敵な回答ですので、参考にしてみてください。

この本の企画は、著者でもあります、KANE@higuyume さん、FORTE@FORTEgp05 さんなくしては成立しませんでした。お二人との話の中で企画がまとまり、その後の著者の募集、内容に至るまで精力的に動いていただき、結果としてこのような強い本が出来上がりました。寄与としては編集長よりよほど大きいでしょう。改めて、お礼申し上げます。お二人には、まえがき、あとがきにおいてそれぞれ感想等をいただくこととします。

KANE です。

Podcast の楽しさに目覚めて、さまざまな人と Podcast を作ってきました。ゲストで出るだけでも楽しいのですが、自分のチャンネルを持って主体的に配信をしていく楽しさは格別です！ この本を読んで、Podcast を始めるハードルが下がってくれることを願っております。

FORTE です。

Podcast を聞いていますか？本書は Podcast を聞く人であるリスナーさんも、Podcast を配信する Podcaster さんにもおすすめの本になっています。また聞いていない人、もう聞いている人、知らなかった Podcast の楽しみ方、Podcast を通して得られた楽しさが随所に散りばめられていると思いますので、ぜひさまざまな楽しさを体感していただければと思います。

前口上をあまり長々とやるものもありよろしくありませんね。そろそろ本文に参りましょう。この本が、あなたの Podcast 活用の一助となりましたら幸いです。またもしこの本を参考にして Podcast を始めたよ、といったことがありましたら是非お知らせください。

2019 年 7 月
編集長 親方@親方 Project 拝

免責事項

- ・ 本書の内容は、情報提供のみを目的としております。著者一同、正確性には留意しておりますが、正確性を保証するものではありません。この本の記載内容に基づく一切の結果について、著者、編集者とも一切の責を負いません。
- ・ 会社名、商品名については、一般に各社の登録商標です。TM 表記等については記載しておりません。また、特定の会社、製品、案件について、不当に貶める意図はありません。
- ・ 本書の一部あるいは全部について、無断での複写・複製はお断りします。

目次

はじめに	2
この本の目的	2
免責事項	3
第1章 Podcast を聴こう!	13
1.1 Podcast とは?	13
1.1.1 Podcast の歴史	13
1.2 なぜ Podcast を聴く?	14
1.2.1 どんな Podcast があるの?	15
1.3 どうやって聴くの?	16
1.3.1 スマホ (iPhone) で聴く	16
1.3.2 Android で聞く	17
入浴しながら Podcast を聴く@みずりゅ	17
1.3.3 PC で聴く	17
Podcast の配信通知	17
PC で聴くメリット	19
1.4 どう探せばいいの?	20
1.4.1 ググる	20
1.4.2 Podcast Freaks	20
1.4.3 すばきやす	20
1.4.4 海外の Podcast 番組を探すにはどうする?	21
感想ツイートした人の聴いた番組を聴いてみる@みずりゅ	22
1.5 Podcast を聞き続けよう	22
1.6 おわりに	23
第2章 Podcast を始めよう!	24
2.1 始め方	24
2.2 方針ぎめ	24

2.2.1	ゲストを呼ばない場合	25
1人の場合	25	
虚空に向かって話をする@みづりゅ	25	
2人の場合	25	
3人以上の場合	26	
2.2.2	ゲストを呼ぶ場合	26
1人の場合	26	
2人の場合	26	
3人以上の場合	26	
2.3	テーマ決め	27
	Podcast のテーマを考える	27
2.4	ネタ出し	28
2.4.1	パーソナリティ同士で話す場合	28
2.4.2	ゲストを呼んで話す場合	28
	共通の趣味の話をすると盛り上がりすぎる @みづりゅ	29
2.4.3	これでお互い快適に！ ゲストを呼ぶときの準備 3つ	29
	ヒアリングノートの URL を事前に共有しよう	30
	事前に公開日を伝えよう	30
	収録 2~3 日前にリマインド連絡をしよう	30
2.4.4	常に決めないで考えているとネタが拾える	31
2.5	収録	31
2.5.1	準備するもの	32
	オンライン収録環境	32
	Mac でパーソナリティ側でのみオンライン収録環境を作る	33
	Windows でパーソナリティ側でのみオンライン収録環境を作る	34
	オフライン収録環境	34
2.5.2	収録場所	35
	収録の場所	35
	オンライン収録をやってみて感じたこと@FORTE	35
	Podcast 収録場所としてのラボ@おやかた	36
2.5.3	録音機材	36
	マイク	36
	録音ソフト	38
	ミキサー	38
2.5.4	収録時に注意すべき点	38
	マイクテクニック	38

外の騒音	39
部屋の内部で発生するノイズ	39
出演者からのノイズ	39
編集点を作る	40
収録の流れ	40
2.5.5 実際に録音してみる	43
2.5.6 より良い収録のために	44
ファシリテーションの目的	44
音声メディアと分かりやすさ	44
リスナーが知りたい情報を補足する、引き出す	45
ゲストが話したいことを吐き出させる	46
2.5.7 話の質を上げる	46
話の質をよくするとは？	46
話のスピードをコントロールする	47
滑舌を意識する	47
表情豊かな声を出す	47
つなぎ言葉を控える	48
マイクに向かって話す	48
文章をしりすぼみにしない	48
より良い収録のために収録中にできること@ FORTE	48
2.6 編集	49
2.6.1 FORTE おすすめの編集方法	49
音量を大きくする	49
ノイズの削除	50
歯擦音の低減	51
無音の切り詰め	51
音量の調整	52
Audacity にキーボードショートカット追加	53
細かい編集を行う	53
参考情報：Audacity Plugin のお話し	54
2.7 配信	56
2.7.1 anchor	56
anchor とは？	56
アカウントの作成	58
アイコンの登録	58
Podcast チャンネル情報の入力	58

音声のアップロード	59
タイトルと詳細の記載	59
配信日の指定	60
配信画面	60
2.7.2 SoundCloud	61
SoundCloud とは	61
Podcast のための機能	61
プロフィールページ	63
音声ファイルのライセンス	63
料金プラン	64
アップロード方法	64
2.7.3 yattecast	66
配信方法	67
yattecast の改造	71
2.7.4 Youtube	72
2.7.5 Spotify	72
2.7.6 ブログ	72
2.7.7 個人サイト（WordPress + PowerPress Podcasting Plugin）	73
カテゴリーを用意する	73
Blubrry の無料サービスに登録しておく	73
Podcast 音声ファイルをアップロードする	74
記事を投稿する	74
ブラウザ上で音声プレイヤーを表示させる	75
 第3章 Podcast を続けよう	77
3.1 継続の障壁と対策	77
3.1.1 ゲスト問題	77
知り合いを増やす	77
Podcast のアピール	78
Podcast にゲスト出演させてもらう	78
aozora.fm の場合	78
3.1.2 ネタ切れ～テーマの枯渇・テーマの探し方～	80
タイトルコールとキャッチコピーについて	80
メインネタについて	82
雑さ、という大事なこと	84
3.1.3 ニュースを探す難しさ	86

3.1.4	忙しさ	86
3.1.5	編集が面倒、大変	86
3.1.6	リスナーの盛り上がりが弱い	87
	公式 Twitter アカウントを作る	87
	ハッシュタグを作る	87
	フィードバックを呼びかける	88
	Podcast タイトルを考える	88
3.1.7	誰も聴いてくれてないのでは？	89
	前もって理解しておく	89
	見える化する	89
	番組オリジナルグッズを作る	90
3.2	Podcast の楽しさ	91
3.2.1	宣伝	91
3.2.2	イベント	91
	春のポッドキャストまつり	91
	公開収録	92
	公開聴取回	93
	飲み会収録	95
付録 A	Podcast リスナーさんへのアンケート	97
A.1	Podcast リスナーさんへのアンケート@FORTE	98
A.1.1	簡単な自己紹介	98
A.1.2	どうして聴いているのか？	98
A.1.3	主に何で聴いているのか？	98
A.1.4	いつ、どんなときに聞いているのか？	98
A.1.5	Podcast の好きなところ	98
A.1.6	好きなジャンル	99
A.1.7	こんな Podcast が聴きたい	99
A.2	Podcast リスナーさんへのアンケート@KANE	100
A.2.1	簡単な自己紹介	100
A.2.2	どうして聴いているのか？	100
A.2.3	主に何で聴いているのか？	100
A.2.4	いつ、どんなときに聞いているのか？	100
A.2.5	Podcast の好きなところ	100
A.2.6	好きなジャンル	100
A.2.7	こんな Podcast が聴きたい	100

A.3	Podcast リスナーさんへのアンケート@えびちき	101
A.3.1	簡単な自己紹介	101
A.3.2	どうして聴いているのか?	101
A.3.3	主に何で聴いているのか?	101
A.3.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	101
A.3.5	Podcast の好きなところ	101
A.3.6	好きなジャンル	101
A.3.7	こんな Podcast が聴きたい	101
A.4	Podcast リスナーさんへのアンケート@きり丸	102
A.4.1	簡単な自己紹介	102
A.4.2	どうして聴いているのか?	102
A.4.3	主に何で聴いているのか?	102
A.4.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	102
A.4.5	Podcast の好きなところ	102
A.4.6	好きなジャンル	102
A.4.7	こんな Podcast が聴きたい	102
A.5	Podcast リスナーさんへのアンケート@杉緑平	103
A.5.1	簡単な自己紹介	103
A.5.2	どうして聴いているのか?	103
A.5.3	主に何で聴いているのか?	103
A.5.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	103
A.5.5	Podcast の好きなところ	103
A.5.6	好きなジャンル	103
A.5.7	こんな Podcast が聴きたい	103
A.6	Podcast リスナーさんへのアンケート@naokazu_terada	104
A.6.1	簡単な自己紹介	104
A.6.2	どうして聴いているのか?	104
A.6.3	主に何で聴いているのか?	104
A.6.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	104
A.6.5	Podcast の好きなところ	104
A.6.6	好きなジャンル	104
A.6.7	こんな Podcast が聴きたい	105
A.7	Podcast リスナーさんへのアンケート@mizuriyu	106
A.7.1	簡単な自己紹介	106
A.7.2	どうして聴いているのか?	106
A.7.3	主に何で聴いているのか?	106

A.7.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	106
A.7.5	Podcast の好きなところ	106
A.7.6	好きなジャンル	106
A.7.7	こんな Podcast が聴きたい	106
A.8	Podcast リスナーさんへのアンケート@S(エス)	107
A.8.1	簡単な自己紹介	107
A.8.2	どうして聴いているのか?	107
A.8.3	主に何で聴いているのか?	107
A.8.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	107
A.8.5	Podcast の好きなところ	107
A.8.6	好きなジャンル	107
A.8.7	こんな Podcast が聴きたい	108
A.9	Podcast リスナーさんへのアンケート@おやかた	109
A.9.1	簡単な自己紹介	109
A.9.2	どうして聴いているのか?	109
A.9.3	主に何で聴いているのか?	109
A.9.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	109
A.9.5	Podcast の好きなところ	109
A.9.6	好きなジャンル	109
A.9.7	こんな Podcast が聴きたい	109
A.10	Podcast リスナーさんへのアンケート@いわしまん	110
A.10.1	簡単な自己紹介	110
A.10.2	どうして聴いているのか?	110
A.10.3	主に何で聴いているのか?	110
A.10.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	110
A.10.5	Podcast の好きなところ	111
A.10.6	好きなジャンル	111
A.10.7	こんな Podcast が聴きたい	112
A.11	Podcast リスナーさんへのアンケート@ひな	113
A.11.1	簡単な自己紹介	113
A.11.2	どうして聴いているのか?	113
A.11.3	主に何で聴いているのか?	113
A.11.4	いつ、どんなときに聞いているのか?	113
A.11.5	Podcast の好きなところ	113
A.11.6	好きなジャンル	114
A.11.7	こんな Podcast が聴きたい	114

付録 B	Podcaster さんへのアンケート	115
B.1	Podcaster さんへのアンケート@FORTE	115
B.1.1	Podcast タイトル	115
B.1.2	なにをやっているか（内容など）	116
B.1.3	なぜやっているのか	116
B.1.4	これから始めたい人にひとこと。	116
B.1.5	宣伝& URL	116
B.2	Podcaster さんへのアンケート@KANE	117
B.2.1	Podcast タイトル	117
B.2.2	なにをやっているか（内容など）	117
B.2.3	なぜやっているのか	118
B.2.4	これから始めたい人にひとこと。	118
B.2.5	宣伝& URL	118
B.3	Podcaster さんへのアンケート@naokazu_terada	120
B.3.1	Podcast タイトル	120
B.3.2	なにをやっているか（内容など）	120
B.3.3	なぜやっているのか	120
B.3.4	これから始めたい人にひとこと。	120
B.3.5	宣伝& URL	120
B.4	Podcaster さんへのアンケート@mizuri_@MzRyuKa	121
B.4.1	Podcast タイトル	121
B.4.2	なにをやっているか（内容など）	121
B.4.3	なぜやっているのか	121
B.4.4	これから始めたい人にひとこと。	121
B.4.5	宣伝& URL	122
B.5	Podcaster さんへのアンケート@S(エス)@esu	123
B.5.1	Podcast タイトル	123
B.5.2	なにをやっているか（内容など）	123
B.5.3	なぜやっているのか	123
B.5.4	これから始めたい人にひとこと。	123
B.5.5	宣伝& URL	123
B.6	Podcaster さんへのアンケート@akazunoma,yyykn	124
B.6.1	Podcast タイトル	124
B.6.2	なにをやっているか（内容など）	124
B.6.3	なぜやっているのか	124
B.6.4	これから始めたい人にひとこと。	124

B.6.5	宣伝& URL	124
B.7	Podcaster さんへのアンケート@おやかた@oyakata2438	125
B.7.1	Podcast タイトル	125
B.7.2	なにをやっているか（内容など）	125
B.7.3	なぜやっているのか	125
B.7.4	これから始めたい人にひとこと。	125
B.7.5	宣伝& URL	125
付録 C	aozora.fm オンライン公開収録に参加しました	126
C.1	リスナー参加型の Podcast	126
C.2	ここが面白い	126
C.3	いよいよ配信	126
C.4	最後に	127
付録 D	Podcast 特別編	128
あとがき		129
著者紹介		131
発起人/編集		131
執筆者		131
表紙イラスト担当		134

第1章

Podcast を聴こう！

1.1 Podcast とは？

Podcast を簡単に説明すると、個人でも配信できる「インターネットラジオ」です。昨今ではブログや SNS で、インターネット上に自分の意見や自分が興味あることを表現するのが当たり前になっています。Podcast はその音声版、つまりラジオということです。内容は自分が好きなこと、知人との雑談、言語の学習、仕事で使う技術の話など千差万別です。その多様性が聴く楽しさ、探す楽しさ、自ら配信する楽しさを感じさせてくれるメディアだと思います。

1.1.1 Podcast の歴史

iPhone (iPod) ユーザーの方は自分のホーム画面に紫色の背景に白いアンテナが立っているようなアイコンを見たことがあるかもしれません。またその名前から Podcast は Apple 社が開発したサービスのように思われますが、実際には異なります。

もともと Podcast は、2000 年 6 月に RSS という仕組みで音声や映像を配信する仕様として実装されたのが始まりです。RSS でブログや HP の更新情報をやりとりする他に音声などのメディアファイルも配信するために実装されました。このときは Podcast という言葉は存在しておらず、音声のブログということで audioblogging と呼ばれていたようです。

ではいつから Podcast と呼ばれるようになったのでしょうか？それは 2004 年 2 月に Ben Hammersley (ベン・ハマーズリー) というジャーナリストが新聞に投稿した記事が最初だといわれています。当時は初代 iPod が発売されて 3 年弱ほど経っており、個人が CD や MD ではなく MP3 データを持ち歩くようになってきていました。またフリーのオーディオ制作ソフトや個人ブログの流行などもありました。そのため、個人によるインターネットラジオが流行っており、ベンはそのことについて書いた記事で「Podcasting」

という言葉を使いました。これが Podcast という言葉が誕生した瞬間だといわれています。

ちなみに iTunes に Podcast の機能が追加されたのは、2005年6月のバージョン4.9からだそうです。Podcast を最近知った方、あるいは数年前から知っている方にとっても、15年も前から存在しているのは意外に感じるのではないか?

1.2 なぜ Podcast を聴くの?

Podcast を聴く理由は人によって異なると思います。筆者は次のような理由があると思いました。

- 楽しいから
- 面白いから
- 勉強のため

楽しいと面白いは同じような意味合いですが、楽しいは興味深い感じ、面白いは単純に会話が面白くて笑ってしまう感じです。たとえば仕事であるITエンジニア関連のPodcastや歴史や語学、社会問題など真面目なテーマのときは笑わないですが、楽しく聴いています。面白いPodcastはテーマによらず「あるあるネタ」で盛り上がりったり、ネットスラングやユーモアがあるような会話を聴いていると楽しいよりも面白い、という感想が出てくることが多いと思います。

また筆者の周りでは次のような理由を聞くことができました。

- その人の声を聴いてみたい
- その人のことをよく知りたい
- お供（暇つぶし）
 - 家事
 - 通勤電車
 - 運動
 - 寝る前に布団の中で

さまざまな人に Podcast を聴く理由を聞いていくうちに「自分が好きな時に、自分が好きな内容の Podcast を、よい音質で」というのも大きな魅力だと思いました。

AM/FMラジオは番組表に則って放送されているため、その時間にラジオをつけないと特定の番組を聴くことはできません。最近はradiko（ラジコ）というアプリでだいぶ緩和されてきていますが、それでも制限があることに違いはありません。Podcastではそのような制限はなく、自分が好きな時に好きな番組を聴くことができます。また過去に配信されているエピソードを遡って聴けるのも大きな魅力だと思います。

そして環境によるノイズがなくクリアな音声で聴くことができるのも魅力的です。ダウンロードてしまえば、たとえ電波が入らない地下鉄の中でもノイズや切断に悩まされることはありません。Wi-Fi でダウンロードすればパケット通信量を気にする必要がないのもよい点だと思います。

1.2.1 どんな Podcast があるの?

参考までに筆者が聴いている Podcast のテーマを紹介したいと思います。

- IT エンジニア
 - 技術
 - 経歴
 - 働き方
 - ニュース
- 日本史
- ゲーム
- プラモデル
- 英語
- 音声ブログ
- 声優の Podcast
- 雑談
- 夫婦 Podcast

もともと IT エンジニア系 (Tech 系) の Podcast から聞き出したので、IT エンジニア系の Podcast が多いと思います。一口に Tech 系といってもゲストの経験について掘り下げたり、働き方や転職について会話する Podcast もあります。また人ではなくニュースに着目して Tech 系のニュースを紹介する番組もあります。

Tech 系以外では自分が興味があるテーマについて話す Podcast を聴いています。日本史、ゲーム、プラモデル、好きな声優さんがやっている Podcast、雑談などです。内容としては最新のニュースやためになる話もあれば、とても懐かしい話題だったり、自分の知らない話題だったりします。そのどれもが自分の興味あるテーマというだけでとても楽しいのです。まるで初対面の人が自分と同じ趣味だと判明したあの瞬間のような楽しさがあります。

他にも夫婦がやっている Podcast も好んで聴いています。IT エンジニアの旦那さんが奥さんに技術の話をしていたり、逆に Web デザイナーなどをやっていた奥さんが旦那さんに技術の話をしているのを聴くのが楽しいです。あるいは夫婦で IT エンジニアをやっていて、その会話を聞いたりするのが興味深いです。自分の興味ある分野で活動されてい

る方が普段どんな生活をされているのか、どんなことに興味があるのか、そんな話題に触れられるのが非常に楽しいと思っています。

1.3 どうやって聴くの?

Podcast はどうやって聞けばよいのでしょうか? 代表的な聞き方をそれぞれ解説していきたいと思います。ぜひ自分に合う聞き方を見つけてください。

1.3.1 スマホ (iPhone) で聴く

スマホで聴く場合は Podcast を聴取するアプリを用いて聴きます。代表的なのは iPhone に最初から搭載されている「Podcast」というアプリだと思います。このアプリは Podcast の検索、購読、再生などが可能です。基本的な流れとしては聞きたい Podcast を探す、購読する、再生するの順番です。このアプリにはランキングやテーマといった機能で Podcast を探しやすくなっています。また最新のエピソードが表示されたりしています。ここからよく再生されている Podcast を聞いてみたり、人気がある Podcast を眺めてみるとよいでしょう。

次に Podcast の購読ですが、この購読は無料でできます。購読と聞くとお金がかかるイメージがありますが、Podcast の場合は無料で可能です。この購読をすることによって、最新のエピソードが配信された場合に自動で Podcast をダウンロードしてくれたり、配信を通知してくれます。また購読しておくことによって、いちいち Podcast を検索したりする手間が省けますし、購読してダウンロードしておくことでオフライン状態でも再生可能になります。また設定によっては聞き終わった Podcast を端末から自動削除してくれるので、容量を圧迫する心配は不要です。

気になる Podcast が見つかったり、購読したらタイトルをタップして再生してみましょう。再生時は 15 秒巻き戻したり、30 秒スキップさせたりできます。また再生速度を変えることができるので、たくさん聞きたい時は再生速度を上げると短い時間で多くのエピソードを聞くことができます。他にはスリープタイマー機能があり、指定した時間で再生を止めてくれます。寝る前にセットしておくと再生しそうに済みます。

iPhone の「Podcast」以外にもさまざまなアプリがあります。著名なところでは「Pocket Casts」、「Overcast」などがあります。アプリによって搭載されている機能が違うので、ちょっと不満点があったり、こういう機能が欲しいなあと思ったら試してみるとよいと思います。

また、Podcast 番組によっては自番組専用のアプリを作成している場合があります。過去のエピソードを簡単に再生できたり、番組へのお便りが簡単に出来たりとその番組をより楽しむための機能が搭載されています。ぜひお気に入りの番組が専用のアプリを配信し

ていたらぜひチェックしてみましょう。

1.3.2 Android で聞く

■コラム: 入浴しながら Podcast を聴く@みずりゅ

Android 端末で Podcast を聴くメリットの一つに、ほとんどの機種で「防水」であることが挙げられます。私はこの防水である点を利用して、お風呂で湯船に浸かりながら Podcast を聴いていました。

Podcast の良いところはインプットが「耳」である点です。通常のインプットに利用している「目」は、普段の生活や書籍／PC 等によって睡眠以外は休む間も無く活動しています。入浴中に目を瞑りながら Podcast を聴く。こうすることで、疲労している「目」を休ませながらインプット活動を入浴中にすることができるのです。

とはいえ、Podcast の中には 1 時間を超える番組もあります。面白さに集中しすぎてのぼせないように注意しましょう。適度な入浴が大切です。

それと、非防水のスマートフォンを防水ケースやジップロックなどのファスナー付きプラスチックバックに入れて利用することもできます。ですが、万が一を考えると、怖い思いをしないように防水のスマートフォンを利用するのが良いでしょう。Android 端末の場合は、中古品であれば一円以下で買うこともできます。メイン端末とは別に、入浴時に使う端末を購入するのもあります。動画とは異なり、容量の少ない端末でも Podcast なら入浴一回分の番組は保存しておくことができるでしょう。

1.3.3 PC で聴く

PC で Podcast を聞く場合はその番組名で検索してみるとよいでしょう。配信しているサービスによって見た目や機能は異なりますが、再生する分には十分です。ただしアプリと違って購読する機能や最新エピソードの配信通知などはありませんので、自分で用意する必要があります。筆者は Podcast を PC で聴いているので、一例としてその環境を紹介したいと思います。

Podcast の配信通知

聞きたい Podcast がひとつふたつであれば聞きたい時にサイトに行って配信の有無を確認すればよいですが、番組数が増えてくると更新確認をするだけで面倒です。Podcast 自体は RSS で配信されているので、RSS リーダーと呼ばれるソフトであれば配信通知を確認することが可能です。筆者は Slack (スラック) というチャットツールをよく使って

いるので、Slack に対して Podcast の配信通知を飛ばすようにしています。Podcast の配信サイトは必ず RSS を配信しているはずなので、その URL を取得すれば Slack で通知を受信することができます。ですが、RSS の URL 取得方法はサイトによって違います。概ね次の方法で取得できると思います。

- ページ内のリンクから取得する
- 外部サイトを利用して取得する

ページ内のリンクから取得できる場合は特に手順が不要なので非常に簡単です。外部サイトから取得する場合は次のサイトで取得可能です。

<http://getrssfeed.com/>

これらでも取得できない場合はサイトの HTML ソースから取得しないといけないので、ちょっと面倒です。Google Chrome での手順としては対象のページを表示したら、右クリックして「ページのソースを表示」をクリックします。そこから次のような RSS の URL を探します。この href の部分が目的の URL になります。

```
<link rel="alternate" type="application/rss+xml" href="https://fortegp05.github.io/aozorafm/feed.xml"/>
```

Slack でこの RSS の更新通知を受け取るには次のコマンドを実行します。

```
/feed subscribe https://fortegp05.github.io/aozorafm/feed.xml
```

これで Slack のワークスペースに対象の Podcast の配信が通知されるようになります。



図 1.1 Slack による通知の例

PC で聴くメリット

筆者は特にこだわりがないのでその Podcast の配信サイトでそのまま聞いています。しかし、PC であれば配信サイトで再生する以外にも、MP3 ファイルをダウンロードして好きな再生ソフトで再生することができます。またプレイリストとして編集することも可能なので、スマホに比べれば再生環境の自由度は高いと思います。PC を経由すれば Podcast に対応していない機器から再生することも可能です。たとえば、CD などに焼けば Bluetooth や AUX 接続などがないカーオーディオからも再生できるでしょう。Podcast に対応していない環境でも再生可能にできるのはスマホにはないメリットだと思います。他にもダウンロードして、オフライン環境で聞くなども柔軟にできるのが PC で聴くメリットだと思います。

1.4 どう探せばいいの?

Podcastにはたくさんの番組があります。これまでにも簡単に触れてきましたが、Podcast番組はどうやったら探せるのでしょうか?いくつかの方法を紹介したいと思います。

1.4.1 ググる

もっともポピュラーな検索方法です。「好きなワード + Podcast」で検索してみましょう。たとえば「ゲーム Podcast」で検索すると執筆時点で約 3,520,000 件がヒットしました。この全てが Podcast 番組ではないですが、数多くの情報が存在するのが分かること思います。筆者も実際に検索して聞くようになった番組がいくつかあります。

ここからひとつひとつ見ていくのも楽しいですが、面倒!という方もいるかと思います。そういう場合はまとめた記事やサイトを利用しましょう。ジャンルごとに必ずそういったまとめ情報があるわけではありませんが、情報が多い場合は需要があるのでまとめサイトがある可能性は高いでしょう。逆に情報が少ない場合は全部チェックしたとしてもそれほど大変ではないので実際には問題にならないでしょう。

1.4.2 Podcast Freaks

日本語の Tech 系 Podcast のまとめサイトとして「Podcast Freaks」をご紹介したいと思います。URL は次のとおりです。

<https://podcastfreaks.com/>

「Podcast Freaks」は日本語の Tech 系 Podcast を登録して更新情報などを一覧表示してくれるサイトです。「noracast」という Podcast のパーソナリティが作成したサイトで、Podcast の一覧表示のほか、配信情報の表示や、Podcast をスマホにそのまま登録できるファイル (OPML) のダウンロードなどが可能です。

Tech 系 Podcast を聞きたいという人はぜひ「Podcast Freaks」を使ってみてください。お気に入りの Podcast が見つかると思います。

1.4.3 すぱきやす

もうひとつ Podcast を探すことができるサイトをご紹介したいと思います。「すぱきやす」という Discord のコミュニティです。Discord はゲームをする時に用いられるボイスチャット、テキストチャットが可能なチャットアプリです。この Discord に Podcaster と Podcast 好きが集まってワイワイしているコミュニティが「すぱきやす」です。

この「すばきやす」では Podcast ごとにチャンネルがあり、そこではその Podcast の感想 Tweet が流れています。チャットで感想を共有できます。また Podcast のオンライン公開収録を行ったり、公開聴取会を行ったりしています。公開聴取会とはすでに配信されている Podcast を複数人で同じ時間に聴取するイベントのことです。Podcast は一人で聴くことが多いですが、公開聴取会では複数人で聴いて感想をリアルタイムに共有できます。またわからない点を別のリスナーさんが解説してくれたり、パーソナリティやゲストの方がいればその場で解説や裏話が聞けたりと、より Podcast を楽しむことができます。

「すばきやす」は Podcast をただ聴くだけではなく、Podcastを中心にもっと楽しみたい人たちのためのコミュニティです。よければ次の URL から参加してみてください。

<https://discord.gg/dnDJzSW>

1.4.4 海外の Podcast 番組を探すにはどうする？

Podcast が海外でも人気なのはいうまでもありません。Podcast クライアントアプリに備わっているブラウズ機能を使えば、検索でヒットする多くの日本語 Podcast 番組に交じって、海外の番組もいくつか見かけることができます。新聞やラジオ、テレビといった従来のメディアを取り扱う法人は数多くありますが、そうした法人が Podcast 向けにもコンテンツを配信しています。これは日本だけでなく、海外でもまた同様の状況といえます。気になっている海外のメディアがあれば、Podcast 番組も配信していないかチェックしてみましょう。

一方で日本ではあまり見られない形態として、海外では Podcast を専門に制作・配信する法人が存在します。たとえば、最近の Spotify による買収で話題となった Gimlet Media^{*1}、それに Podcast クライアントアプリ「Overcast」の開発者 Marco Arment が Podcast を配信している Relay FM^{*2}などが挙げられます。こうした法人は数多くの、かつ色々なジャンルの Podcast 番組を配信していますので、これらを起点に番組を探してみるのもよいでしょう。

このような配信プラットフォームで配信されない、もしくは配信されていたとしても、ランキング上位に上がってこないようなニッチな番組をお探しであれば、それはなかなか険しい道といえるでしょう（これは日本の Podcast でも同様ですね）。地道にインターネットを巡回していく他に方法はなく、探すには相応の根気と時間が必要になりますが、そのぶん自分にとって「これだ！」と思えるような番組を見つけられたときの喜びはひとしおです。

*1 <https://gimletmedia.com/>

*2 <https://www.relay.fm/>

■コラム: 感想ツイートした人の聴いた番組を聴いてみる@みずりゅ

口コミ… と言って良いのかはわかりませんが、ハッシュタグ付きで Podcast の感想ツイートをしている方をフォローしてみてはいかがでしょうか。

感想をツイートされる方は、別の Podcast を聴いても同じように感想をツイートしている可能性が高いです。

その感想ツイートをみて興味を持った番組を聴いてみるのはどうでしょうか？

1.5 Podcast を聴き続けよう

Podcastを探して聴いているうちに、いつの間にか聴きたい番組数が増えていくって、聴くのがだんだん追いつかなくなっていました…というのは、Podcastをしばらく聴き続けている人であれば、誰もが経験していると思います。自分が興味のある番組になるべく多く聴きたいけど、自分の時間も限られている、そんなときはどうすればよいでしょうか？

単純に取捨選択する、というのもよいですが、筆者の体験に基づいて、取捨選択についての考え方を紹介します。

堀正岳はその著書^{*3}において、RSS フィードを使ったデジタル情報の管理手法を、分流という概念を用いて説明しています。Podcast も RSS フィードを通して配信されることが一般的ですので、この考え方を当てはめて整理してみましょう。

『知的生活の設計』では、RSS フィードを「最重要」「チェック」「スキップ」の 3 階層に分流する手法が紹介されています。「最重要」は自分の興味・関心にとても合致していく必ず読むもの、「チェック」はざっと目を通すもの、そして「スキップ」はタイトルを追う程度に留め、万が一に見落としがないようにするものです。自分にとって大事な「最重要」の項目は数個に絞り、しかし多くの時間をかけて重点的にチェックする一方、「チェック」や「スキップ」の項目はあまり時間をかけずにカバーしていきます。各階層の項目数、および対応する時間配分の傾斜がポイントになります。

次に、こうした分流をどのように Podcast 聽取環境に実装していくかを考えてみます。PC で Podcast 配信サイトから直接聴いている場合であれば、ブラウザのブックマーク機能で各階層に対応するフォルダを作成すればよいでしょう。スマートフォンの Podcast クライアントアプリで聴くときには、プレイリスト（ステーション）機能を使うことで購読番組を分類することができます。もしくはクライアントアプリを複数用意し、それぞれで異なる購読番組を登録することで階層化してもよいでしょう。また、分流を実現する

^{*3} 堀正岳『知的生活の設計』株式会社 KADOKAWA

Podcast ならではの観点として "聴き方" があります。「最重要」の項目は積極的に集中して聴く一方で、「チェック」の項目についてはながらで聴く、あるいは倍速再生することで効率的に耳でスキャンしていく、といった工夫ができます。

こうして作った 3 つの階層は一度作ったら終わりにするのではなく、柔軟に番組の階層を入れ替え、また新しい番組を追加し、変化させていきましょう。そうして作り上げられた分類、そして「最重要」の項目はあなただけのものであり、同時にあなたの個性の源泉でもあります。そしてそれは Podcast を始めていくにあたって、番組の方針のヒントを与えてくれることでしょう。Podcast の楽しさとともに、この RSS フィードを育てていく感覚もまた楽しんでもらえればと思います。

1.6 おわりに

Podcast を聴こう!ということで Podcast の歴史から聴き方、探し方について説明してきました。少しでも Podcast に興味を持ち、さらには Podcast を聴く楽しさを感じて頂ければ幸いです。また Podcast に興味を覚えたならぜひ自分で Podcast を始めてみてください。配信を始めて受け取るだけではなく自ら配信することでさらなる楽しさ、発見、学びがあると思います。人の意見、想い、楽しさは千差万別です。そんな想いをブログより熱く、動画より手軽な Podcast で受け取って発信してみませんか?

第2章

Podcast を始めよう!

この章では Podcast の始め方を紹介していきます。便利なアプリやツールがたくさんあるので Podcast を始めるのはそれほど大変なことではありません。ぜひ、Podcast 配信を始めてこの楽しさを味わいましょう！

2.1 始め方

Podcast を始めるには録音した音声データを RSS で配信するだけです。とはいっても話す内容や、録音の仕方、編集、どうすれば RSS 配信できるのか？いくつも疑問が湧いてくると思います。具体的には次のような考えるべきことがあります。

- 方針決め
- テーマ決め
- ネタだし
- 録音
- 編集
- 配信

それぞれひとつずつ見てみましょう。

2.2 方針決め

Podcast を作る上で、どのような方針で配信をしていくのかを決めましょう。方針を決めるときは「テック系の話題について話す」という大雑把なレベルから、「成し遂げたいことを話してもらう」という具体的なレベルまで考えます。

ここでは、方針を決めるときの方法を考えていきます。

方針は、パーソナリティの人数によって変わります。

2.2.1 ゲストを呼ばない場合

まずは、ゲストを呼ばずパーソナリティーだけで配信を行う場合を考えます。

1人の場合

この場合、Podcast の方針を決めるることは簡単でしょう。

方針を決めるときは、パーソナリティであるあなた自身が配信したいことに沿って方針を決めましょう。

方針がまったくない状態よりも、ある程度の方針を考えておくことで話のネタを見つけるときのヒントになります。さらに、Podcast の方針を決めることは、リスナーに対する広報をする際にも役に立ちますので、話したいことをベースに「私はこのような方針で Podcast を作っていきます」ということをいえるようにしておきましょう。

■コラム：虚空に向かって話をする@みづりゅ

パーソナリティが一人の場合、いわゆる「虚空に向かって話をする」という状態になります。これは意外と寂しいものです。なので、もしも寂しさを覚えたら仮想の話し相手を想定しましょう。例えば、配偶者や恋人、もしくは同僚や後輩、など。その人に向かって話すように収録してみては如何でしょうか。

2人の場合

次に、2人で Podcast を行う場合を考えます。まず、2人の役割を決めます。2人以上で Podcast を行う場合は、役割がいくつか考えられます。

- 2人ともフラットに語り、対話形式で話を進めていくスタイル
- 1人がアシスタントとなり、もうひとりが中心に話をしていくスタイル

どちらのスタイルでも、お互いが関心を持っているテーマについて話をするのがよいでしょう。どちらかに偏りがあるテーマにしてしまうと、一方が話を多くしてしまい2人で配信をしている意味が少なくなってしまいネタも尽きて継続することが大変になるでしょう。

3人以上の場合

3人以上で Podcast をやる場合も基本的には 2人で行う場合と方針の決め方は同じです。

2人で行っているとき以上に話が偏りやすくなるため、そこに意識をして方針をきめましょう。さらに、2人で行う場合よりも役割のバリエーションを増やすことができるので、方針を決める中で適切な役割を決めることができると配信に特色が出てくるでしょうたとえば、2人があるテーマについて議論を行い、1人がファシリテーターのように入る形の Podcast の進め方も可能です。

2.2.2 ゲストを呼ぶ場合

パーソナリティとは別にゲストを呼んで配信をする場合

1人の場合

ゲストに話してほしいことを中心に方針を決めるとよいでしょう。その話題が、自分も詳しく共に話をできるようなことなのか、自分は聞き役に徹してゲストに語ってもらうのかによってゲストの方針もかわります。

2人で収録をする前に方針を共有することができれば沈黙の時間が流れると行ったことを避けることができます。

2人の場合

次に 2人でゲストを迎える場合についてです。この場合はパーソナリティの 2人の役割を分担してゲストと話していくことができます。

たとえば、1人はインタビュワーとして質問を投げかけていき、もう 1人は、その話をゲストと共に盛り上げていく役割をするという形があります。1人は常にファシリテーターとして話をまとめる役になり、もう 1人とゲストが話をしている内容をまとめていくとスムーズな進行ができます。

3人以上の場合

3人以上の場所にゲストを呼ぶ場合。この場合は、人数がとても多くなっていますので統制をとることが難しくなるでしょう。統制にこだわるのではなく、パーソナリティとゲストが双方楽しめる場作りを心がけましょう。

3人の空気感にゲストが馴染めないと言ったことがないようにゲストの選定段階から一緒に話していく空気感作りといったところをより強く意識しましょう。

2.3 テーマ決め

Podcast を作成する上で、どのようなポッドキャストなのかといったテーマを作ることは大切です。

もちろんテーマのない雑談をするポッドキャストというのもよいものだと思いますが、テーマがあることでネタ出しが簡単になります。

Podcast のテーマを決めるときは、パーソナリティが興味のあることを選ぶようにするとよいでしょう。そのテーマが世の中的に関心を持っている人が少ないとかもしれません、Podcast を始めて楽しく続けていくためには、最初は自分が話せそうなテーマテーマを選ぶことが重要です。

Podcast の内容を拡充していく場合には、インプットやアウトプットがより必要となる場合もあります。逆に興味が持てないことをテーマにしてしまうとリスクになってしまいます。

■コラム: Podcast のテーマを考える

ここで、Podcast のテーマを考えるときの例を出してみます。Podcast テーマを考えるときのひとつの考え方とは、「世の中に伝えてみたいこと」といった観点で考えています。世の中には、さまざまな想いを持って活動をしているひとがたくさんいます。しかし、その活動にスポットライトが当たっていなかったり、考え方を広めることに対するリソース不足から伝える余裕がない場合があります。

そういった人たちの考え方や生きてきた人生を世の中に広めるための Podcast を作成しています。

「おしごと am」では、仕事をすることに対する姿勢や考え方について、てごふあさんと共に世の中の人に伝えたいと思い配信をしています。

「たまよくラジオ」では、ずんだまるの魂を良くするという考え方を我々だけではなく、ゲストも交えて議論をしていき、それを伝えて行くことを目的に配信をしています。

「成し遂げたい am」では、ゲストの成し遂げたいことを世の中に広めるという明確な目的で配信をしています。

2.4 ネタ出し

Podcast のテーマが決まったら今度は各エピソードのネタ出しに入ります。

2.4.1 パーソナリティ同士で話す場合

まずは、パーソナリティと話していくスタイルの Podcast の場合を考えていきます。

おしごと am を例として説明したいと思います。おしごと am の場合は「お仕事を頑張る人のための Podcast」というテーマがあるので、パーソナリティの2人で、「仕事をしていく上で考えると良いこと」を話そうと考えます。そのため、仕事の仕方に関連するキーワードを日常的にアンテナを張ることが重要になってきます。「地頭」「アウトプット」「マナー」といったキーワードを上げて2人で議論することなどを行います。

おしごと am で、地頭の良さに関する収録をした回があります。仕事をしていく中で、地頭の良さが重要な場面というのが多々あるのではないかとパーソナリティの間で話題になったので収録をすることに決めました。当時、就職活動や転職活動に関する仕事をしていたのでさまざまな場面で地頭の良さというワードが頻繁に飛び交っていました。複雑な世の中の仕事を効率よくこなしていくためには、ある問題に対して、視座を高めて俯瞰する力が必要だと感じていました。そのためには地頭の良さが関連しているのではないかという話になりましたが、地頭の良さというのがどんなものなのかを我々も含めて曖昧だと思ったので実際に収録をしながら考えを深めてみることにしました。

ネタが決定した後は、そのネタに沿って話をていきます。事前にこんなことを話してみようとパーソナリティ間で打ち合わせをすることも大切です。ネタについて、お互いがどのように考えているのか話をして収録し、収録中は相手がそのテーマに関して、どのように考えているのかというところをお互い議論をしながら話を盛り上げていきます。

2.4.2 ゲストを呼んで話す場合

次は、ゲストを呼んで話をするパターンです。

こちらの場合は、ネタはゲストから引き出すことになります。ラジオのテーマに沿ってゲストからネタを引き出しましょう。事前に、ネタを引き出すためのヒアリングノートを用意しておくことでよりスムーズにネタを引き出すことができます。ヒアリングノートを作成した場合は、その中からテーマに沿って深く掘り下げられるように確認をしておきましょう。さらに、ゲストから実際にネタとして出ていないことだとしても、パーソナリティが聞いてみると面白そうなことをプロフィールや普段のコミュニケーションから見つけておくことでそれがネタとなります

ゲストによっては、自ら話すネタがなかなか出てこない人もいます。そういう場合は、

あらかじめいくつか質問を提示してそれに答えてもらう形で進めましょう。

たとえば、成し遂げたい am では「あなたの成し遂げたいことは何ですか？」という大きな質問があり、それに答えてもらうことから始まります。成し遂げたいことがすでにいる人は、その成し遂げたいことを中心に話を進めてもらいます。

成し遂げたいことがない人は、どんなことを普段行っているのかをベースに成し遂げたいことの種をみつけてもらえるように方針を変えてネタを探していきます。

テーマによってはネタが明確に決まっているものもあります。たとえば、三日月ラジオでは個人サービスを作っている開発者にフォーカスをしているので、ネタは個人サービス開発の話題になります。サービスの紹介から始まり、アイデアの出し方や開発技術の選定方法など話をしてほしい内容が沢山あります。このようなテーマの場合はネタ出しそも、話をしてくれるゲスト探しが大切になってきます。

■コラム: 共通の趣味の話をすると盛り上がりすぎる @みずりゅ

趣味系の Podcast でゲストが出演する場合、そのパーソナリティとゲストの趣味はだいたい一致しています。そんな人達が話を始めるとどうなるか。枝葉がどんどん広がり、話がすごく盛り上がる… 場合が多いです。

かくいう私も、本書のメイン著者である FORTE さんの Podcast 「aozora.fm」にゲスト出演させて頂いた際には、某国民的ロールプレイングゲームの 2 作目と 3 作目の話題だけで、1 時間近く話をしたことがあります。また、収録前は色々なゲーム機器のソフトの話をしようと両者で候補を挙げていたのですが、蓋を開けてみるとハードがファミコンの話から抜け出すことができませんでした。

盛り上がるのは大事ですが、盛り上がりすぎると注意が必要です。

2.4.3 これでお互い快適に！ ゲストを呼ぶときの準備 3 つ

こんにちは。漫画で楽しく技術が学べる『わかばちゃんと学ぶ』シリーズ等を描いております湊川あい（みなとがわ・あい）と申します。

ありがたいことに、今までにいくつかの Podcast からご依頼いただき、ゲスト出演の機会を多くいただいています。

ここでは、ゲストの立場から「事前に用意しておいてもらえると嬉しいこと」についてお伝えします。

ヒアリングノートの URL を事前に共有しよう

出演が決まった時点で、ゲスト用にヒアリングノートの URL を共有してもらえるとスムーズです。ツールは、Dropbox Paper、Google ドキュメント、Scrapbox などの、複数人で同時編集ができるものが使いやすいです。

収録日までに、ゲストが話したいことを箇条書きで書いておき、当日はそれぞれノートパソコンを開いてヒアリングノートを見ながら話していきます。箇条書きにすることで、パーソナリティとゲストの全体感が一致しやすいのもメリットです。

たとえば「話題 A はじっくり語りたいな。対して話題 B はさらっと触れる程度でいいかな」「3つの話題のうち、1つの話題を30分で話し終わった。あと20分しかないから巻きでいこう」という具合です。

事前に公開日を伝えよう

収録中に、ゲストの告知コーナーを設けてくださる Podcast が多いです。これは大変嬉しいのですが、公開日が思ったよりも遅くなった場合、それに伴い告知内容の日程も古くなります。

お気に入りの Podcast の最新回が更新されたので聴きに行ったら、ゲストが1ヵ月前に終了したイベントの告知をしていて「来てね！」と言っている、という状況です。こうなると、リスナーさんもゲストも気分が盛り下がってしまいます。

ラジオ特有のこの問題を避けるためには、収録前にバッファを設けた公開日を事前に伝えておくことです。パーソナリティーに急な仕事が入り、編集作業がしばらくできなくなるということもありえるからです。

Podcast に慣れているゲストだと、編集に時間がかかるなどを知っているので、収録前に自ら公開日を尋ねてくることがあります、初めてだと「Web ラジオって収録されたらすぐ公開されるものでしょ？」と思っている人もいるかもしれません。

時系列があべこべな告知になるのを防ぐために、ヒアリングノートの最初に【〇月〇日公開予定】と書いておくとよいでしょう。

収録2~3日前にリマインド連絡をしよう

収録2~3日前に、パーソナリティからゲストへリマインド連絡があると親切です。

その際に、Google Maps や道に迷った時の緊急連絡先が添えられていると、ゲストは安心して収録場所へ向かえます。

リスト 2.1: リマインド例

○○さん こんにちは！ 今週末の○月○日 13:00～14:00 は、ついに Podcast 収録ですね。収録場所はこちら（Google Maps）です。神田駅北口から徒歩 5 分です。もし道に迷ったらこちらにご連絡ください。（緊急連絡先 090-XXXX-XXXX）それでは当日、楽しみにしております！

意外と忘れるのがちなののが、収録終了時間の共有です。ゲストによっては、収録後に別の予定があるかもしれません。

開始時間と終了時間をセットで伝えることで「ゲストの時間を尊重している、ちゃんとした Podcast だな」ということが伝わるでしょう。

以上 3 点がそろっていれば、快適な収録になることでしょう。あなたの Podcast が楽しく素敵なものになりますように！

2.4.4 常に決めないで考えているとネタが拾える

ネタ出しをする際に「決めなきゃ！」と思って決めてしまうと意外と話せない内容だったり、内容が薄くなってしまうことがあると思います。ですので、あえてその場ではネタを決めないで「決めないで一旦置いておく！」としてみましょう。そのまま普段の生活を過ごしていると「あ！この話題 Podcast で話したいな」とか、「いや自分はこう思うんだけどなー」といったように感じることが出てくるし思います。これはカラーバス効果といい、気にしていることは目に飛び込んで来やすい、意識しやすいという人間の習性の一つになります。すでにネタを決めてしまっていると頭からネタに関する意識が除外されてしまうので、あえて決めないで悩んだままにしておくことでより多くの発見があると思います。

2.5 収録

方針とネタが決まつたら収録しましょう。収録には収録環境と準備するもの、注意すべき点があります。まず収録環境から見ていきましょう。

- 収録環境
 - オンライン収録
 - * Mac
 - * Windows
 - オフライン収録
- 録音機材
- 収録の流れ

2.5.1 準備するもの

オンライン収録環境

まずは収録環境から見ていきましょう。ゲストを呼んで収録する場合の収録環境は、オンラインかオフラインかで大きく変わっていきます。まずオンラインの場合ですが、オンラインの場合はゲストと会話を行うソフトが収録環境となります。よく使用されるソフトは次のとおりです。

- Discord
- Skype
- Zencastr
- Zoom

いずれもオンラインで相手と会話することができるソフト（サービス）です。これに録音するようのソフトを組み合わせて収録します。どのソフトもオンライン会話ができるので録音自体はどれでも可能ですが。ただし、音質や使い勝手などは異なります。例えばアカウントの要否、というものがあります。Zencastrはパーソナリティ側のアカウントは必要ですが、ゲストで参加するだけなら名前入力のみで収録可能です。他の3つは先にアカウントを作る必要があります。もしそのソフトを Podcast の収録でしか使わないのであれば、ゲストがアカウントを作るのが面倒と感じてしまうかもしれません。そのため、ゲストに対してアカウントが不要なサービスは収録のハードルの高さを下げていると思います。

他の観点として音質やレイテンシ（遅延）というものがあります。ソフトによっては手軽さを重視しているため音質はそこそこだったり、設定によって音質が劇的に変わることがあります。音質が気になる人はなるべく音質が高いソフトを使用すると良いと思います。またオンラインで収録する都合上、どうしてもお互いの会話のやりとりにちょっと遅延が発生してしまいます。テンポの良い会話を重視する場合は遅延も気にした方が良いでしょう。

あとは録音の仕組みを考える必要があります。オンラインでパーソナリティ側にしか録音環境がない場合は、パーソナリティとゲストの両方をパーソナリティ側で録音する必要があります。その場合、自分のマイク入力とゲスト側の音声をそれぞれ録音する必要があります。多くの場合、録音は一つの入力にしか対応していないので別のツールで音声をまとめる必要があります。詳細なやり方は後述します。

ゲスト側でも録音する場合はゲスト側に録音環境を作る必要があるので、その説明が必要です。音質は良くなると思いますが、準備は大変ですし、ゲスト側の録音忘れなど確実性は下がると思います。

さて、筆者のお勧め環境をお伝えしたいと思います。筆者がオンラインで収録する場合のお勧めは Zencastr です。理由として、パーソナリティもゲストも手軽、それぞれに音声ファイルがダウンロードできる、バックアップとして利用できるというものがあります。

まず、Zencastr を使うとパーソナリティもゲストも手軽です。パーソナリティ側としては URL をゲストに通知すれば他に説明不要なのが良い点です。他のソフトではそのソフトの使い方を知らないと、アカウント作成から説明する必要があります。Zencastr は説明するとしても名前入力とマイクミュートくらいですし、筆者が収録している限りではマイクミュートの説明のみで十分です。ゲスト側からすると余計なアカウントが増えることがなく、操作方法なども特に覚える必要がありません。

またゲスト側で録音して録音録音終了後にファイルをパーソナリティ側に送る仕組みなので、特に説明などせずにゲスト側で録音することが可能です。インターネット環境に左右されずに録音されるので比較的綺麗な音で録音可能です。録音自体はそれぞれの PC で行いますが、最終的に Zencastr のサーバーに音声ファイルがアップロードされます。そしてパーソナリティだけがそのデータをダウンロードできる仕組みとなっています。そのため、Zencastr のサーバーにデータが残るので万が一パーソナリティ側の PC にトラブルがあっても再ダウンロードすることが可能です。

そんな Zencastr にもデメリットはあります。オンラインということで収録した音声データのパーソナリティ側とゲスト側でズレが発生していることがあります。また無料アカウントでは月に 8 時間までしか録音できない、などの制限があります。この制限は有料アカウントにすると撤廃できますが、金額が執筆時点で月額 20 ドルと少し高めの値段となっています。

それぞれのソフトに長所短所があるので、パーソナリティである自分が最も重視している点に合致するソフトを選択すると良いと思います。筆者が最も重視しているのはゲストが Podcast 収録に感じるハードルの高さを下げることです。そのため、アカウントを作らなければならないようなサービスではなく、ブラウザでアクセスすればすぐ録音できる Zencastr を使用しています。

いずれのソフトも無料で使えますので、自分の要望にあったソフトを探してみてください。

Mac でパーソナリティ側でのみオンライン収録環境を作る

前述した通り、オンライン収録でパーソナリティ側でのみ録音する場合はいろいろと準備が必要です。ここではその準備を説明していきます。なお、この手順は Mac でのみ有効な手順であり、バージョンは「macOS Mojave 10.14.5」で確認しています。

まず、以下のツールを使用します。

- SoundFlower

- LadioCast

SoundFlower は仮想的にサウンドデバイスを増やすことができます。これは通常であれば出力先がスピーカーやヘッドホンしか選択できないところを、コンピュータそのものを出力先として指定することができます。これによりコンピュータ自体に音声を保存したり、別のソフトに音声データを橋渡しすることが可能になります。

LadioCast はいわゆるサウンドミキサーです。このソフトを使うとコンピュータで再生しているBGMにマイクで入力した自分の声をミックスすることができます。

つまり SoundFlower と LadioCast を使えば、Skype から流れてくる相手の声に自分の声を乗せることができます。そしてそれを録音すれば、オンラインでパーソナリティ側でのみ録音することができます。

まず SoundFlower は以下のサイトからダウンロードできます。ご使用の Mac のバージョンにあった dmg ファイルをダウンロードしてください。

<https://github.com/mattingalls/Soundflower/releases>

dmg ファイルを実行して app フォルダにドラッグしてインストールします。次に LadioCast は Mac App Store からダウンロードしてインストールできます。

<https://itunes.apple.com/jp/app/ladiocast/id411213048>

次に Mac の環境設定からサウンドを選択し、最下部にあるメニューバーに音量を表示にチェックします。環境設定を閉じてメニューバーに表示されたスピーカーアイコンを optoin + クリックします。出力装置は Soundflower64ch、入力装置は Soundflower2ch を選択します。LadioCast を起動して入力 1 を Soundflower2ch にしてメインと AUX1 を選択します。入力 2 をマイクにしてメインのみ選択します。出力メインは Soundflower64ch にして、出力 Aux1 は外部ヘッドフォンにしておきます。

これで Mac で再生されている音声 (Skype などで相手が喋っている音声) と自分がマイクに向かっている音声を mix できたので、あとはこれを録音するソフトで録音します。

Windows でパーソナリティ側でのみオンライン収録環境を作る オフライン収録環境

オフライン収録環境は「場所」が大事になります。

場所については、音質にどこまでこだわるか、関連して編集作業をどこまで楽にするか、この 2 点が考えるポイントとなります。極端な話、まったく音質にこだわらなければ声を出せる環境であればどこでも収録できます。たとえば空調の音が入っていようが、工事の音が入っていようが、他人の会話が入っていようが収録可能です。音質にこだわり始めるに考えるべき点が増えていきます。

まず収録環境として考えられるのが、カラオケと貸し会議室だと思います。カラオケは声が出せますが、音が響くようになっているため Podcast には向きません。貸し会議室

は値段と立地の問題が解決できれば良いと思います。会議室の需要が高まる平日の夜や土日の午後は値段が高い傾向があるため、平日の朝などは安いでお勧めです。また、立地は近くに線路や大きな道路があると電車や車の音がはいるため、なるべく静かなところだと良いでしょう。会社の会議室などで録音することも可能ですが、意外と他の会議室への出入りや外でしている会話が入ることがあります。ある程度は編集で対応可能ですが、その分編集の手間が増えますし、配信を続けていくと編集の手間がボトルネックになるのでなるべく編集を簡単にしておくのも良いと思います。

いずれにしてもテスト録音してみてどの程度のノイズなのか確認してみましょう。完璧は難しいので自分がどこまでこだわるか、だと思います。聴いてみて気になる箇所があればそれを改善するようにすると良いと思います。

2.5.2 収録場所

収録の場所

収録の場所について書く。具体的に・反響が少ないとか、人の出入りが無い、など。会議室（社内、レンタル）、ワークスペース、カラオケボックス、その他。

ダム収録を KANE さん書いて。

[ToDo] Podcaser にとっての鍊金術ラボと使い勝手、使った感想など書いてー

■コラム：オンライン収録をやってみて感じたこと@FORTE

オンライン収録でゲストとお互いに自宅で収録をする場合は空調、椅子の音、キーホードのタイプ音、マイクに触れてしまうなどのノイズが発生しやすいです。ですが、どれも気をつければ大丈夫なので収録前に念押ししておくところといったノイズは軽減しやすいと思います。事前に確認下置いたほうが良いこととしては、近くに工事現場や公園がある、選挙期間中などが考えられます。これらは時間帯を工夫すれば回避することができます。工事現場、公園での活動、選挙活動のいずれも夜は行われないことが多いので早朝や夜に収録することで影響を回避できます。逆に24時間騒音が出ている場合は環境を見直したほうが良いかもしれません。オンライン収録でお互いに自宅で収録すると逆に意図しない音が入ることがあります。小さいお子さんの声だったり、ペットの鳴き声などがそうです。もちろんノイズになる場合は消したほうが良いですが、aozora.fm ではお子さんの声が効果的に働いたので残したことがあります^{*1}。そのときはITエンジニアとしての働き方について会話をしたり、ちょうど家族の話をしているときにお子さんの声が入ったのでゲストさんに許可を得てそのまま配信しました。楽しそうなお子さんの声は働き方に関する話題の大きな説得力になったと思います。

■コラム: Podcast 収録場所としてのラボ@おやかた

私を含めた数人で、都内某所に秘密基地を作りました。この成立の経緯などは別の記事^{*2}に譲りますが、本書の著者のひとりでもある、KANE@higuyimeさんが Podcast 収録場所として使うようになり、活動メンバーも増え、ボドゲ会やモブプロ会など、活動の幅が一気に広がりました。場があることで活動が広がるという面もありますが、単純に Podcast の収録場所として考えても、比較的静かで、周りを気にしなくてよいという点、お酒のストックがあるのでその気になれば飲みながらできること、複数人や深夜でも収録できることなど、さまざまなメリットがあります。Podcasterのみなさん、Podcast に出てみたいなーというかた、一度遊びに来てみませんか？ 詳細は、著者の誰かに声をかけてください。

2.5.3 録音機材

収録環境と同様に録音機材も重要です。iPhone 付属のイヤホンマイクと1万円以上のマイクでは音質に雲泥の差があります。ですが、音質以外の観点では iPhone 付属のイヤホンマイクにもメリットがあります。また、入力インターフェースであるマイク以外に録音ソフト、ミキサーなどが録音機材にあたります。それぞれ見ていきましょう。

マイク

録音するにはマイクが必須です。マイクの値段はピンキリですが、筆者が使用したことがあるものをいくつか紹介したいと思います。ちなみに筆者は単独のときはマランツ MPM-1000U、複数人のときは Blue Yeti を使用しています。

- イヤホンマイク

何かを始める時、それにかかるお金は非常に気になるものです。できるならタダで始めたいでしょう。Podcast もお持ちのスマートフォン付属のイヤフォンマイクで始めることができます。しかし、イヤホンマイクを使う時はいくつか注意点があります。まずはタッチノイズと呼ばれるマイク本体やケーブルが衣服と擦れることで発生するノイズです。特に誰かと会話する形式の Podcast の場合、会話しているテンションが上がったり、身振り手振りなどが原因で発生しやすいノイズです。これはなるべく動かないように意識するか、クリップなどで体に固定してしまうしかありません。またイヤホンマイクの場合は吐息などによるプレス音や破裂音（パ行の音）なども発生しやすいので気をつけましょう。できるなら手でマイク部分を持って、口の横からなるべく動かさないようにすると良い音

質になると思います。長時間の収録は大変ですが、その分安価で済むというメリットがあります。

- ヘッドセット

ヘッドセットは安価なものであれば千円くらいで買えるのが魅力的です。イヤホンマイクと違い頭部に固定できるため、タッチノイズが発生することはありません。ですが、マイクが口に近づくため、ブレス音や破裂音が非常に入りやすいです。また筆者が試した製品では、感度が高いためブレスノイズを拾いやすいイメージがあります。ヘッドセットを使用する場合はマイクの位置を調整して録音テストをするのが大事だと思います。ブレス音などのノイズはマイクを口の横に持ってくると軽減できる場合があります。声が入りづらくならないように気をつけて位置を調整しましょう。

- マランツ MPM-1000U

筆者オススメのマイクです。ちなみに一人用のマイクです。このマイクはTCFM（※）でも使われているマイクです。値段としては本体が約7,000円、マイクを固定するアームが約3,000円ほど、合計1万円ほどで自宅に快適な録音環境が構築できます。このアームには風防がついており、ブレスノイズを軽減できます。またアームによってノイズが入りづらい位置にマイクを固定でき、リラックスした姿勢に合わせやすいため長時間録音しても疲れにくいです。実際に筆者は休憩を挟みつつですが、1日に5時間弱の録音をこなした経験があります。そしてこのマイクは指向性が強く、空調のノイズを拾いにくくなっています。そのため、別の方向からならエアコンの風などのノイズが拾いにくくなっています。マイクの指向性が高いことと、アームで口元を持ってくることができるため、非常に良い音質で録音できます。ちなみにこのマイクはUSB接続であるため、接続も簡単です。筆者は最初にヘッドセットを使っていましたが、比べ物にならないくらいノイズが少なく良い音質で録音できるようになりました。音質が良いと編集が非常に楽になるので、多少高価なマイクを買っても満足度は高いと思います。

- Blue Yeti

最後に集団で録音するときにお勧めのマイクを紹介したいと思います。Blue社のYeti（イエティ）というマイクです。このマイクはおよそ1万6千ほどとかなり高価ですが、その分高性能かつ楽に録音できます。YetiはUSBマイクなので、USBをPCに接続するだけで使用可能です。一点だけ注意なのが、接続した直後はミュート状態なのでミュートボタンを押して解除するのがポイントです。このマイクは本体のつまみを操作して指向性や録音レベルを変えられます。指向性を変えられるというのは、1方向のみ、左右、対面、全方位の4パターンの方向からの音を録音するようにできます。そのため、二人のときは対面にする、複数人の時は全方位にする、一人の時は1方向にするのようにその時に

最適な録音状態にできます。指向性が広がるとノイズを拾いやすくなるので、こういった調整ができるのは良い音質の録音をするために非常に便利な機能です。

録音ソフト

PCで録音するにはマイクの他に録音ソフトが必要です。筆者は録音、編集ソフトとしてAudacityを使用しています。

- Audacity

Audacityはフリーで録音、編集ができるソフトです。録音時は録音レベルを調整することができ、マイク側で調整ができなくてもある程度ならソフト側で調整できます。

ミキサー

使ってないのでだれか書いてほしい(というか不要?)

2.5.4 収録時に注意すべき点

収録環境ができたら実際に収録していきますが、その時にも様々な工夫が可能です。必須というわけではありませんが、以下のテクニックを使うことで、収録そのものが楽になったり、編集が楽になるテクニックもあります。

マイクテクニック

録音時にマイクをどう使うかが音質に非常に影響していきます。マイクテクニックを知っているとノイズが少なく、編集が楽になるでしょう。

まずはマイクの位置です。マイクは口から少し横にずらして設置しましょう。正面だと息がマイクにかかり、ノイズとなってしまいます。マイクの位置を決めたら、そこから動かさないようにしましょう。これはマイクも自分の顔も同様に動かさないようにしたほうが良いです。位置を動かさないと安定して録音できます。次に「ぱぴぶべぼ」と喋って録音してみましょう。ば行の音は破裂音と呼ばれ、録音したときに大きな音のノイズになります。マイクの位置が影響してきますのでぜひ確認してみましょう。

次の声の大きさです。収録できる環境によって声の大きさの上限は変わってきます。夜中に家族がいる家で大きな声は出せませんよね。ですが、録音の観点からするべく大きな声で録音したほうが音質もよくなり、編集も楽になります。声が小さいと編集で大きくすることになりますが、その時にノイズを大きくなってしまいます。ある程度のノイズは編集で目立たなくできますが、その分声も聞こえづらくなってしまいます。筆者の感覚では編集でノイズを消すのは最終手段にして、収録環境や録音時に注意したほうが結果的には楽になるでしょう。

マイクにはハンドマイクと呼ばれる手に持つマイクがありますが、ハンドマイクはずっと同じ場所に固定するのが難しいので使用する場合はスタンドなどで固定したほうがよいでしょう。他にもイヤホンマイクを使用する場合は衣服と擦れないように固定するようにしましょう。

外の騒音

収録すると意外と外の音が入ることに気づきます。例えば車やバイクの音、選挙カーの声、電車の音、廊下や階段を歩く音などがよく入っています。これらは場所や時間をずらすことで回避できることがあるので、なるべく静かな時間帯を選びましょう。外の騒音に限って言えば深夜の方が静かになります。ですが、家族と一緒に住んでいる場合は自分がうるさい原因にならないように注意しましょう。どうしても騒音が解決できない場合は場所を変えることを検討した方が良いと思います。

部屋の内部で発生するノイズ

録音時は部屋の中のノイズも拾ってしまいます。まず空調の音が最も目立ちます。エアコン、暖房、扇風機、窓からの風などのことです。そのためマイクに風が当たる位置にある場合は事前に温度を調整しておき、収録時には空調を止められるようにしておきましょう。特に夏や冬の場合は事前に快適な温度にしておいた方が収録も捗ります。他にも椅子や扉の音、PCのファンなどの音が気になるかと思います。実際に録音してみて気になる音は対策してみましょう。

出演者からのノイズ

収録時に出演者から出るノイズもあり、衣服の衣擦れ音、アクセサリ、PCのキーボード音、携帯の通知などのことです。最近はあまりないと思いますが、ナイロン製の衣服はシャカシャカという音が発生します。収録中は自然と体が動きますので音が出ることがあります。またアクセサリをつけている場合も同様です。音が目立つようなら外しておきましょう。次にPCのキーボードです。ノートPCなどで情報をみながら収録することがありますが、その時にメモをとるキーボードの音はかなり目立ちます。可能な限りマイクをおいているテーブルとは違う場所にPCをおきましょう。座卓にマイクを置く場合は、PCを直接床においた方が良いです。録音してみるとわかりますが、かなり静かにキーボードを押しても音が乗っているので、気になる場合は厳密に対応した方が良いです。最後に携帯やノートPCからの通知は極力切っておきましょう。気にしない人もいますが、リスナーさんで気にする人はいるかもしれないなくせるノイズはなくしておいた方が良いです。

編集点を作る

収録時に編集点を作ると編集が楽になります。特に Podcast を始めた当初は囁んでしまったり、どもってしまうと録音を止めたくなるもの。録音を止めるとテンポが悪くなり先に進めなくなるので、録音は止めずにすこし黙って間を置いてから喋り出すとテンポを崩さずに収録可能です。これならあとで間違えた部分だけ消せばいいので、録音し直すよりもテンションの違う不自然な結果になりづらいと思います。

収録の流れ

単独でも複数人の収録でも収録の流れを用意して周知しておいた方が良いでしょう。喋っている時に次の状態を意識しながら喋るのは結構難しく、上の空になってしまいがちです。それよりも事前に流れを決めておき、それを見ながら喋ると、個々の話題に集中できるので、より楽しい Podcast にできるでしょう。収録の流れと言っても喋る内容を一言一句細かく用意する必要はありません。あまり用意しすぎると原稿を読み上げるナレーションのようになってしまいます。例えば次のような項目だけ用意しておくと良いでしょう。

- オープニング
- 自己紹介
- メインテーマ
- 告知
- エンディング

オープニング、告知、エンディングなどは毎回同じことを言うと思いますので原稿を作っておくと良いと思います。自己紹介、メインテーマなどはその時の流れで収録した方がよりよい Podcast になるかと思います。

参考までに aozora.fm で使用している収録の流れをご紹介します。aozora.fm では収録の流れの中に収録時の事前確認や事後確認など収録全体でやることを含めてテキスト化してあります。これにより毎回異なるゲストを呼んでも同じ注意点やお願いをすることができます。また新しく気づいたことも追加でき、エピソードを重ねるごとにクオリティの向上が図れます。なにより、ルーチンワークとすることで毎回の収録をスムーズに進めることができます。

- 事前確認
 - ゲストの呼び方の確認
 - 私の呼び方確認
- * フォルテで OK

- 社名の公表可否
- 固有名詞について
 - * 他の Podcast 名とか作品名とかキャラ名とか
- マイクのテスト
 - * 破裂音の確認（ぱぴぶべぽ）
 - * マイクの位置
 - * こだわりすぎない
- 通知のオフ確認
- ミュート
 - 黙っちゃうとか被ったとかは仕方ない精神で
 - キーボードはしゃべらないとき
- 収録の詳細な流れ
 - オープニング

リスト 2.2: オープニング例

私：aozora.fm 第 xx 回目。
第 xx 回目はゲストに○○さんをお迎えしています。
よろしくお願いします。
～あとは流れで。

- - ゲストの自己紹介

必要なら自己紹介の掘り下げ** 楽しい事 事前にきいていたことの話** aozora.fm の告知

リスト 2.3: 告知文例

この Podcast、「aozora.fm」ではゲストを募集しています。
話したい「楽しいこと」があれば誰でも OK。
今まで Podcast に出たいけどハードルが高いなあ…とか、
そんなスゴイ話題なんてないよーって人でも大丈夫です。
普段楽しんでいること、趣味の話し、仕事の話、なんでも大歓迎なので気軽にご連絡ください。
なお、現在ゲストの収録キューが溜まっています。
いまご連絡をいただくと 3 ヶ月から半年程度先になる場合がありますので、ご了承ください。
連絡方法は Twitter の DM など、何でも大丈夫です。

また、「aozora.fm」ではご感想やご意見をお待ちしております。
Twitter でハッシュタグ「#aozorafm」を付けてツイートしてください！
配信ページのおたよりボタンからもお便りを送ることができます。

ぜひ、よろしくお願いします。

また、Discord で Podcast 好きが集まるコミュニティ、すばきやすというものを主催しています。このコミュニティはオススメ Podcast を紹介したり、知らない Podcast を知ったり、公開収録に参加したり、公開聴取回に参加したりするコミュニティです。Podcast 好きの人は是非!配信ページのリンクからご参加くださいー。

- - ゲストからの告知
 - エンディング
 - * ゲストに Podcast 収録の感想を聞く。
 - * 流れで収録おわり。
- ファイルの保存
- 収録後の確認
 - 公開前確認の要否
 - 公開時期について
 - 収録報告ツイート
 - 他に質問疑問はあるか?

それぞれ補足をしておきますと、呼び方の確認はゲストさんの名前の確認です。筆者は FORTE という名前ですが、非常に読みづらくフォーテさん?とよく間違われます。収録時に間違えてしまうとテンポが悪くなってしまうため、事前に確認しています。社名の公表可否は所属している会社の宣伝をしたいことがいたり、逆に好評したくない人がいるので事前に確認しています。固有名詞については他の Podcast 名などを出すのをためらうゲストがいたので明示的に確認しています。

マイクのテストはオンラインで収録するときに相手のマイク環境を最適化するために行っています。ば行の音は破裂音といってマイクに行きがあたってブレスノイズが乗りやすいので、まずはぱぴぱべぼと喋ってもらっています。ここでノイズが乗るようならマイクの位置を口の横に持ってきてもらったり、ちょっと離れて喋ってもらいます。マイクの位置は口や鼻から息がかからない位置にするのと、空調の風が当たらないように調整してもらいます。この調整は聞いてる音にノイズが乗っていなければ問題ないと思います。ただし、音質にこだわるとキリがない上にオンライン収録でゲストに環境を用意してもらうどうしても限界があるので、あまりこだわりすぎないようにしましょう。

通知のオフ確認はスマートフォンのアラームや PC からの通知が出ていないことを確認してもらいます。ミュートはオンライン収録で来客など急用ができたときに、音がこちらに伝わらないようにミュートする手順を伝えます。Zencast では自分の名前の下にあるマイクのアイコンをクリックすることでミュートできます。オンライン収録では相手の顔

が見えないため、かぶって喋ってしまったり、間を取りすぎて無言になってしまうことがあります。これは編集点を作ったり、やり直せばいくらでも大丈夫なのであまり気にしちぎないようにゲストに伝えています。

収録時にど忘れした言葉を思い出したり、知らない言葉について調べたりするときにキーボードを操作することがよくあります。キーボードや収録環境によりますが、キーボードのタイプ音がノイズとして収録されてしまうので、キーボードは喋らないときに操作するように伝えています。無言で操作してもらえばあとで編集時に消すことが可能です。会話と被ってしまっていると後で消せなくなってしまうので、事前に伝えておくとスマーズに収録と編集ができると思います。

収録が終わったら録音したらファイルを保存しましょう。筆者は一度保存し忘れたことで、お蔵入りになってしまったことがあります。収録が完了したらゲストの方に公開前の事前確認が必要か確認します。これは会社の宣伝などをした場合に会社側に確認してもらったり、話が盛り上がりてしまい余計なことを言っていないか確認してもらうためです。公開時期については告知の内容によっては急いだ方が良いので、その時の予定を伝えるようにしています。aozora.fm では収録後に Twitter で宣伝や次回予告を込めて収録完了ツイートをしています。忘れずにツイートするために流れに含めています。最後にゲストに質問や疑問が無いか確認して収録完了です。

2.5.5 実際に録音してみる

具体的な録音手順としてはまず録音する PC の電源を確認しましょう。デスクトップの場合は気にしなくて大丈夫ですが、ノートパソコンの場合は必ず確認しましょう。電源をつなぎ忘れて録音を始めてしまい、録音途中に慌てて電源に接続することになると話のテンポが台無しです。また気づかずに電源が切れて録音に失敗してしまった!という悲しい結果にもなりかねません。こういったミスは慣れてくると発生しやすいミスなので、念頭に置いておくと良いと思います。

次に録音ソフトを起動します。ここでは Audacity で説明しますが、だいたいの録音ソフトで同じような手順で録音可能だと思います。

最後にマイクを接続してみましょう。Audacity の TODO エコー?(TODO 画像) をクリックすることで現在の入力から拾っている音を視覚化できます。

Audacity ではどの入力インターフェースから録音するか決められるので、想定した入力になっているか確認します。TODO 画像

もしここで使用したいマイクが表示されていない時は TODO 手順で入力している機器の再確認を行います。正常に接続できていれば再度 TODO 手順することで接続したマイクが表示されるはずです。

最後にマイク側のミュートを解除しましょう。マイクによっては接続直後は自動で

ミュートになるため、解除しないと音声が拾えないものがあります。

正常に接続できたらテスト録音してみましょう。過去に同じ構成で録音したことが合ってもゲストが違ったり、体調の変化などで声の大小が変わることがあります。必ずテスト録音をして、マイクや座る位置、録音レベル、周囲のノイズの有無などを確認しましょう。

テスト録音が正常に終了すればあとは本番の録音です。話すことを楽しんで Podcast を録音しましょう。

2.5.6 より良い収録のために

とりあえずポッドキャストとして出せるレベルの音源を収録できるようになったら、さらなる高みを目指しましょう。

特にゲストを呼んでいる場合、話の方向性をコントロールしたり、内容にまとまりを持たせたりする難易度が格段に上がります。

ここでは、出演者もリスナーもハッピーになるような収録をどのように実現するかについて考えます。

ファシリテーションの目的

会議と同様に、ポッドキャストでもファシリテーションを意識することで、より良い収録をすることができます。

ポッドキャストのファシリテーションで目指すべきことは、主に以下です。

- リスナーの聴取体験を良くする
- パーソナリティやゲストの収録体験を良くする

まずは、リスナーにとって聞きやすい内容に仕立てあげることです。

たとえば、ハイコンテキストな会話をひたすら続けていたら、リスナーは何もわからずおいてけぼりになってしまいます。

また、パーソナリティやゲストが収録で楽しく話すこともとても重要です。

せっかくゲストに呼んだ人が話したいことを全然話せなかったら、今後その人の協力を得ることが難しくなってしまうかもしれません。

ポッドキャストのファシリテーションでは、聴取体験と収録体験の両立を目指すことが重要です。

音声メディアと分かりやすさ

そもそも、ポッドキャストなどの音声メディアで適切に内容や空気感を伝えるというのは難しいものです。

動画であれば画像やジェスチャーなどで伝えることができますが、音声の場合は基本的

にはすべて言葉で伝える必要があります。

また、ポッドキャストやラジオは、リスナーが常に集中して聴取しているわけではありません。「この瞬間から集中し始めたリスナーにも理解してもらえるか？」を常に意識しながら話すと良いです。

まず、次のような状況や言葉に対しては、なるべく補足説明を入れると良いでしょう。

- 収録場所の様子
 - 例) 「今日は○○で収録しています」
- 出演者のジェスチャー
 - 例) 「○○さんがマイクに向かって全力で手を振ってますけれども」

また、他の出演者が話している内容について、定期的に言い換えて確認を求めるのも効果的です。「それって○○ってことですよね」などと話をまとめて同意を得ることで、出演者とリスナーの間で共通認識を保ちながら話を前に進めることができます。

リスナーが知りたい情報を補足する、引き出す

多くの場合、出演者とリスナーとでは、ポッドキャストで話されている内容に対して、前提知識や文脈の共有度合いに差があります。深い知識を武器に神々たちが戦う様子を楽しむタイプのコンテンツもありますが、一般的には出演者とリスナーの知識差を埋めるように振る舞った方がリスナーのストレスは軽減されます。「この回から聴き始めたリスナーにも楽しんでもらえるか？」を常に意識しながら話すと良いです。

気にすべきことは、いくつかあります。たとえば次のようなものです。

- 難しい言葉や表現、一般的ではない固有名詞
 - 例) ダブルエンダー方式、yak shaving、しがないラジオ
- コンテキストによって意味が変わる略語
 - 例) SFC、PM、CS
- その他ハイコンテキストな内容
 - 例) 出演者の内輪ネタ、過去回の内容

このような内容が出てきたら、適切な補足説明を加えましょう。ただし、説明しすぎると逆に聴きにくくなるので、「気になった人が検索できるだけの情報を提供する」くらいの気持ちで補足すれば十分です。たとえば、過去回で話した内容に言及する場合は、「これについては第 n 回で話しています」と補足するだけでリスナーがキャッチアップできるようになります。

リスナー層が明確である場合は、さらに踏み込んで「リスナーの代表として振る舞う」ことを心がけましょう。たとえば、ゲストなど他の出演者に対する次のような振る舞いです。

- リスナーが知っている情報の一歩先に踏み込む
 - 例) 「○○って聞いたことあるんですけど、何が面白いんですか？」
- リスナーが当然抱く疑問を想像しつける
 - 例) 「○○ってどのくらいコストかかるんですか?」、「なんで○○を始めたんですか？」

生放送でなければ、リスナーは収録にリアルタイムで口を出すことはできません。リスナーの気持ちや思いを想像し、よき代弁者として振る舞うことで、リスナーの聴取体験は格段に良くなります。

ゲストが話したいことを吐き出させる

一般的に、ポッドキャストにゲスト出演するような人は自分の話をするのが好きな人です。せっかくゲストを呼んだのにパーソナリティが話しそぎてしまうと、ゲストの満足度が下がってしまいます。パーソナリティは毎回出演しますが、そのゲストが出演するのは1回切りになるかもしれません。あくまでもゲストの話を中心に据えて、パーソナリティはそれを面白く聞きやすい形に料理することに注力しましょう。

ゲストの収録体験を向上することで、次のような恩恵を受ける可能性が上がります。

- ゲストはポッドキャストの宣伝を積極的にしてくれる
- ゲストが他のゲストを紹介してくれる

ゲストを上手くポッドキャスト配信の仲間に引き込むことで、より盛り上がりを高めることができるでしょう。

2.5.7 話の質を上げる

Podcastは主に話をしながら配信をする媒体です。なので、話の質というのは非常に重要な項目になります。

ここでは、話の質をより良くするためにどのような点に注意をするとよいのかを紹介します。

話の質をよくするとは？

話の質を良くするポイントとして、次の6つがあります。

- 話のスピードをコントロールする
- 滑舌を意識する
- 表情豊かな声を出す
- つなぎ言葉を控える

- マイクに向かって話す
- 語尾を尻すぼみにしない

話の質を良くすることは Podcast に限らず普段のコミュニケーションにおいても非常に役立ちます。日常的にも訓練ができることがあるので、意識をして話をしていきましょう。

話のスピードをコントロールする

話のスピードは内容の聞きとりやすさに非常に重要となります。話の速度というのは、早すぎても遅すぎても良くないので適切な速度で話をする必要があります。適切な速度で話をするリスナーが内容を理解することができるようになるでしょう。

話の速度のコントロールは自覚をしていないと難しいことです。自分にとって心地のよい速度ではなく。リスナーにとって聞きやすい速度となっているのかを他の Podcast や公共のラジオなどと聴き比べながら確かめてみてください。特に、話のスピードが早くなる人が多い傾向にあります。

話のスピードが早くならないようにするために句読点を意識するというテクニックがあります。句読点を区切りとして意図的に呼吸を入れることで、話のスピードをコントロールすることができます。

滑舌を意識する

滑舌に関しては、顔の骨格や歯の並び方などさまざまな要因がありますので、簡単に修正することは難しいでしょう。もちろん、プロの声優のようにすべての言葉に対して滑舌を良くするというのは大変なので、簡単に修正できるところからやっていきましょう。

特に、「かきくけこ」と「さしすせそ」という言葉は滑舌が悪いと聞き取りにくい言葉です。これらの言葉は子音を強く発生することで聞きやすくなります。ポイントとしては、話初めにこれらの文字が来る時ははっきりと発音することを意識しましょう。

滑舌というのはトレーニングをすることはできます、普段から滑舌を意識してしっかりと口と舌を動かすようにしましょう。

表情豊かな声を出す

表情というのは、目に見えるものだけではありません。声にも表情があります。日本語の表現で「明るい声」「暗い声」という表現があることからもわかります。

明るい内容の Podcast をつくるのであれば、明るい声を出すように意識をしましょう。明るい声を出すためには、表情を笑顔にして話すことが大切です。実際に笑顔で話をすることで、口角が上がり口の中の空間が広くなり、声の響きが良くなります。

つなぎ言葉を控える

話を始める時に「あの…」や「えっと…」のようなつなぎ言葉を多用する人が居ますが、これはリスナーにとって聞き取りにくくなる原因となりますので、なるべく控えるようにしましょう。いきなり文章を話し始める意識をもつことでつなぎ言葉を減らすことができます。

会話の間を恐れて意味のない言葉を発してしまうことなく、しっかりと文章を作つてから話始めるようにしましょう

マイクに向かって話す

ポッドキャストの収録時の環境によるのですが、専用のマイクを使う収録の場合は、マイクに向かって声を出すように気をつけましょう。

声には指向性があります。指向性があるということは、つまり口が向いてる方向に声が向かっていきます。なので、下を向いたまま話をしたりすることなく、マイクに口を向けて話をするようにしましょう。

文章をしりすぼみにしない

話し方の癖として、文章の最後の方がしりすぼみになってしまふということがあります。普段の話し方でも、自信なさそうに話をしていて文章の最後のほうが聞き取りづらいという経験はありませんか？

話したいことを完成させる前に発言を始めてしまつては、徐々に自分の発言に自信がなくなつてしまふ徐々に声が小さくなつていくことがあります。改善をするためには、言葉をしっかりと考えてから言い切るということを意識しましょう。

また、文章が長くならないように完結にまとめて話ができるように訓練をすることも大切です。普段から、一息で言い切ることができる分量の文章量というのを意識して話をしてみましょう

■コラム：より良い収録のために収録中にできること@FORTE

より良い収録のために収録中にもできることがあります。たとえばゲストや他のパーソナリティとの会話からネタを拾うことができます。人との会話というのは生物なのでどんなに事前に準備していても話していくうちに思い出したり、お互いに共通の話題が見つかったりして話したいことが増えていきます。話しているとその時出てきた内容を忘れたりするので、手元に手書きであとで触れたい話題や聴きたいことをメモしておくとよいでしょう。特に相手の話を聞いていてパーソナリティであるあなたが聞きたくなつたことは、リスナーさんも聞きたいことだと思います。質問をす

ることで話が深掘りされたり、広がったりするのでお勧めです。

もうひとつ実際にやってみて感じられたこととして、ゲストに共感できると良いなあと思いました。これは私の趣味が多く多彩なゲストの趣味のいずれかに共感できる箇所があったことで気づいたことなのですが、ゲストの趣味や話していることに共感できるとゲストが非常に話しやすくなります。好んで話しているときは夢中になって話してもらえるので、楽しく会話しやすく、リスナーにもそれが伝わりやすい良い収録ができると思います。無理に必ず共感しなくとも良いですが、ネタ探しのついでに普段から様々なもの見聞きしたり、過去に自分がやったことを棚卸ししておくと良いと思います。

2.6 編集

2.6.1 FORTE おすすめの編集方法

筆者がいつも行なっている Audacity でのお勧めの編集方法を記載します。これだけできなり良い感じになるので、ぜひ一度お試しください。

音量を大きくする

最初に音量を大きくします。音量や音質は録音時の環境が大事ですが、編集でもある程度は調整することが可能です。この編集方法ではなるべくノイズが少ない環境で、なるべく大きい音量で録音することが大事です。音量の調整ですが、全選択してメニューからコンプレッサーを選択します。設定はデフォルトの状態から次の項目を変更します。ちなみにデフォルトにするのは、管理 -> 出荷時プリセットから可能です。

- 閾値 : -18
- レシオ : 5:1
- 「圧縮の後 0dB になるようにゲインを調整する」を On にする
- 「ピークに基づく圧縮」を On にする

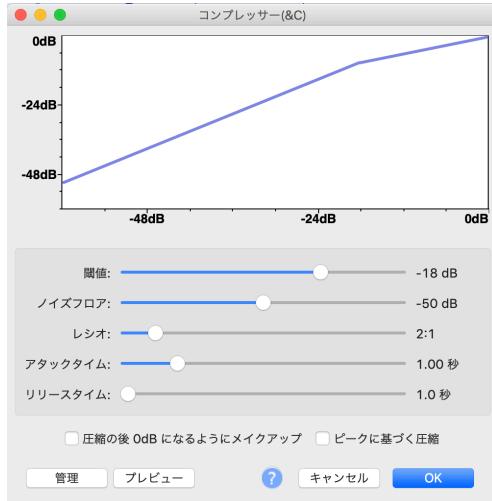


図 2.1 Audacity のコンプレッサーで音を大きく調整する

ノイズの削除

全体的に音量を大きくしたため、ノイズが目立つ状態になっています。このノイズを目立たなくします。まず、ノイズのみの音声部分を選択し、メニューからエフェクト -> ノイズの低減を表示します。そのままノイズプロファイルの選択をクリックします。今度は全て選択してメニューからエフェクト -> ノイズの低減を表示します。ノイズを低減するレベルを指定して OK をクリックします。

筆者はノイズ低減を 12dB、感度は 6.00、周波数平滑化を 3 にしています。この内容は筆者がいろいろ試した見た結果で、単純に私がもっとも好みな設定だというだけです。ちなみにノイズ低減を強くするとより強くノイズを低減できますが、ノイズ以外の音声も聞こえづらくなってしまいます。なおノイズの低減は全選択すると処理に時間がかかるので、特にノイズがひどい部分のみ選択していろいろ試して見ることをオススメします。

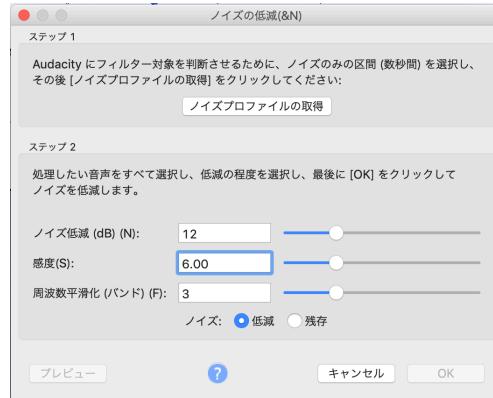


図 2.2 Audacity でノイズを低減する

歯擦音の低減

歯擦音（しさつおん）は「さしすせそ」に対して出る音です。「～ですー」とか「～だー」のようなときに出やすいです。普段の会話などではあまり気にならないのですが、コンプレッサーによる調整により全体音量が大きくなっているため、かなり耳障りになります。まず全選択してメニューからエフェクト -> Low Pass Filter（ローパスフィルター）を選択します。私はデフォルト設定のままにしていますが、好みでいろいろ変えてみてください。



図 2.3 Audacity で歯擦音を低減する

無音の切り詰め

次に無音部分の切り詰めをします。会話部分で長い間ができてしまったり、調べ物をしたりするあいだの間を短くすることでテンポをよくします。全選択してからメニューのエフェクト -> 無音の切り詰めを選択します。私は 0.5 秒が好みですが、お好みで設定を変えてください。なお、無音の切り詰めはトラックがひとつのときにだけやるようにしましょう。オンライン収録などで複数人のファイルを一つにする前にそれぞれのトラックで無音を切り詰めると音ズレが発生してしまいます。そのため、音源が複数ある場合は手作

業で間隔の調整をしたほうが結果的に早く編集出来ると思います。



図 2.4 Audacity で無音を切り詰める

音量の調整

最後は最初に大きくした音量を良い感じに調整します。これが配信する際の音量になるので、最初の手順で大きくした音量でちょうどよければこの手順は必要ありません。まずは全選択して、その後にメニューからエフェクト -> コンプレッサーを表示します。次にデフォルトから次の項目のみ変更します。

- 閾値は-18
- レシオは 2:1
- 「圧縮の後 0dB になるようにゲインを調整する」を Off にする
- 「ピークに基づく圧縮」を Off にする

最初の手順とはレシオとチェックボックスが異なりますのでご注意を。レシオとチェックボックスを変更することで、Audacity 上の表記だとだいたい Max が-9dB くらいになります。

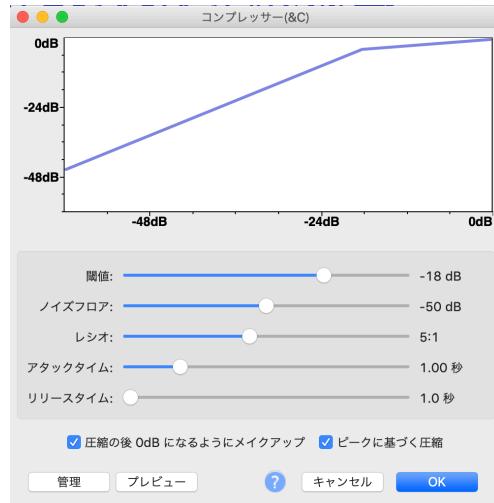


図 2.5 Audacity のコンプレッサーで音を調整する

Audacity にキーボードショートカット追加

よく使う機能はキーボードショートカットに設定しておくと編集が捗ります。Mac ではメニューの Audacity、環境設定からキーボードを選択します。Windows ではメニューの編集、設定、キーボードです。右上の検索窓から機能名を検索してショートカットを割り当てていきます。筆者は次の機能を登録しています。

- ノイズの低減 (Control + S)
- 特殊な削除・切り取り・無音化 (Control + E)
- 増幅 (Control + R)
- 削除 (Control + F)

括弧内は筆者が実際に設定しているショートカットになります。これらのショートカットに加えて再生と停止をスペースキーで行うことで編集効率がよくなります。ぜひお試しください。

細かい編集を行う

音声ファイルを最初から聞いて細かい編集を行います。筆者は 1.5 倍速で聞き直して確認しています。再生速度は Audacity の右上にある再生ボタンとバーで調整できます。



図 2.6 Audacity で再生速度を変える再生パネル

編集する観点としては次の点を確認します。

- 不自然な間があいてないか
- 間が短くないか
- カットすべき箇所はないか
- ノイズの削除

事前の編集で間を詰めていますが、一定以上の音が出ている箇所は詰められません。例えば調べ物などをしていてキーボードの操作音などが入っていると不自然な間になってしまいます。これらは実際に聞いてみるとわからない間になります。また 0.5 秒では短すぎる間というものもあります。ちょっと考える間だったり、開始と終了はもう少し間があったほうが良いでしょう。筆者は 0.5 秒の間と 1 秒の間を使い分けています。通常の会話の間は 0.5 秒にして、開始と終了や考えたり悩んでいるときは 1 秒にしています。

聞いていて不要な部分はカットしていきます。例えば調べ物をしていて度待っている時間や、なにか収録に関係ないことをしている時間などです。筆者はよくノート PC に電源をつなぐのを忘れてしまい、収録中にガソゴソと電源をつなぐことがあります。そういうた部分は不要なのでカットします。また、たまに会話でテンションが上がってしまい、公開するには不適切な話題や不要な会話をしてしまうときがあります。そういうものが公開されないようにカットしていきましょう。

次にノイズの削除を行います。こちらも事前の編集で削除していますが、異なる種類のノイズはそれごとに対応が必要となります。例えば扉を開けた音、外の車の音、航空機の音、キーボードのタイプ音などノイズはいくつか考えられます。それごとにノイズが目立たないようにしていきましょう。会話とかぶっていないノイズはそのまま削除すれば大丈夫です。会話とかぶっている場合はそのノイズが単独で出現している部分を選択してノイズの低減機能で目立たなくしていきましょう。編集で行えるノイズの対応には限界があります。なるべく収録時にノイズが乗らないようにしたいですね。

■コラム：参考情報：Audacity Plugin のお話

Audacity には、インストール時に同梱されている標準のエフェクト以外にも、後から導入できるフィルター（プラグイン）が多く存在します。次のようなプラグイン

が便利です。

- ・「Chris' s Dynamic Compressor plugin for Audacity^{*3}」

このプラグイン（メニューでは Compress Dynamics 1.xx... と表示されます）を利用することで、標準フィルターのコンプレッサーよりも強く圧縮をかけることができます。

また、初期インストール時に同梱されている「Limiter（リミッター）」フィルター（最大音量を無理やり削ることができるフィルター）と組み合わせることで、より音量の振れ幅が少ない、聴きやすい音源を作ることができます。

たとえば、通常の声はボソボソと音量が低い、でも、ところどころに爆笑のシーンがあって音量差が激しい、というような収録音源を想定してみましょう。この場合、まず「Limiter」フィルターで音量が大きな部分をクリップ、次に「Chris' s Dynamic Compressor plugin」を適用することで、強い圧縮効果が期待できます。

ただし、この場合もノイズが大きく影響するため、設定によっては「要らないノイズが増幅されてしまった」もしくは逆に「小声で喋っている大事な部分が聞こえなくなってしまった」といった結果になることがあります。まずはノイズが多そうな部分や、話者の声が小さくなってしまっている部分で局所的に適用結果を確認し、そのあとで全体に適用することをお勧めします。

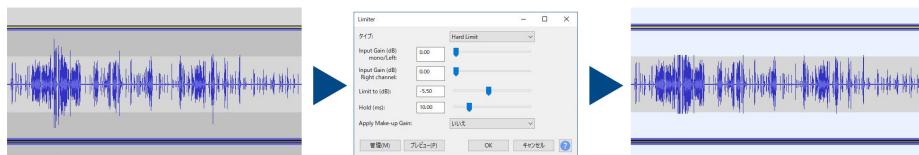


図 2.7 Limiter（リミッター）フィルターで「Hard Limit」を適用した場合の変化

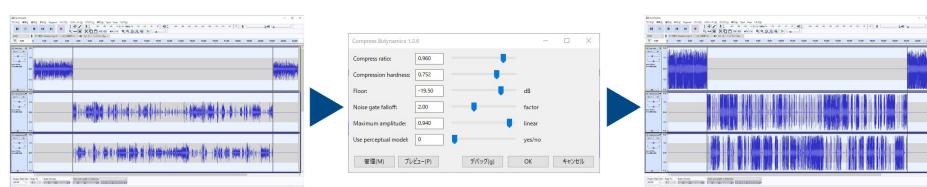


図 2.8 Compress Dynamics フィルターを適用した場合の変化

2.7 配信

録音して編集したらあとは RSS に乗せて配信するだけです。では具体的にどうすれば配信できるのでしょうか? Podcast の配信は様々な環境があり、それぞれ特徴があります。配信環境ごとにその特徴を見ていきましょう。

2.7.1 anchor

anchor とは?

anchor とは、非常に簡単に Podcast を配信することができるホスティングサービスです。

このサービスの特徴はいくつかありますが、初心者が始めるにあたり重要な特徴をピックアップして紹介します。

- ホスティングコストがかからない

多くのホスティングサービスは月額費用などの形でホスティングコストがかかります。(自前でホスティングサーバーを立てる場合でも、サーバーコストがかかってきます) anchor はホスティングコストをユーザーに支払わせることは無いとサイトに明記されているため、よほどのことが無い限りホスティングコスト無しで運用が可能でしょう。

- RSS の知識が無くても多数の媒体に配布することができる

通常 Podcast を配信するためには、RSS 配信の知識が必要となります。しかし、anchor はそこを意識すること無く、自動で RSS 配信の設定を行ってくれるため配信の敷居が低くなっています。

- アナリティクスが充実している

Podcast を配信していると、どのエピソードがどの程度再生されたのか? といった情報を分析したくなります。anchor にはそれを用意されていてダッシュボードという形で閲覧することができます。

*3 <https://theaudacitytopodcast.com/chris-dynamic-compressor-plugin-for-audacity/>

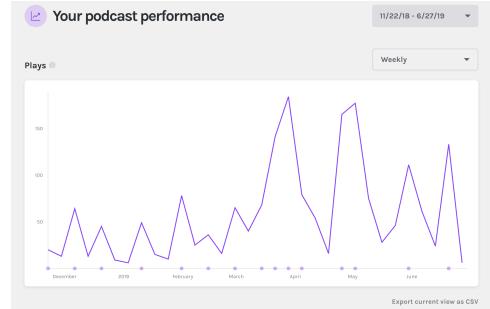


図 2.9 anchor analytics 画面 総再生回数

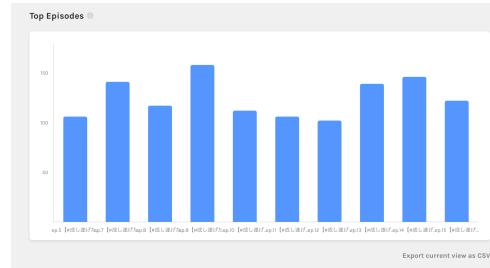


図 2.10 anchor analytics 画面 エピソード別再生回数

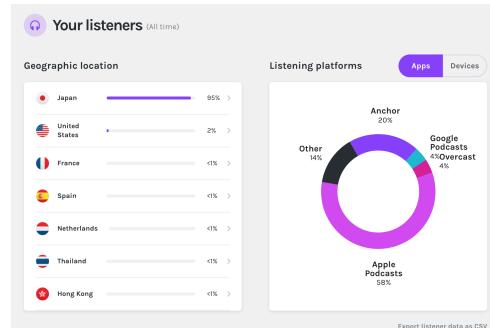


図 2.11 anchor analytics 画面 再生デバイス情報

- さまざまな録音方法が用意されている

Web 上で録音をすることができるので、追加の機器を必要とせずに音声を簡単に録音できます。もちろん、音声の編集をしっかりとやりたい方はローカルで収録をしてアップロードをするという方法を取ることも可能です。

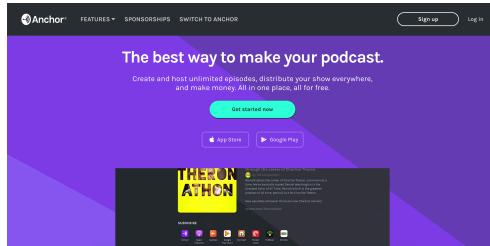


図 2.12 anchor TOP 画面

アカウントの作成

まずは、アカウントを作成します。アカウント作成にはメールアドレスが必要なので、Podcast を作成する用のメールアドレスを取得しておくと良いでしょう。

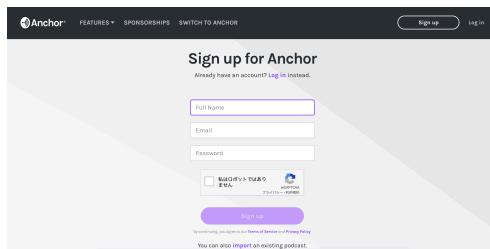


図 2.13 anchor アカウント作成

アイコンの登録

Podcast のチャンネルアイコンを設定します。画像だけを用意して文字を anchor 上で入力することも可能ですが、文字が入ったアイコンを作成してアップロードをするほうが自由にレイアウトができるのでオススメです。

Podcast チャンネル情報の入力

Podcast チャンネルを作成するときには下記の情報の入力が必要です。配信を開始する前に準備をしておきましょう。

- Podcast name (Podcast チャンネル名)
- Podcast description(Podcast 概要)
- Category(カテゴリー)
- Anchor Profile URL(Anchor 上での URL)

- External website (外部の関連サイト)
- Your name(配信者の名前)
- Your email(配信者のメールアドレス)

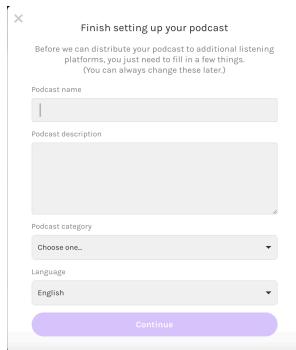


図 2.14 anchor チャンネル情報入力画面

音声のアップロード

音声をアップロードします。

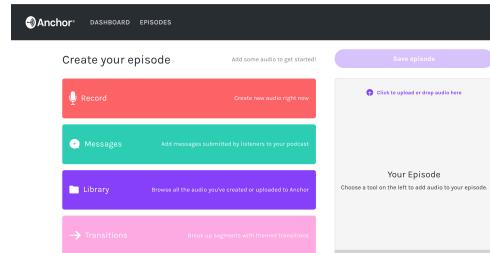


図 2.15 anchor アップロード画面

タイトルと詳細の記載

各エピソードごとにタイトルと詳細情報を記載します。タイトルは 50 文字程度で anchor のページ上で省略されてしまうため、タイトルの前半に重要情報を記載し、後半に補足情報を記載しましょう。タイトルの決め方については〇〇〇〇〇〇章を参考してください。詳細情報部分には、エピソードの説明や収録中に出てきたキーワードに関連するリンクなどを記載しましょう。簡単な文字の装飾やリンクをつけることも可能です。

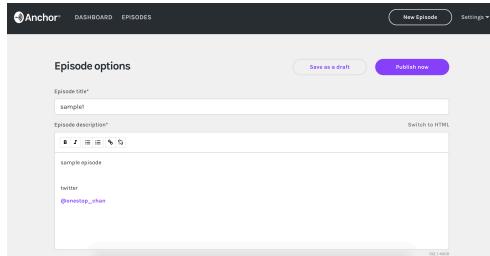


図 2.16 anchor エピソード情報入力画面

配信日の指定

anchor では、予約投稿をする機能があります。（もちろん、アップロードをしてすぐに配信することも可能です。）配信をしたい日付と時間を見選び、予約投稿をしておくことで指定の時間になると配信がされます。（RSS を購読しているリスナーにはそのタイミングで配信開始のお知らせが飛びます。）

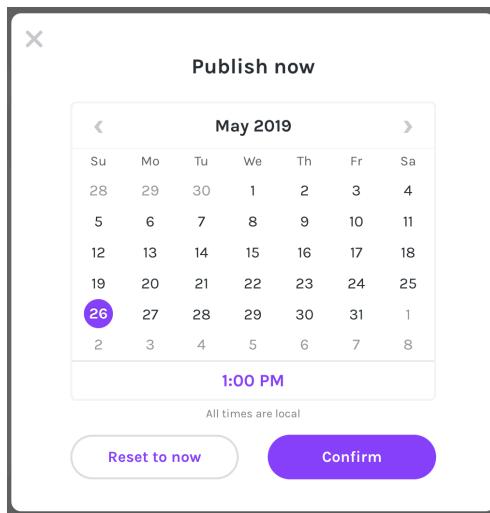


図 2.17 anchor 配信予約日程入力画面

配信画面

配信が開始されると配信画面にエピソードが表示されます。これで anchor での配信は完了です。

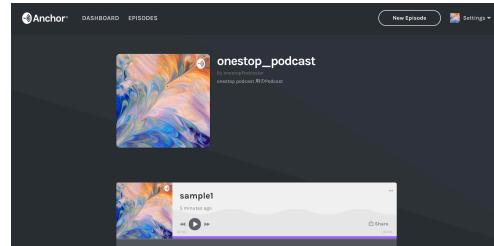


図 2.18 anchor 配信画面

2.7.2 SoundCloud

SoundCloud とは

SoundCloud は音声ファイル共有サービスです。もともとインディーミュージックなど、さまざまな音楽の共有サイトとして知られておりましたが、2015年4月より Podcast のための機能がリリースされて以降、Podcast のホスティングに用いられ始めました。

Podcast のための機能

SoundCloud の Podcast 機能といって、特殊なものではなく、簡単にいうと Podcast として登録できる RSS Feed を作成してくれるということです。

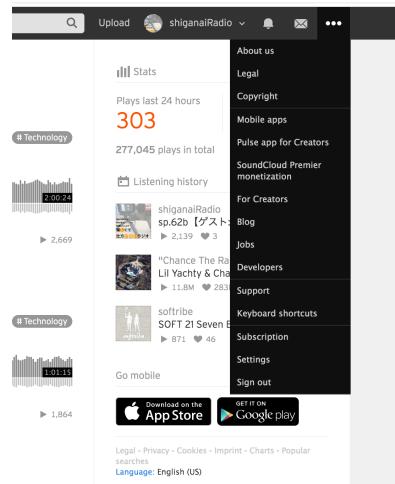


図 2.19 SoundCloud > setting

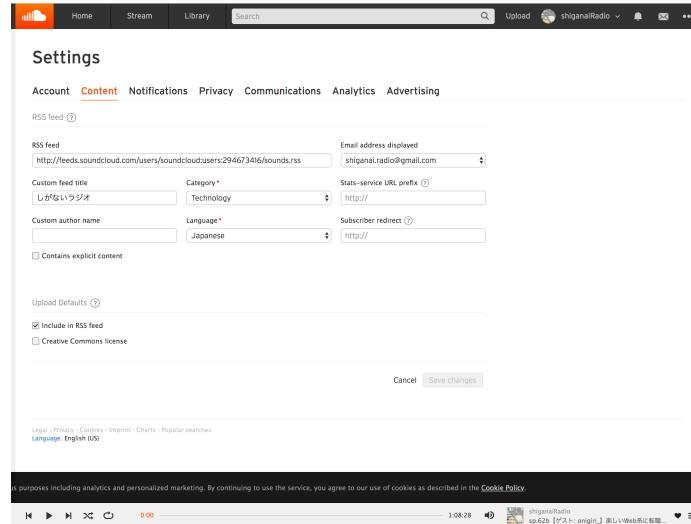


図 2.20 SoundCloud > setting > content

画像のようにたどることのできる「setting > content」から RSS Feed をから取得できます。このページで、最低限のメタ情報を編集することができます。生成された RSS Feed の Permalink には SoundCloud のページ URL が指定されます。Apple Podcast などにこちらの RSS Feed を登録することにより、各種プラットフォームにて Podcast の配信ができます。

音声ファイルのアップロード時に RSS Feed に含めるかどうかのチェック項目があり、そのフラグを立てることによりアップロードした音声が Podcast に配信されます。アップロードの詳しい方法については後述します。

プロフィールページ

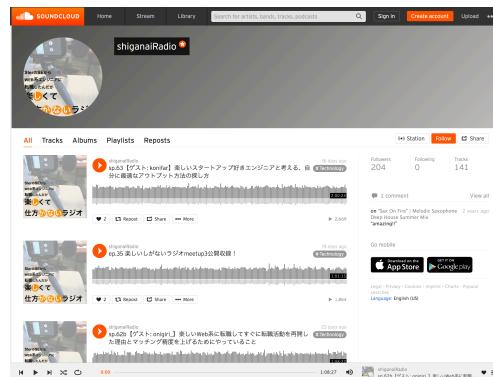


図 2.21 プロフィールページ

アップロードするすべてのファイルを RSS Feed に含める設定にしておくと、次のように SoundCloud 上でも視聴可能なプロフィールページができている形になります。一方で、SoundCloud の同一アカウントを他の用途にも使っている場合は、他の音声ファイルもプロフィールページに含まれてしまうため、Podcast のサイトとして扱うには心もとなくなってしまう、というのが Anchor など Podcast に特化したサービスとの違いでしょう。Podcast「しがないラジオ」を運営する私も上記や、サイトの見た目の関係で、自分たちでサイトを構築する方法を選んでいます。自前でサイトを作成する際、SoundCloud の embed プレイヤーがブログサービスなど含めた各種プラットフォームに対応しているため、そちらを埋め込むことも可能ですが。

音声ファイルのライセンス

アップロード時に音声ファイルに Creative Commons ライセンスを明示して設定することができます。ライセンスの問題で、プラットフォームによっては途中で広告が挟まってしまうなどの心配がありますが、SoundCloud ではそのような心配はありません。

料金プラン

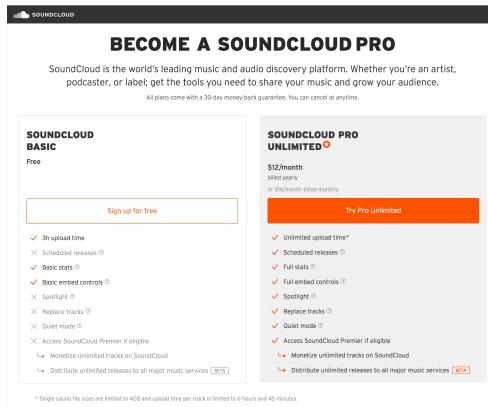


図 2.22 SoundCloud の料金プラン

無料プラン* 月に「3時間」までの音声ファイルアップロードが可能* 簡単な統計情報の閲覧 Pro プラン (\$135/年) * ファイルアップロード容量無制限* 統計情報の閲覧* 予約リリース* ファイルの置き換え

更新頻度と1回ごとの時間によりますが、無料プランでも十分使えるだけの容量があります。この料金プランは特別 Podcast に限っているわけではなく、SoundCloud の中で一貫して用いられているものです。そのため Podcast 以外にも音楽の曲をアップロードして公開する際にも適応されます。

アップロード方法

最後に、アップロード方法について解説します。といっても、SoundCloud への音声のアップロードは難しくありません。

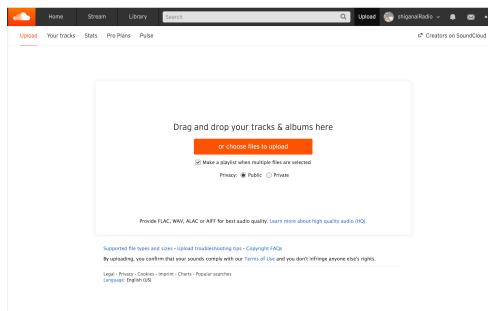


図 2.23 音声ファイルをドラッグ&ドロップ

SoundCloud のトップページから「Upload」と書かれたボタンを押すと、画像のようなページに遷移します。そして、アップロードしたい音声ファイルを真ん中の四角の部分にドラッグ&ドロップします。すると、アップロードが始まり次の画面に遷移します。

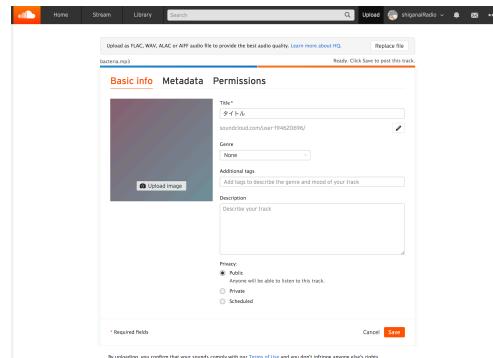


図 2.24 タイトル、サムネイルなどの設定

この画面では次の項目を設定できます。

- タイトル
- SoundCloud 上の URL に使われる ID
- サムネイル画像
- ジャンル
- ハッシュタグ
- 詳細説明
- 公開範囲と予約設定

タイトルは好きに付けましょう。タイトルを入れると、下の ID が自動で設定されますが、デフォルトではタイトル中の半角文字列をつなげたものになり見づらいです。エピソードごとのページの URL として見える ID となるので、適切に設定しましょう。

サムネイル画像はそれぞれのエピソードごとにつけることも可能です。

ジャンルとハッシュタグについては、SoundCloud のサービス内に閉じた概念です。そのため、設定する必要もないでしょう。私の Podcast 「しがないラジオ」では、ジャンルを「Technology」、ハッシュタグを「#Podcast #Technology」としています。

詳細説明は、各種 Podcast クライアントに入る、Shownote と呼ばれるものになります。ここには、多くの場合 Podcast 内で紹介したもののリンクを記載するなどする場合が多いです。その場合 HTML のアンカータグなどにする必要があります。

公開範囲と予約設定については、Podcast に公開するためなので、「Public」か「Scheduled」を選ぶことになると思います。「Scheduled」については、料金プランの部分に記載

のとおり、Pro プランのみの設定項目です。

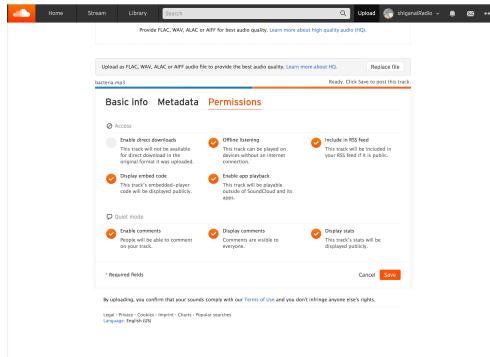


図 2.25 その他の設定

最後に「Permissions」タブに遷移し、その他の設定をします。Podcast として公開する際は、画像のように設定すれば問題ありません。重要なのは、左上の「Enable direct download」をオフにすることと、右上の「Include In RSS feed」をオンにすることです。これにより、RSS feed にアップロードした音声ファイルを乗せることができます。

この紹介しなかった「Metadata」タグでは、ライセンスやリリースした日付を詳細に設定することができるので、使いたい場合は見てみるとよいでしょう。

2.7.3 yattecast

yattecast（ヤッテキャスト）は r7kamura さんが開発した Podcast サイトをつくるためのテンプレートです。Github のリポジトリを fork して音源と説明文を書くだけで Podcast が公開できます。

Yattecast

Podcastサイトをつくるためのテンプレート

簡単・便利・最高

サイトを公開するには、録音した音源と説明文をGitHubに置くだけ。
再生用のプレーヤーやiTunes用のRSSフィードなども自動で用意されます。

GitHubでforkして使う



図 2.26 yattecast

yattecast の特徴はお手軽さと拡張性の高さです。HTML と CSS、JavaScript の知識があれば yattecast をベースに自分の好みの配信サイトを簡単に作ることができます。それらの知識がなくても画像ファイルを変えるだけでオリジナリティがあるサイトにできるでしょう。また Podcast の配信に必要な機能は最初から搭載されているので、必要な機能は簡単に実現でき、デザインや見た目などに時間をかけることができます。もし自分が好みの配信サイトにしたい、そのため勉強しても良い!という方であればとてもやりがいがありますので、yattecastをお勧めします。

ただし、Github の基本的な操作方法がわかっていることが前提になります。ですので、Github に関する知識がなくともっと簡単に配信したい場合は別の配信方法が良いでしょう。

配信方法

まずは Github から yattecast のリポジトリを fork します。次の URL を開いて右上の Fork をクリックして自分のリポジトリを選択すれば Fork できます。もしこのとき自分のリポジトリがなければ作成しておきましょう。

<https://github.com/r7kamura/yattecast>

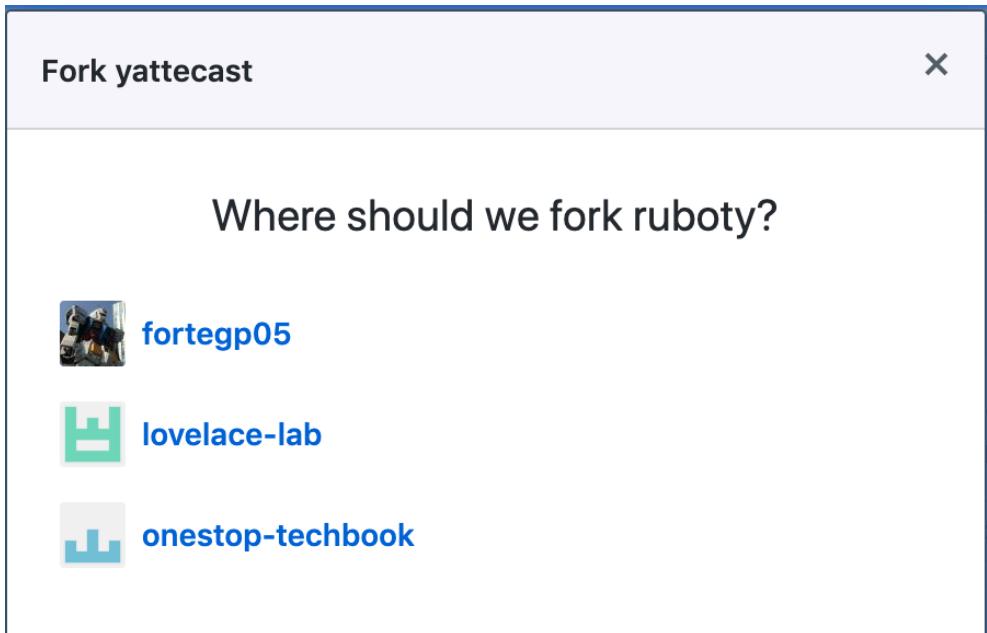


図 2.27 yattecast の fork

無事 fork できたらまずサイトを公開する準備を行います。fork したリポジトリにブランチ gh-pages を追加します。ブランチの追加は必須ではないですが、わかりやすいと思うので、ブランチを追加することをお勧めします。次に fork したリポジトリの Settings を表示し、リポジトリ名を変更します。これが URL の一部となるため、Podcast 名とするとわかりやすいでしょう。さらにスクロールすると GitHub Pages の設定があるのでソースを gh-pages に指定しましょう。これで以下の URL で Podcast の配信ページにアクセスできるようになったはずです。

[https://fortegp05.github.io/Podcast 名/](https://fortegp05.github.io/Podcast%20名/)

次に _config.yml を編集します。次の項目を更新しましょう。

- actors
- author
- description
- description_long
- email
- hashtag
- itunes_podcast_url
- keywords

- title
- url

actors が出演者です。アイコン、名前、URL を設定します。筆者はアイコン、URL ともに Twitter と同じにしています。アイコンの画像は images の actors 配下に配置しましょう。author はパーソナリティです。description と description_long は Podcast の概要です。_long の方が長いので、そちらに詳細を記載しましょう。email は自分の email アドレスを指定します。

hashtag は Podcast の感想などを呟いてもらう Twitter のハッシュタグです。itunes_podcast_url は RSS の URL を指定します。URL は次のような内容です。

<https://fortegp05.github.io/aozorafm/feed.xml>

keywords にはその Podcast を示すキーワードをカンマ区切りで記載します。例えば テック系、雑談、ゲームなどになります。title は Podcast のタイトルを入力します。url は Podcast の URL を指定します。

次に画像を変更します、images の配下にある logo.jpg を変更すると配信ページの上部にある画像が変更されます。images と同じ階層に audio フォルダが存在します。このフォルダに録音、編集した音声ファイルを配置します。

最後に_posts の編集をして Podcast を配信します。_posts には「日付_連番.md」という形式のファイルがあります。このファイルが Podcast の 1 エピソードになります。次の項目を編集します。

- actor_ids
- audio_file_path
- audio_file_size
- date
- description
- duration
- title
- 関連リンク

actor_ids は _config.yml に追加した actor を指定します。ゲストなど毎回新しい人が出演するときは都度追加しましょう。audio_file_path は audio フォルダに配置した音声ファイルのファイル名を記載します。このときパスは /audio/ 音声ファイル名となるように指定しましょう。audio_file_size は音声ファイルのサイズをバイトで記載します。date は配信日になります。未来の日付にすると Github に push しても公開されないため、気をつけましょう。description はエピソードの概要を記載しましょう。duration は音声ファイルの長さを記載します。「時:分:秒」の形式で指定します。title はエピソード

のタイトルを指定します。関連リンクはエピソード内で話題にでたものを補足するリンクなどを掲載しましょう。

このファイルを push してしばらく待つと Podcast が Web ページに公開されます。これでインターネットには公開されました、iTunes には申請できません。iTunes に申請して iPhone の Podcast アプリで検索できるようにしましょう。まずは以下の URL にアクセスします。もし Apple アカウントがない場合は新規作成しましょう。

<https://podcastsconnect.apple.com/>

ログインすると RSS フィードの URL 欄があるので、そこに config.yml の itunes_podcast_url に指定した feed.xml の URL を指定しましょう。Validate (検証) ボタンを押すと、RSS の内容を確認してくれます。内容に問題がある場合はこれまでの作業を見直してみましょう。問題がなければ Submit (送信) ボタンが押せます。内容に問題がなければ数日の間に登録完了メールが来ます。

おめでとうございます!これで晴れて yattecast を利用した Podcaster になれました!Podcast を楽しんでいきましょう。



35. みやもとさんと楽しい経歴やPodcastの話。

2019年06月26日(収録日：2019年06月03日)

みやもとさん(Twitter : @yahsan2)と楽しいバンライフやPodcastについて話しました。



34. ゆのんさんと楽しいマネジメントの話。

2019年06月16日(収録日：2019年05月28日)

ゆのんさん(Twitter : @yunon_phys)にマネジメントについてお聞きしました。



図 2.28 yattecast_fork_0 を元に作成した Podcast 「aoxora.fm」

yattecast の改造

筆者は aozora.fm という Podcast を yattecast で配信していますが、以下の項目を改造しています。ここでは改造した内容について代表的なものを解説していきます。

- チャプター機能の追加
- 再生位置の記憶
- リンクの新タブ表示化
- スクロール時に再生バーが追従する
- 告知内容のカード表示化

- パーソナリティからの告知の表示
- ヘッダー画像のブラー効果を削除
- 支援者の表示
- おたよりの送付機能の追加

最も特徴的な改造はチャプター機能の追加です。aozora.fm は楽しいことを話す Podcast であり、特定のテーマについて話す Podcast ではありません。そのため、そのエピソードでどんなことを喋っているか知りたいですし、後半は興味がある話題だけど前半は興味がないから飛ばしたいということもあると思います。それらの需要に答えるためエピソード内の何分からどんな話題を話しているかをチャプターとして提供しています。チャプターは時間とタイトルとなっており、配信サイトで再生しているときのみ該当する時間のチャプターがハイライトされるようになっています。再生位置が次のチャプターに移ると次のチャプターがハイライトされるようになっています。チャプターをクリックすることでそのチャプターから再生が可能になっています。

他にも細かい点で改修を加えています。例えば yattecast では配信サイトのリンクをクリックすると同ページ内で遷移するため、再生が止まってしまいます。話題に関連したサイトが関連リンクに登録されているため、ついクリックしてしまいますが、そうすると再生が止まってしまうわけです。そして再生位置を記憶していないため、戻るとまた最初からの再生になってしまいます。aozora.fm では再生位置を記憶しており、同じブラウザであれば最後に再生していた位置から再生できます。また全てのリンクを新しいタブで開くようにしているため、参考サイトを見ながら再生し続けることが可能になっています。

その他の機能はぜひ aozora.fm のサイトと他の yattecast を使用しているサイト (yatteiki.fm など) と比べてみてください。

<https://fortegp05.github.io/aozorafm/>

2.7.4 Youtube

KANE さん

2.7.5 Spotify

だれか・・・

2.7.6 ブログ

だれか・・・

2.7.7 個人サイト（WordPress + PowerPress Podcasting Plugin）

WordPress で作成されたサイトで Podcast を配信する場合にお勧めの構成です。他のプラグインと同様にインストールすれば、1記事 = 1エピソードとして配信が可能になります。

カテゴリーを用意する

通常のブログ記事と混ざらないように、ポッドキャスト配信用のカテゴリーを準備しておきます。こうすることで、<https://example.com/podcast/> という URL でポッドキャストのエピソード一覧を見ることができます。また、<https://example.com/podcast/feed.xml> のような RSS Feed からポッドキャストを配信できるようになります。

管理メニュー [PowerPress] – [Podcasting SEO] にて、どのカテゴリーをポッドキャスト用に使用するか、設定を行います。

Blubrry の無料サービスに登録しておく

Blubrry のサイトでは、

- 無料のアクセス解析
- 有料のアクセス解析（プレミアム版）
- 有料のポッドキャスト配信ホスティングサービス

が提供されています。無料のアクセス解析だけでも十分参考になりますので、ぜひ登録しておいてください。

手順としては、

1. <https://www.blubrry.com/> にアクセスし、SIGN UP から会員登録する
2. 自分のポッドキャスト番組を登録する
3. WordPress の管理画面にある Services and Statistics タブを開き、Click here to configure Blubrry Statistics and Hosting Services ボタンをクリック、自分の WordPress サイトと Blubrry アカウントの紐づけを行う

という流れになります。すでに紐づけが正しく行われている場合は、ボタン直下に「Blubrry Statistics Enabled!」と表示されます。

正しく設定されると、無料版でもアクセスレポートがメールで届くようになります（週に1回）し、Blubrry サイト上でも、アクセス解析情報が確認できます。



図 2.29 Blubrry アクセス解析画面

Podcast 音声ファイルをアップロードする

WordPress における通常の画像ファイルと同様に、[メディア] にてファイルをアップロードします。後ほど必要になりますので、次の手順にてファイルの実 URL をコピーしておいてください。

- ・ [メディア] を開き、アップロードされた該当音声ファイルをクリックする
- ・ [添付ファイルの詳細] 画面が表示される
- ・ [リンクをコピー] 欄の完全 URL をコピーしておく

記事を投稿する

WordPress でのポッドキャスト配信は、1 エピソード = 1 記事となります。記事とメディアにアップロードされた音声フォルダを紐づけてやることにより、

- ・ 記事内の文章 = ShowNote として Podcast プレイヤーで参照
- ・ 音声ファイル = Podcast プレイヤーがダウンロードするファイル

としてリスナーに届きます。

PowerPress Plugin を導入すると、通常の記事編集画面に Podcast 配信用の設定情報

欄（WordPress のカスタムフィールド）が追加されます。

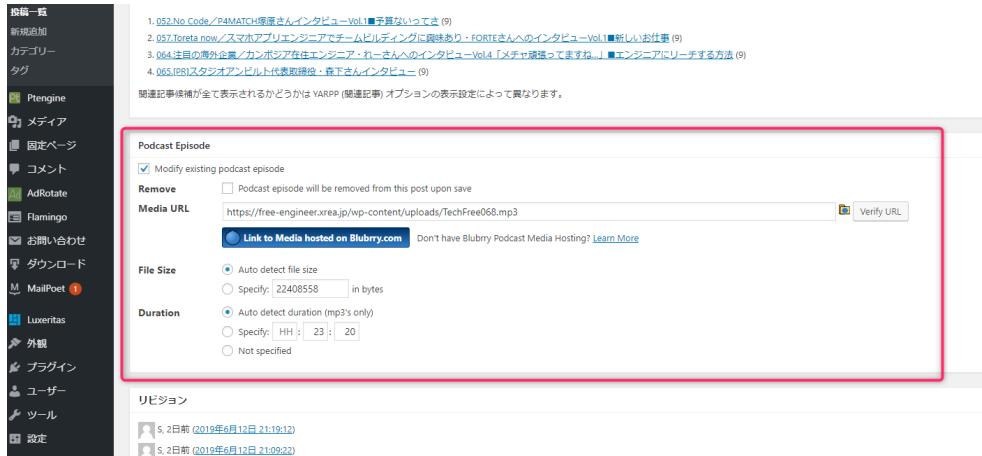


図 2.30 WordPress 投稿編集画面

Media URL 欄に、「2.7.7.3 Podcast 音声ファイルをアップロードする」でアップロードした音声ファイルの URL を指定します。その後、Verify URL をクリックすると、実ファイルのチェックが行われ、実際のファイルサイズや Duration（再生時間）の情報が更新されます。

ブラウザ上で音声プレイヤーを表示させる

Podcast プレイヤーではなく、ブラウザから見に来た人にもすぐに再生して聴いてもらえるように、音声プレイヤーを表示させることができます。忘れずに、PowerPress のショートコード [powerpress] を記事本文のどこかに入れておいてください。これだけで、ブラウザ画面上にプレイヤーが表示されるようになります。

066.機械学習で競馬予測／この4月からフリーランスになったコバヤシさんへのインタビューVol.1 ■ オンライン飲み会

① 2019/05/31 ② 2019/06/02

[Twitter](#) [Facebook](#) [G+ Google+](#) [B! Hatena](#) [Pocket](#) [LINE](#)

PowerPress
ショートコードによる
自動表示



00:00

00:00



Podcast: [Play in new window](#) | [Download](#)

Subscribe: [Apple Podcasts](#) | [Android](#) | [Google Podcasts](#) | [RSS](#)

機械学習で競馬予測して勝てるのか！？ 大井競馬で実践してきた

- 南関東4競馬場公式サイトからデータを取得。馬とレースのデータ150万件を Google の AutoML Tables に突っ込んで解析。



サイト内検索

サイト内検索

検索

人気記事

図 2.31 PowerPress Plugin によるプレイヤー表示

第3章

Podcast を続けよう

Podcast は始める以上に続けることが大変です。この世の中には更新されなくなったり多くの Podcast があります。Podcast を継続する大変さ、継続する楽しさ、継続する工夫を見ていきましょう。

3.1 継続の障壁と対策

なんといっても、Podcast の最大の障壁は継続することです。始めることは簡単でも、リスナーがいるのかいるのか実感できずフィードバックがない、ネタ切れする、ゲストが見つからない、など、さまざまな障壁があります。

3.1.1 ゲスト問題

Podcast がゲストを呼んでしゃべるタイプの場合、誰をゲストに呼ぶか、そのゲストをどう呼ぶか?という問題が発生します。最近は Podcast が流行っているとはいえ、ゲストに出たがる人は少ないでしょう。また自分の知り合いに出たいと言ってくれる人がいるかどうか、という問題もあります。Podcast そのものよりもゲストを呼ぶ準備、苦労に負けてしまって更新するのが億劫になってしまうことがあると思います。ゲスト問題について対策や事例を考えてみたいと思います。

知り合いを増やす

Podcast のゲストに出たい人が少ないのであれば、自分の知り合いを増やして可能性を高めていくのが良いでしょう。具体的には Twitter のフォロワーを増やす、勉強会などで知り合いを作る、コミュニティに参加する等があると思います。ですが、ゲストに出てくるような知り合いは一朝一夕でできるものではありません。誰だって今日初めて会ったくらいの大して知らない人から Podcast に出てください!と言われても、気後れするで

しょう。そのため、知り合いを作る際には自分のことを知ってもらう、アピールすることが大事だと思います。仮に勉強会で初めて会った人でも Twitter で見たこと、話したことのある人や、コミュニティの Slack などで知っている人であれば打ち解けやすいものです。

Podcast のアピール

では、アピールするにはどうしたらいいのでしょうか? それにはアウトプットすることが効果的だと思います。アウトプットする対象は何でも構いません。ブログ、登壇、Twitter、動画、サービスの作成、技術書の執筆、自分ができそうなことをやればよいのです。そしてそのアウトプットに自分の Podcast の宣伝をそれとなく入れておきましょう。自己紹介をする際にやっていることとして紹介したり、宣伝などをする際にゲスト募集をしたりすると効果的です。なお、アピールや宣伝が主目的にならないようにしましょう。あくまで「ついで」で宣伝させてもらいましょう。

Podcast にゲスト出演させてもらう

ですが、アピールするのに最も効果的なのは Podcast でしょう。Podcast を続けることで Podcaster という印象が付き、ゲストにも出てもらいやすくなります。しかし、ゲストがいないから続けられないのに、Podcast を続けるとゲストが来るという話では本末転倒です。可能な限り自分の Podcast を継続的に配信することが大事ですが、どうしてもゲストがいないと難しいようであれば、他の人の Podcast にゲスト出演しましょう。自分がゲスト出演する人を探しているということは他の人も同じようにゲストを探している可能性があります。普段から聞いている Podcast でゲスト募集をしていたら、勇気を出して声をかけてみましょう。そしてゲスト出演できたら、ゲスト募集の告知をさせてもらいます。そして何より、その Podcast のパーソナリティに自分の Podcast へのゲスト出演を持ちかけてみましょう。Podcaster は Podcast で話すことが好きだから続けている事が多いので、喜んで出演してくれることでしょう。Podcast で繋がった縁であれば、ゲスト出演にも興味を持ってもらいやすいと思います。

aozora.fm の場合

執筆時点で aozora.fm には 40 名のゲスト希望を頂いております。これはいきなり 40 名の方に希望を頂いたのではなく、徐々に増えていってこの数値になりました。まず Podcast を始める際にゲスト募集をかけたところ、多数のゲスト出演の希望をいただきました。これは前述した Twitter 上の知り合いが増えていた効果もあったと思いますが、2018 年の 11 月くらいは筆者の周囲で Podcast が流行っていた時期だったということもあると思います。さらにこのとき他の Podcast にも出演させていただき、Podcast を始めたことをアピールすることができたと思います。

さらに Podcast の配信を継続すること、平行して様々なアウトプットをしていたことも効果があったと思います。Podcast の配信は平均すると月に 3、4 エピソードずつ継続して配信できています。これは間があいても最大半月程度であり、継続的に配信してくれて嬉しいという感想もいただけています。Podcast の配信を継続することで定期的に感想もいただけて、ゲストの方にも拡散していただき、Podcast に大して良いループが回っていると思います。

Podcast と平行して登壇、ブログ、技術書の執筆、勉強会への参加を行っていました。それぞれのアウトプットには Podcast の宣伝を入れたり、勉強会で自己紹介をする際に実は Podcast をやっていて～ということをお伝えしてたりしていました。このとき Twitter にピン止めしていた Tweet が Podcast のゲスト募集だったのも効果があったと思います。名刺に Twitter の QR コードを印刷していたこともあり、知り合った人が Twitter を通して aozora.fm のことを知っていただいたら、ゲスト参加に興味を持っていただけたのだと思います。

最後に Podcast のテーマが参加しやすいこと、それが上手く拡散できたことも大きく影響していたと思います。aozora.fm は楽しいことを喋る Podcast です。楽しければ何でも良いので、aozora.fm で今までに配信してきたテーマの一部は次の通りです。

- 仕事 (IT エンジニア)
- ビデオゲーム (レトロからモダンまで)
- JavaScript (Riot.js)
- 読書
- 歴史 (三国志、日本の戦国時代)
- アニメ
- 音楽ライブ
- アウトプット (登壇、ブログなど)
- 働き方
- 釣り
- 合唱
- 野球
- ラノベ
- ボドゲ

これでも一部なのですが、これだけ多岐にわたる話題について話しています。そしてゲストの方からの感想として、パーソナリティである筆者が多趣味でありどのテーマでも興味があるので話やすいと言ってもらえます。こういった参加しやすいテーマ、話しやすい環境というのが拡散できたことが多くの方にゲスト出演希望をいただけたのかなと思います。

3.1.2 ネタ切れ～テーマの枯渇・テーマの探し方～

こんにちは、にんげんがへたエフエムをやっているよく喋る方、Webディレクターのakazunomaです。

Podcastをやりたいと思っているけど、ネタが思いつかない…

Podcastをやっているけど、そろそろネタが尽きてきたし、もう考える気力がわかれない…

こんなお悩み、ありませんか？

「何を伝えたいか」「何を話すべきか」何をするにしても難しいテーマですよね。この「テーマが分からぬ沼」にハマると大変です。パーソナリティが悩みながら試行錯誤し、あれやこれをし、配信スパンが落ち、更新しなくなる…そして残ったのは更新が1年前のドメイン。そんな展開が見えます。

この章ではそんな悲しい展開を救うべく、主に「テーマの探し方」「テーマの枯渇」この観点を元に、にんげんがへたエフエムではどのようにやっているのかという点についてお話ししたいと思います。

幸いながらにんげんがへたエフエム（以下にんげんがへた）ではネタが枯渇することなく1年以上にわたって隔月スパンで安定的な配信ができます。メインパーソナリティとしてakazunomaとyyynの2人で回していますが、主にアジェンダ（配信内容、話すネタ）を考えているのはakazunomaです。

参考までに第12回の実際のアジェンダを載せたいと思います。

基本的な構成は

- タイトルコール
- 話すネタ2～3本
- 締めの言葉

という三軸です。

話すネタの本数は、イベントなどの事情により増えますが、基本は3つ、という方針にしています。たまにタイトルの前にちょっとした雑談が入るのも特徴ですね。

タイトルコールとキャッチコピーについて

まず最初のタイトルコールについてご説明しましょう。

まず始まり方については人それぞれだと思いますが、普通に挨拶をします。

>はいっ始まりましたにんげんがへたエフエム！

この点については各々のエフエムさんらしく言いやすさ重視かなと思いますが、注目していただきたいのはその次、にんげんがへた特有の「(キャッチコピー)」ですね。

当初、キャッチコピーという要素は存在しておらず、他のエフエムさんも聞いた結果「こんにちは、Web ディレクターの akazunoma です」という感じでサッパリ挨拶をする予定でした（その方がスマートでかっこいいのでは？ という印象）ただ、akazunoma はアイドルや Vtuber が好きなので「みんなのハートをいただき～ま○ゆ♡」とか「はいどーもお！ キズ○アイです！」みたいな定番挨拶をやってみたいなという考えがありました（これは yyykn にも言ったことがなく、本誌での発言が初です）

全 12 回の akazunoma と yyykn の開始キャッチコピーは以下のよう感じます。

タイトルキャッチコピー内容

リスト 3.1: にんげんがへた fm のタイトルとキャッチコピー

01. 人間が下手ゾーン
キャッチコピー無し
02. 人間がていねい
フルーツを朝食に吃るのはやめよう、yyykn と
糖質制限ダイエッターの akazunoma でお送りしたいと思います
03. 人間アップデート
にんげんの形を保つことが困難！ akazunoma と
輪郭線がふにゃふにゃの、yyykn です
04. 人間が生きる
ガチり倒すが今期のテーマ、akazunoma と
肉体人類はパブリックエネミー、yyykn でお送りしたいと思います
05. 人間が夏
自律神経がガバガバガバオライス、akazunoma と
自炊をすればするほど肥えるタイプ、yyykn でお送りします
06. 人間エトセトラ
カップラーメンの海老を 2 倍にしたものが食べたい、akazunoma と
おなかいっぱいになってきた、yyykn でお送りします
07. 人間がエモ
あなたの Web サイトの SEO が気になる！ akazunoma と
ハーゲンダッツのリッチミルクがめちゃくちゃ美味しい、yyykn でお送りします
08. 人間がぐだぐだ
東京都目黒区に引っ越しました、akazunoma と
強度の強い人間ってなんだろう、yyykn でお送りしたいと思います
09. 人間ニューイヤー
ありがとう 2018 年、akazunoma と
可処分時間は有限です、yyykn でお送りしております
10. 人間成分
毎日楽しく社会、akazunoma と
デスクの上のモンエナの空き缶の数が人権と反比例しています、yyykn でお送りしたいと思います
11. 人間社会
何年経っても出社が困難、社会人 5 年目！ Web ディレクターの akazunoma と
出社は才能、yyykn でお送りしたいと思います
12. 人間元年
ここ 1 年で人間がやわらかくなった気がする！ akazunoma と
髪をバサリ切りました、yyykn でお送りしたいと思います

全体的に統一性が無くカオスですね。基本的には近況や座右の銘になっています。どこにいったんだ「みんなのハートをいただき○ゆゆ♡」

キャッチコピーを入れてみたらみたで毎度考えるのもめんどくさいし、定番化するのも難しいし、毎回話すテーマに合わせて変えているので実は結構な手間です。しかし、何かしらの「近況」や自分の「座右の銘」を入れることで、その後にもうひとりのパーソナリティである yyynoma がそこで話題を深掘りしてくれるというメリットに気がつきました。逆に akazunoma が「それどういうこと?」と聞くこともあります。カオスとは逆に「突っ込みがい」があるということです。突っ込みがいのあるカオスさは、ときに珠玉のテーマとなってくれます。カオス感の演出にキャッチコピーを入れてみると話があたたまついいかもしれません。

メインネタについて

にんげんがへたではメインに話すネタは 2~3 本程度に絞っています。年末や 1 周年などイベントにより増えたり減ったりする傾向にありますが、おおよそ 2~3 本で 30 分程度がリスナーにとって聞きやすいレベルかな、と考えているからです。話す順番は

1. 普通に聞いてほしいこと (10 分)
2. ガチで伝えたい重要ネタ (15 分)
3. 適当な話題 (5 分)

です。2 番目に重要なネタを持ってきているのは、聞きたいことだけ聞いたら即離脱というユーザー行動を避けるため、バランスの良い真ん中に置いてみています。(恐らく作業中に聞いてくれているリスナーさんが多いため、今のところこの配置による早期離脱は起こっていません) この辺はエフエムさんのカラーによりトライアンドエラーを繰り返してみるのがおすすめです。

特にこのメインネタの選定が皆さんにとって話すのに困る部分かと思いますが、にんげんがへたでは下記のような基準で選定することがあります。

- 季節ネタ

定番です。春はあけぼの、やうやう白くなりゆく生え際…そんな風に季節について触れるのも雅ですが、「GW に呼んだ技術書」や「夏祭りに感じたエモ」「春の新卒入社」そんな春夏秋冬のイベントについて話してみるのもおすすめです。にんげんがへたでは 2018 年の年末に年越し Podcast をやったところ、PV が前回よりも増え、結果的にエフエムとしての知名度も上がりました。最近だと改元があり、平成から令和へ変わる瞬間に何を

やっていたか、改元がもたらしたものは何か、そういったネタも話しやすかったですね。「季節ネタ」というのはとにかく簡単で身近なネタなので、一見つまらなさそうに思えますが、逆に言えば誰でも身近であるため、共感を得られやすく喋りやすいテーマです。もし、季節ネタに悩むな～ということであれば、季節イベントに合わせてネタを立てられるよう、配信スパンの見直しを入れてみるといいかもしれません。

- **ランキングネタ**

にんげんがへたでは「2018年初夏欲しいものランキング」というネタをやったことがあります。akazunoma が欲しいものを 3 つ発表していくだけです。いわゆる商品紹介のようなテーマですが「自分はこれがほしいんだ」というモチベーションに基づいているため、誰でも話せるネタだと思います。単純に「○○が欲しいです」だけだと盛り上がりや優先順位といった部分に欠けるので、ランキング形式でしています。派生形として

- - こんなアニメキャラが好き！ 私の性癖ランキング
 - 20XX 年このスキルを手に入れたい！ 技術フレームワークランキング
 - この神奈川ラーメンが美味しい 20XX !

などが考えられるかなと思います。ちょっと無茶ぶりですがご当地ネタだと盛り上がりそうですね。もしにんげんがへたで次にネタが困ったら「2019年初夏欲しいものランキング」を配信する予定です。ずるいですが、一周すればいつでも使えるネタだなと感じています。

ちなみに「2018年初夏欲しいものランキング」の配信の後、ランキング内で発表していました

- - BRUNO ホットプレート
 - Blue Microphones Yeti USB マイク

が家に届きました。今でもホットプレートでたこ焼きを作り、いただいたマイクで収録をしています。ありがとうございます。みんな、欲しいものは積極的に言っていけ。

- **選手権ネタ**

にんげんがへたでは「UberEats ヘビーユーザー選手権大会」というネタをやりました。単純に「お互いがどれだけ UberEats を使っているか」というのを競うだけのネタですが「選手権」というテーマは最後まで聞かないと結果（勝敗）が分からぬいため、テンポが良ければ離脱率が低いというデータがあります。もっと簡単な競い合いでもいいかと思います

- - ローソンでもらったレシート枚数選手権

- github コミット数選手権
- 睡眠時間選手権

この際突っ込みがいがあって「くだらねーwww」と草が生えるほうが、話が広がるよう思います。これもランキングと同じく使いまわしやすいネタです。

様々な Podcast で応用できそうなテーマ決めはこのあたりかな? と思います。にんげんがへたにはもともと強固な「人間な下手な人がなんとかやっていくためのポッドキャスト」というコンセプトがあるので、そのコンセプトに助けられて話題が出てくることが多いです。話すネタに困るな、という場合はそもそもエフエムのコンセプトについて見直しを入れてみるのもいいかもしれません。

■コラム: おたよりをつかってみよう!

外部からネタを集めるのはとても良い方法です。にんげんがへたではおたよりボタンを設置し、Google フォームに繋げていますが、定期的に良いネタを投稿してくれるリスナーさんに恵まれとても助けられています。もっと簡単にするなら質問箱や Twitter のハッシュタグなどもいいですね。これはリスナーさんとパーソナリティの間に関係性が生まれてくるので「リスナーさんの身近な存在でありたい」と考えているパーソナリティの方にはとてもおすすめの手法です。エフエムメンバー以外の人からの意見というのは新鮮な視点を与えてくれるので、最近同じネタばかりになっちゃったな…というマンネリさを打破したいときにも使ってみてください。

雑さ、という大事なこと

話すテーマに困っているときに「完璧なアジェンダ(台本)を仕上げなくちゃ」と考えていませんか。

にんげんがへたでは

- アウトラインだけ決める(このあたりを話そう、という大枠)
- アウトプットは雑でいい(完成度は 60%、後はその場の雰囲気で決める)

というマインドセットの元でアジェンダを作成し収録を行っています

■コラム: アジェンダに悩んでいたときの yyykn への空中リプライ 気持ち 60%、速の高いアウトプット「とりあえずやってみた!」という達成感を

大事にしていきたいですね。達成感を手に入れるのは継続への最もな近道です。

以上、「二人で Podcast をやっている」という前提で話を進めていましたが、基本的に Podcast は二人以上でやったほうが、会話形式でやりやすいのかなと考えています。前述したキャッチコピーからの深掘りなど、そういうところは二人で Podcast をやっているメリットになりますね。また、基本的に akazunoma と yykn は生活圏が被っていないので、普段の様子や最近の動向がうっすらとしか分かっていません。ですが、たまに家に飲みに行ったり一緒に年越ししたりもします。そういう「微妙に距離的に遠いけど関係性は近い他人」と一緒に Podcast をやるのが逆にいいかもしれません。

最後に、にんげんがへたエフエム的アジェンダテンプレートを置いておきます。全てのアウトプットを頑張る皆さんへ、是非使ってみて下さい。

リスト 3.2: にんげんがへたエフエム的アジェンダテンプレート

-タイトルコール

はいっ始まりました第 n 回 Podcast タイトル

今回のパーソナリティは

(キャッチコピー) 氏名と

(キャッチコピー) 氏名でお送りしたいと思います。

- ・普通に聞いてほしいこと (10 分)
- ・ガチで伝えたい重要ネタ (15 分)
- ・適当な話題 (5 分)

-締めの言葉

今回のパーソナリティは

(キャッチコピー) 氏名と

(キャッチコピー) 氏名でお送りしました。

-さよならの挨拶

みなさんどうでしたでしょうか。ご参考になりましたでしょうか。

もしテーマに困った！ここが辛い！にんげんがへた！などあればお気軽に
<http://ningengaheta.me/> のおたよりボタンからお知らせくださいませ。

akazunoma と yykn があなたの一步を待っています。

それではみなさん、人間いってらっしゃい。

3.1.3 ニュースを探す難しさ

書けそうだけど、推測で書くのでいいのかなあ

3.1.4 忙しさ

仕事や他にやりたいことがあると Podcast の更新が滞りがちになります。Podcast を配信したいのに、他にやらなければならないことがあるのであれば仕方ありません。先にそちらを片付けてしまいましょう。無理してどちらも頑張って疲れてしまってはもったいないです。無理に定期的な配信を目指すよりも、時間があいても継続することを目指しましょう。

辞めてしまうと何も得られませんが、継続することで様々な可能性を残すことができます。例えば Podcast は人との繋がりが増えることが多いです。リスナーさんからの感想や、ゲストとの交流、他の Podcast との交流が期待できます。また何かの話題について Podcast で話したい!と思えたり、この人をゲストに呼びたい!と思えます。筆者としてはこの本がその可能性のひとつですし、イベントで Podcast を録音しよう!というコーナーに参加することができました。そこではゲストとして参加した方が自分で Podcast を始めたいと思い、そのまま Podcaster としてデビューした例があります。こちらも続けていればこそその経験だと思います。

Podcast を辞めてしまえばそんなことも思わないで、続けることでそういう可能性を残す事ができます。無理に続ける必要はありませんが、続けられることで得されることもあるということは知っておくと良いと思います。

3.1.5 編集が面倒、大変

編集の面倒さや大変さはよく言われることですが、実は編集しなくとも良いのです。中には未編集でそのまま配信している Podcast もあります。その番組は聞いていてノイズがひどいとか聞きづらいということはないので、ある一定以上の録音環境があれば編集しなくても大丈夫です。編集が面倒ということであれば録音環境を見直して、編集を楽することができます。

また、本書の編集の章にも書きましたが Audacity であれば楽に編集できる方法があります。この編集でそのまま配信できるレベルの音質になりますのでぜひお試しください。

編集が大変なのは何かこだわりのポイントがある場合です。最初から聞き直して雑音や無駄な間を消したり、盛り上がりなかった会話を消したりすると時間がかかります。筆者はそういう編集をしてますし、配信する際にチャプターを設定していたりするので編集には時間をかけています。

ですが、自分のこだわりでやっている自覚があるのでそれほど大変には思っておりません。手前味噌ですが、自分の Podcast を聴き直すと楽しいと感じることが多いので聞き直していく苦がないのだと思います。楽しさをテーマにした Podcast にした良かったと思います。

こだわりがなければ編集もそんなに面倒だったり大変になることはありません。配信してみて気になれば直すという形でも大丈夫ですので、気軽に配信してみましょう。

3.1.6 リスナーの盛り上がりが弱い

せっかく Podcast を配信していても、リスナーの盛り上がりが弱いと次第に萎えてしまいます。

もちろん、たくさん聴かれる Podcast が必ずしも良い Podcast というわけではありません。しかし、一定数のリスナー数がいると「聴いてくれる人のために続けよう」というモチベーションが湧いてきます。

また、リスナーが少なくとも Twitter などで感想やフィードバックを呟いてくれる人がいると、とても嬉しいものです。

ここでは、リスナーの盛り上がりを作るための取り組み例を紹介します。

公式 Twitter アカウントを作る

番組の更新情報を公式に伝えることで、新しいエピソードが公開されたことを周知することができます。

更新情報を伝える方法はいくつかあります。最低限であれば、Podcast の RSS や Web ページの更新によって伝えるのが一般的です。

加えて、公式 Twitter アカウントを作ることをお勧めします。RSS が更新されただけでは、それをシェアするのは少し面倒です。しかし、好きな Podcast の公式 Twitter アカウントが更新情報を呟いていれば、簡単にリツイートでシェアすることができます。

個人アカウントと使い分けて Podcast 公式アカウントでも日常的に面白いことを呟こうとすると、運用コストが上がって面倒くさくなります。Podcast 公式アカウントはあくまでも更新情報を呟くにとどめて、込み入った宣伝は個人アカウントでやるのが楽でお勧めです。

ハッシュタグを作る

Twitter ハッシュタグを作ることで、Twitter 上での盛り上がりを生みやすくなります。ハッシュタグを作る目的は、主に次の 2 点です

- リスナーが Tweet しやすい空気感を作る

- パーソナリティやリスナーが、感想 Tweet を後から追いやすくする

ハッシュタグがあると、呴く側は「この内容について呴いていいんだ」という気持ちや「他のリスナーが見てくれるかも」という期待を抱きやすくなります。また、後から感想 Tweet をまとめて見るので、盛り上がりが可視化されます。

パーソナリティ自らその盛り上がりを作るために、積極的にハッシュタグで呴き、また他のハッシュタグ Tweet にいいねやリプライで反応しましょう。Rebuild.fm の miyagawa さんからいいねが来ると嬉しいように、パーソナリティから直接いいねが来ると「次も Tweet しよう」という気持ちになります。

フィードバックを呼びかける

ハッシュタグをつけた感想 Tweet も、勝手には増えません。多くの YouTuber が毎回の動画で「高評価、チャンネル登録お願いします」と言い続けているように、Podcast のフィードバックも呼びかけ続けることが重要です。Podcast の最初や最後に、「感想はハッシュタグ#○○で呴いてください」と告知しましょう。

Podcast タイトルを考える

その重要性にもかかわらず意外と軽視されているのが、エピソードタイトルです。どんなに面白い内容を収録できたとしても、それが面白いことは聴いてみないとわかりません。聴取数を増やすためには、なるべく内容が気になってついつい聴いてしまうようなタイトルを付けることが重要です。

その観点でタイトルを付ける場合、次のようなことを気にすると良いでしょう。たとえば Podcast 『しがないラジオ』のタイトルを見ると、次のような特徴があります。

- なるべく具体的に
 - 例) 「sp.62b【ゲスト: onigiri_】楽しい Web 系に転職してすぐに転職活動を再開した理由とマッチング精度を上げるためにやっていること」
- 内容すべてを網羅せず、タイトル映えする部分をピックアップ
 - 例) 「sp.55【ゲスト: u1ymd】楽しいメディアドゥ技術本部長が語る、ブラック SIer でティッシュを食べないための会社選び」
- ゲストの名前や素性を表現する
 - 例) 「sp.40【ゲスト: papanda&araratakeshi】楽しい『カイゼン・ジャーニー』著者が語る、「会社を変えよう」と思ったときに自分一人からできること」
- 嘘を言わない

『しがないラジオ』の場合は煽り気味のタイトルが多いので好みが分かれると思います。しかし、聴かれないことにはどんなに良い Podcast 音源を配信していてもその価値は伝

わりません。どんなタイトルだと聴かれやすくなるのか、検証を重ねてみましょう。

3.1.7 誰も聴いてくれてないのでは？

Podcast の配信に少し慣れた頃、「本当に誰か聞いてくれているんだろうか？」という不安に駆られる時期がやってきます。

貴重な時間を割きながら、労力をかけつつ番組を配信しているにもかかわらず、誰からの反応もない…。これが続くと、徐々に「配信したい」という思いが薄れ、ある日ぱっとりと配信が止まってしまうことになります。

こんな寂しい事態を避けるためには、多少の知識と工夫が必要になるかもしれません。

前もって理解しておく

Podcast を聴いているリスナーからすれば、Podcast というメディアは非常にリアクションが取りづらいものです。車を運転しながら、家事をしながら、といった「ながら聴き」ができる、というメリットがある一方、番組に対してコメントするには、作業をいったん中断し、スマホや PC に向かい、文字入力をしなくてはなりません。これはかなりハードルの高いアクションになります。そのため、特に初期段階のリスナーが数百人に満たない段階では、いくら配信しても誰もリアクションしてくれないと想定した状況になり、徒労感が募ります。

ポッドキャストとはそういうメディアなのである、ということを配信者はあらかじめ理解しておいて下さい。「過度に期待しても仕方がないのだ」というその知識があれば、がっかりしてやる気を喪失する、といった事態を防げるでしょう。

確かに、世の中には公開収録を開催すればたくさんの人が集まり、Twitter で「配信しました！」と Tweet すればたくさんのコメントがもらっている Podcast 番組もあります。ですが、トップアスリートと同じく、そういった人気番組の配信者が長い時間かけ、努力を重ねた結果を目にしているに過ぎません。キラキラ輝いている瞬間だけを切り取つて羨むのではなく、肩の力を抜きながら、ともかく地道に継続することに務めましょう。

見える化する

リスナーからコメントや Tweet による直接的な反応がないとしても、「誰か聞いてくれている人が確実に居る」ということを実感できる方法があります。それは、音声ファイルへのアクセス数を確認するというもの。配信方法によって確認手段はさまざまですが、たとえば次のような方法があります。

- Apple Podcast に登録していれば、Podcast Connect の画面にてエピソードごとにアクセス情報を確認することができます。

- レンタルサーバーにて配信している場合は、レンタルサーバー側で用意されているアクセス解析ツール（AWStatなど）でダウンロード数が確認できます。
- WordPress + PowerPress Podcasting Plugin であれば、Blubrry の無料サービス画面でアクセス情報を確認することができます。

また、思いついた時にこれらの情報を見に行くのではなく、定期的にこれらの数値をエクセルで記録する、というのをお勧めします。

少なくとも「累計ダウンロード数」は絶対に右肩上がりになります。これをグラフ化して眺めるだけでも、継続する気力が湧いてきますので、是非ご自身のルーチンとして取り入れてみてください。

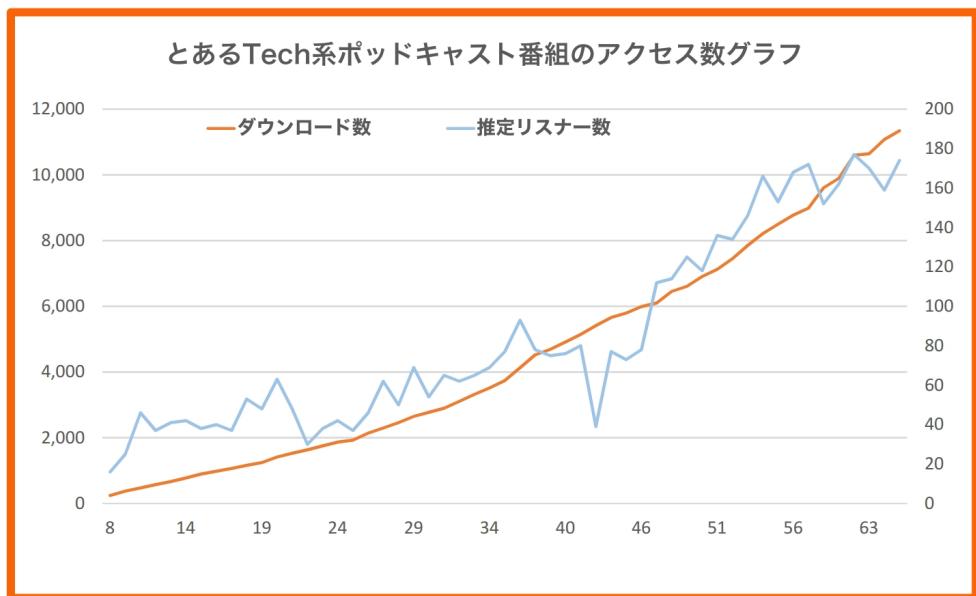


図 3.1 とあるポッドキャスト番組のアクセス数（実データ）

■コラム：番組オリジナルグッズを作る

Podcast のパーソナリティもリスナーも欲しくなってしまうのが番組オリジナルグッズです。

番組の個性が出ていて大変気に入ったので、今後も番組を応援したいという気持ちを込めて「にんげんがへたエフエム」の T シャツを購入しました。

「SUZURI」などの Web サービスを使うと簡単に T シャツやトートバッグ、マグカップなどのグッズを作成・販売できるようです。

<https://suzuri.jp/>

3.2 Podcast の楽しさ

3.2.1 宣伝

宣伝ってなんだろう・・・？書いたのは自分だとおもうが

3.2.2 イベント

しがないラジオ meetup

春のポッドキャストまつり

あるとき「Podcast ユーザーを増やすために、何かできることはないか…？」と考えていました。

当時、季節は2月で受験シーズン真っ盛り。通勤電車には、某チョコレートのラッピング広告が展開されていて、受験生への応援メッセージが綴られています。また、もうしばらくすると、春に新しく社会人になる人が増える時期でもありました。

そこで、「新社会人の方々への応援メッセージを、さまざまな Podcast 番組が一斉に伝えたなら面白いかも？」と思いつきました。さらに「情報収集や学習のツールとして、実はポッドキャストがオススメです！」ということが伝われば、ポッドキャストの利用者が多少は増えるかも…。

さっそく「春のポッドキャストまつり」と名づけ、イベントの説明ページを制作し始めました。並行して、交流のあった配信者の方々にもお声がけし、イベントに参加して頂けるポッドキャスターさんを少しづつ増やしていきます。

- 春のポッドキャストまつり 2019 のご案内
(<https://sfreeengineer.wixsite.com/podcastfes2019spring>)

申し込みフォームをわざわざ Vue.js + Firebase で作ったり、積極的に協力頂いた aozora.fm の FORTE さんと手分けして、交流のない配信者の方々にも Twitter の DM 等でお声がけしたりと、準備はかなり大変ではありました。

が、その甲斐あって、70 を超える番組に参加いただくことに（驚）。

- 春のポッドキャストまつり 2019 参加番組一覧

(<https://podcast-festival.firebaseio.com/>)



図3.2 配信者向け参加申し込みサイトと春のポッドキャストまつり参加番組一覧サイト

ところが、こうなってくると、イベントを立ち上げた身としてはプレッシャーがかかってきます。当初は「参加番組が10ぐらい集まってくれれば御の字。多少盛り上がりがあれば嬉しいなあ…。」ぐらいに考えていたんですが、これだけの番組が集まったとなれば、それなりにプロモーションを行わなくては…と、欲が出てきます。色々と調べ、PR TIMESさんでプレスリリースを出すことにしました。

結果としては、プロモーション費用として3万円かけた割にはバズることもなく、マイナチだったかなあという気がしています。(一応、エキサイトニュースやニコニコニュースなどの17媒体に掲載された、とのレポートはありましたがあくまで機械的に掲載されるメディアだと思われます。)

とはいっても、このイベントでの一番の収穫は、農業やバイクなど、今まで知らなかつたさまざまなジャンルの配信者さんと知り合えたという点でしょうか。イベントの企画や運営は、やはり主催者側はそれなりに大変だなあ、というのが実感ですが、みんなが乗っかかる「祭りの場」を創ることができた、という点では良かったのかな?と思っています。参加して頂いた配信者の皆さんのが、楽しんでくれていればよいのですが…。

公開収録

aozora.fmでは定期的にオンラインでの公開収録を「すばきやす」で行っています。これはDiscordのボイスチャットを収録することで手元のPCで録音しつつ、参加者が音声を聞ける環境を構築しています。また参加者は音声だけでなく、チャットで参加できるので参加のハードルを下げつつ収録に参加することができます。この音声やチャットでリスナーが参加することで、これまで聴くだけだった一方通行のPodcastから、自分のリアクションがリアルタイムにダイレクトに伝わるメディアになります。公開録音の参加者から

はこの動的なやり取りが非常に楽しいと感想を頂いています。

また、収録するツールを Zoom など画面配信が可能なものにすることで動画の配信も可能になります。動画配信とセットにすることでより空気感や表情が伝わりやすくなります。あくまで Podcast として配信するための公開収録なので、リアルタイムでは不明瞭だった部分も後日 Podcast で聴き直すことができます。関連リンクなどでさらに補足することができます。こちらも動画配信サイトにチャットやいいねボタンなどの視聴者がリアクションが取れる仕組みがあればリアルタイムでやり取りをすることができます。Podcast の公開収録はこれまで配信と感想というメールのようにタイムラグがあるやり取りから、チャットのようにリアルタイムにやり取りができるメディアにすることができます。改めて感想やお便りを送るよりもリアルタイムにチャットするほうが反応しやすいと思いますので、ぜひ公開収録をやってみましょう。

公開収録の収録環境は本書の「Mac でパーソナリティ側でのみオンライン収録環境を作る」などを参考にしてください。普段から Discord で収録をしている Podcaster の方は環境が変わらずに収録できると思います。もし普段 Discord を使用していない場合はぜひ「すばきやす」の利用をご検討ください。「すばきやす」での公開収録は誰でも可能ですし、どんなイメージか知りたい場合は aozora.fm の公開収録にぜひ遊びに来てください。

公開聴取回

aozora.fm では公開聴取回というイベントを何度か行っています。この公開聴取回はすでに配信されている Podcast を一箇所に集まって決まった時間に一斉に聴くイベントです。一箇所に集まって一斉に聴くことで、その場で感想のやり取りができます。普段 Podcast をながら聞きしていたり、車や家事のお供で聞いていると感想を発信しにくいことだと思います。公開聴取回のようなイベントに参加することで感想をアウトプットできたり、他人の感想を聴くことで新たな気づきがあったりして、Podcast の新たな楽しさが実感できると思います。また Podcaster やゲストの方が参加することで収録時の裏話や補足、訂正などができるのも良い点だと思います。

もともとはオンラインゲームの宣伝ラジオをそのオンラインゲームの中で、仲間とともに聴取する文化を参考はじめました。そのオンラインゲームでも土曜日の 21 時にとうる街の特定の場所に集まって、ワイワイ感想を言い合いながら一緒に聞きます。その雰囲気が非常に良いと思ったので何度か実施してみました。

また aozora.fm の公開聴取回はインフラ勉強会というオンライン勉強会でも実施したことがあります。この時みんなで聞いたエピソードは働き方に関するエピソードだったので、非常によい気付きや感想のやり取り、自分の経験などを共有してもらうことができました。特に Podcast にこういった聞き方ができること、感想の共有の良い点、アウトプットのしやすさを伝えられたのは非常に有意義な場にできたと思います。普段は聴くだけのリスナーさんもアウトプットしやすくなる公開聴取回はお勧めのイベントだと思います。

公開聴取回のやり方ですが、オンラインでチャット可能な場所があればどこでも可能です。その場所で Podcast を参加者で同時に再生してチャットで感想のやり取りを行います。オンラインでチャット可能な場所は Discord がやりやすいと思うので、「すばきやす」をお勧めします。Podcast を同時に再生するのは参加者がそれぞれ再生する方式でも可能です。ですが、誰か一人が再生した音声を Discord 上に流してみんなで聴く方がお勧めです。これなら確実に同期して聴くことができますし、途中から参加した人も再生場所を合わせる手間がありません。自分の PC で再生している音声を Discord 上に再生する方法を説明します。まず Windows の場合ですがタスクバーのスピーカーアイコンを右クリックして「サウンド」をクリックします。



図 3.3 スピーカーアイコン

次に「録音タブ」のステレオミキサーを有効にすると自分の PC で流れている音がマイク入力されるようになります。

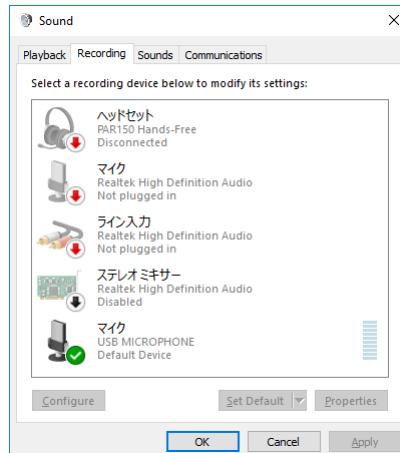


図 3.4 ステレオミキサー

次に Mac の場合ですが、本書の「Mac でパーソナリティ側でのみオンライン収録環境を作る」を参考に設定してください。この設定のあと Discord の音声設定で入力デバイスを Soundflower(64ch) に、出力デバイスを Soundflower(2ch) にするとスピーカーで再生している音声が再生されます。

公開聴取回は普段が異なる聴取体験をリスナーに提供でき、新しい Podcast の楽しさを実感できると思うのでお勧めのイベントです。

飲み会収録

収録の一つのメソッドとして、飲み会を収録する、という方法があります。過去、打ち上げの二次会やラボでの年越しイベントなどを収録して、編集してもらって公開したことあります。メリットとしては、気張らずに収録して公開実績を増やすことができるここと、ただの飲み会であっても案外楽しいし聞いていて面白いトピックが出てくることなどが挙げられます。これまで散々ネタだしが難しいといったトピックがありましたが、飲み会なら話すネタいくつもありますよね。ただし、広く一般向け、というより、ある程度内輪（少なくとも出演者の知り合い向け）といった雰囲気は否めません。ですが、たまにはこういう空気も良いと思いますよ？

<https://fortegp05.github.io/aozorafm/episode/sp2>

https://fortegp05.github.io/aozorafm/episode/sp1_1

デメリットは、時間が読めないこと、トピックが読めないこと、Shownote が作りづらいこと、編集が大変なこと、グダグダ感が出てしまうなどが挙げられます。また大前提として、「収録、公開すること」を参加者全員に許可を取ってから収録を始めましょう。

収録の流れとして、今回の飲み会の背景の説明、参加者の自己紹介、本編、今日の感想・告知など、Closing。などとすると、簡単ですが案外 Podcast の形になります。

前出の aozora.fm の特別編では、sp1 がラボでの年越しイベントを 6 時間ほどに渡って収録したもの、SP2 は技術書典後の本の打ち上げの二次会を収録したものです。年越しイベントでは、前半にエンジニアの生き方といったかなりエモい話がたくさん話され、これがそのまま虚空に消えていくのはもったいない、と感じた事が収録するきっかけになりました。バックグラウンドも経験も異なる人が集まり、話をすることで、Podcast のネタとしては十分です。

収録は、中央にマイクを置いて、車座になり、フリーで喋ります。ときどき必要に応じて交通整理ができるとなお良いですね。「XX さんどう？」とか、「前に一家言ある・似たような話あるっていってなかったっけ？」と話振ってみてもいいかも知れませんね（無理強いはいけません）。

また、失言や放送をしたくない内容があった場合は、編集点を作つておくと便利です。ここは編集します、と言っておいて、一瞬間を開けます。

例：この件、実は XX なんですよ～オフレコでお願いしますね。　はい、編集点入れます。（1.2.3。）　そういうえば～　など。

飲み会ならではの自由さが良いほうに転ぶ場合があります。あるいは収録しているため毒が吐けなくなるなどの制約は多少出てきますが、それは別の飲み会でやりましょう。

大人数で飲みながらやるため、編集は大変かも知れません。ノイズや物音、発言のお見

合いなどはあるかもしれません。ですがあまりこだわりすぎることなく、音量調整と簡単なノイズ除去くらいでも十分かも知れません。

参加者にとっては、Podcast に関するハードルを大きく下げる効果があると思います。ゲストとしてたくさん喋らなきゃいけない、あるいはパーソナリティとしてたくさん喋らなきゃいけない、場やストーリーをコントロールしなければいけない、など、自分でやるときならではのプレッシャーはあるかと思います。飲み会収録であればそのあたりはかなりハードルを下げられるのではないかと思う。

何なら聞いているだけでも楽しいし、少し喋れる所があれば少ししゃべってみる。それだけでも十分な Podcast デビューです。

また、自分が参加したその飲み会収録を聞いていて、「お、いまの振りかた、パーソナリティっぽい」と思ったことが何回かあります。ちょっとしたことですが、数回 Podcast をやっての自分の成長を少し感じられた瞬間でした。

飲み会は通常二人以上、場合によっては5人 10人の大人数で開催になるでしょう。飲み会収録の結果、自分以外の全員がゲストになりますから、改めて（本来・通常の）ゲストとして再度出演してもらうといったことにも繋げられるかも知れません。

繰り返しになりますが、「収録、公開すること」を参加者全員に許可を取ってから収録を始めましょう。楽しい収録ライフを！

付録 A

Podcast リスナーさんへのアンケート

ここは付録として、普段 Podcast を聞いている人にアンケートを取ってみました。なぜ Podcast を聞いているのか?何が楽しいか?いつ聞いているのか?そんな Podcast に対する疑問や楽しく Podcast を聞いている事例を参考にしてもらえると幸いです。

質問内容は次のとおりです。

募集テンプレート

= Podcast リスナーさんへのアンケート@だれそれ

== 簡単な自己紹介

== どうして聴いているのか?

== 主に何で聴いているのか?
聴取環境のこと。端末やアプリ、ソフトなど。

== いつ、どんなときに聞いているのか?

== Podcast の好きなところ

== 好きなジャンル

== こんな Podcast が聞きたい

A.1 Podcast リスナーさんへのアンケート@FORTE

A.1.1 簡単な自己紹介

FORTE（フォルテ）と申します。Podcast リスナーから、Podcaster になりました。今回は Podcast を聞く人を増やしたくてこの本の執筆に参加しています。

A.1.2 どうして聴いているのか？

楽しいから。最初に聞いた Podcast である「しがないラジオ」の楽しさに魅せられ、そこから自分が興味ある Podcast を聞くようになりました。楽しい以外にも勉強のため、人の話を聞きたいというのもあります。

A.1.3 主に何で聴いているのか？

PC で聞いています。特に再生用のソフトは使用せず、その Podcast の配信サイトで聞いています。

A.1.4 いつ、どんなときに聴いているのか？

仕事中、自宅での作業中などに聞いています。通勤時間や移動中はほとんど聞いていません。

A.1.5 Podcast の好きなところ

文章より熱量が伝わることと、動画より集中しなくてもよいことのバランスがよい点が好きです。文章や写真でも自己表現は可能ですが、熱量や雰囲気などは音声の方が伝わりやすいと思います。伝わりやすさでいえば動画の方がより伝わりますが、動画の場合は耳の他に目もずっと占有してしまうので、ながらで聴ける Podcast の方が好きなのです。

また Podcast で話していると話題がどんどん広がっていく点も好きです。最初は仕事の話をしていたのに趣味の話で盛り上がったり、かと思えばまた仕事の話に戻ってきたら話題が広がっていくことがよくあります。一人で収録していても話が広がっていく Podcast もあるので、声に出すとそれが呼び水になって喋りたいことが増えていくのだと思います。そんなところも Podcast の好きな点のひとつです。

A.1.6 好きなジャンル

Tech 系ではプロセスや開発手法系、または働き方などを話題にしている Podcast が好きです。言語や技術などの Podcast も好きですが、開発手法や組織論といった話の方が好きです。

趣味の話としてはゲーム、アニメ、漫画、小説などの Podcast が好きです。ゲームは最近の話もわかりますが、アニメや漫画は 90 年代から 00 年代の方がよくわかります。あと雑談系の Podcast も好きです。こちらはまったく聞いたことがなかった話題にも触れられるので、オススメのジャンルです。

A.1.7 こんな Podcast が聴きたい

ゆっくり実況プレイ動画について語る Podcast。筆者はゆっくり実況プレイ動画が大好きなので、いま見ているゆっくり実況プレイ動画やオススメのゆっくり実況プレイ動画を紹介する Podcast があると聞きたいと思います。

A.2 Podcast リスナーさんへのアンケート@KANE

A.2.1 簡単な自己紹介

KANE（カネ）と申します、Podcast をたくさん作ることで有名になってきました。Podcast に関することはなんでも大好きな人です。

A.2.2 どうして聴いているのか？

発信をしている人たちの想いを聞くことができるから。

A.2.3 主に何で聴いているのか？

PC がメインです。ソフトは Spotify を利用して聞くことが多いです。

A.2.4 いつ、どんなときに聴いているのか？

仕事中に聞いています。単純作業をするときなどは最高のシチュエーションですね。

A.2.5 Podcast の好きなところ

何かをしながら聞くことができるところです。

A.2.6 好きなジャンル

楽しそうに話している Podcast が好きです。あとは、音質に拘りを持っている人の Podcast は聞いていて心地が良いですね。

A.2.7 こんな Podcast が聴きたい

学生や若手の人が働くということについて楽しく語るようなラジオをどんなに出てきても飽きないと想います。

A.3 Podcast リスナーさんへのアンケート@えびちき

A.3.1 簡単な自己紹介

えびちき@ebichiki です。IT 企業で働くママエンジニアです。

A.3.2 どうして聴いているのか?

楽しいし、勉強になるし、気軽に聴けるからだと思います。元々はお笑い芸人の深夜ラジオを聴いていて、番組終了後のアフタートークを Podcast でやっていたのでよく聴いていました。Tech 系では「Rebuild.fm」を聴けばトレンドがわかるとおすすめされたのがきっかけでいろいろ聴くようになりました。

A.3.3 主に何で聴いているのか?

iPhone で聴いています。純正のアプリを使っています。

A.3.4 いつ、どんなときに聞いているのか?

通勤や家事をしながら Podcast を聴いています。

A.3.5 Podcast の好きなところ

耳を使って勉強や情報収集ができるので、退屈になりがちな家の時間が楽しくなりますね。

A.3.6 好きなジャンル

働き方について語る番組が好きです。自分とは違う世界で働く人を知ることができるので面白いです。

A.3.7 こんな Podcast が聴きたい

女性エンジニア向けの Podcast が増えて欲しいです。「yancan.fm」は女子会に参加している気分になれるので楽しいです。

A.4 Podcast リスナーさんへのアンケート⑥きり丸

A.4.1 簡単な自己紹介

きり丸と申します。podcast を聞き始めて、2年ほど経ちました。

A.4.2 どうして聴いているのか？

情報を得る目的もあれば、聞くこと自体も樂しいため。初めはサンドウィッчマンの「東北魂」や、「バイリンガルニュース」等を聞いていて Tech 系 podcast は聞いていませんでしたが、「<http://rebuild.fm>」、「<http://backspace.fm>」等の Tech 系 podcast から情報収集がメインになりました。

A.4.3 主に何で聴いているのか？

ios の純正 podcast アプリで聞いています。他の podcast アプリでは聞いていません。

A.4.4 いつ、どんなときに聴いているのか？

通勤時間で聞いています。または、料理や掃除等の手が離せないが耳は空いている時に聞くことが多いです。

A.4.5 Podcast の好きなところ

いつでも聞けるリアルタイム性がないところと、1.5 倍速で聞けるのでの時間当たりの情報密度を上げられるところです。

A.4.6 好きなジャンル

Tech 系や芸人のラジオ、その他ニュース系や英語学習の podcast をよく聞いています。

A.4.7 こんな Podcast が聴きたい

エンジニア系の人で雑談系の Podcast が聞きたいです。

A.5 Podcast リスナーさんへのアンケート@杉紘平

A.5.1 簡単な自己紹介

noracast というテック系 podcast を紹介する番組をやっています

A.5.2 どうして聴いているのか?

もともとは情報収集をブログよりラフな形でできるので聞いていました。最近はそのラフな形を noracast でアウトプットしようと考えながらも聴いています

A.5.3 主に何で聴いているのか?

overcast という iPhone アプリがメインです。おすすめフィードがあるのが便利です。apple 純正の podcast アプリも使っています。ランキングやこの podcast を聴いてる人へのおすすめなどをたまに見ています。

A.5.4 いつ、どんなときに聴いているのか?

移動中、作業中にきいています

A.5.5 Podcast の好きなところ

ブログよりかしこまらずに聴けるのが好きです。

A.5.6 好きなジャンル

技術的に難しくて自分には理解できないようなことが好きです。今はわからなくても、いつかあんなこと言ってたなーと思えるので。

A.5.7 こんな Podcast が聴きたい

おもしろいテック系 youtube の感想や紹介をしてくれる podcast が聞きたいです

A.6 Podcast リスナーさんへのアンケート@naokazu_terada

A.6.1 簡単な自己紹介

KARAPPO という千葉のデザイン会社の立ち上げメンバーで、昔はデザイナー／エンジニア半々という感じでしたが、今はほぼ 100% エンジニアです。

A.6.2 どうして聴いているのか？

いくつかあると思いますが、会社にエンジニアの仲間がいなくて、あまりテック系の話題で話せないから。特にすごい人たちの会話を聞くと勉強になるからでしょうか。一番最初に聞き始めたテック系ポッドキャスト番組は、多分「いつか音楽と呼ばれるもの」という 2008 年前後にやっていた番組で、テック系というだけでなく音楽／メディアアート色の強い内容でした。身近では聞けないこぼれ話が聞けるのがとても貴重でした。今も同じような感覚で聞いています。

A.6.3 主に何で聴いているのか？

Overcast (iOS)

A.6.4 いつ、どんなときに聴いているのか？

歩いている時、電車に乗っている時、寝る前、寝起き、食事中、トイレ中、掃除中、などなど聞けるときはいつでもという感じです。仕事中はあまり聞かないです。

A.6.5 Podcast の好きなところ

- ・「ながら」ができる効率的
- ・本音やニュアンス・温度感が伝わってくる
- ・得られる情報の密度が高い

などです。このあたりについてはブログ記事にしたことがあるので、もし時間があれば読んで見て下さい。

<https://tech.karappo.net/569>

A.6.6 好きなジャンル

テック系

A.6.7 こんな Podcast が聴きたい

何かサービスなどのプロダクトを作りながら、その進捗や考えたことなどについて話す番組。実際ものを作る時に、どんな思考で技術選定するのか、どういうふうに進めていくのか、などブログの記事になってしまふと結構きれいにまとめられてしまうことが多いので、もっと泥臭い生の声が聞けるといいなと思いました。

A.7 Podcast リスナーさんへのアンケート@みずりゅ

A.7.1 簡単な自己紹介

ねことうさまると技術の話が好きなしがないエンジニアです。最近は、背伸びして勉強会での LT や技術同人誌への寄稿とかしてたりします。それと、令和になって一人で Podcast 始めました。

A.7.2 どうして聴いているのか?

暇つぶし、兼、情報収集です。メインは、朝夕の混雑した通勤電車の中で iPhone にイヤホンつけて聴いています。また、比較的長距離を移動する（バス、電車、徒歩を問わず）場合に聞くことが多いです。

A.7.3 主に何で聴いているのか?

iPhone の Podcast アプリで聴くことが多いです。有線のイヤホンマイクをつけて聴いています。Podcast アプリで出てこない、もしくは最初の 2-3 回だけ聴く場合は、ノート PC や iPad のブラウザ上から聴いています。Anchor については、ブラウザで聴くと早送り／早戻しがやりづらいので、Anchor アプリで聴くようになりました。

A.7.4 いつ、どんなときに聴いているのか?

主に移動時です。あとは、大きな音の出ない簡単な家事とかをしている時にも聴きます。

A.7.5 Podcast の好きなところ

手軽に好きなことを聴いていられる。また、パーソナリティやゲストの方々が楽しそうに話しているのが好き。

A.7.6 好きなジャンル

ゲームを始めとした趣味話、技術に関すること全般、雑学なんかも好き

A.7.7 こんな Podcast が聴きたい

聴いていてワクワクしてくれるものならなんでも OK

A.8 Podcast リスナーさんへのアンケート@S(エス)

A.8.1 簡単な自己紹介

名古屋でフリーランスエンジニアしつつ、週末は家族が住む岐阜の山奥に戻る、デュアルライフ。「Tech 系フリーランスが選ぶ最近の気になるトピックス」を配信しています。

A.8.2 どうして聴いているのか?

- ・時間が有効に使えるメディアだから
- ・通勤途中、車の運転中でもインプットができるから
- ・楽しい、もしくは学びの多い番組がたくさんあるから
- ・聴き続けることで、インプットの習慣が出来上がるから

A.8.3 主に何で聴いているのか?

Android アプリ Podcast Addict (以前書いた記事→【2018】Android 用 Podcast(ポッドキャスト)アプリのベストは「Podcast & Radio Addict」だと思う理由)

<https://free-engineer.xrea.jp/1199>

A.8.4 いつ、どんなときに聞いているのか?

- ・通勤途中（歩いている時+電車の中。ただし電車内は読書優先。混んでるときに聞く。）
- ・車の運転中（週末、家族の住む岐阜まで片道 2.5 時間ほどかかるので、殆どずっと聞いてます。）

A.8.5 Podcast の好きなところ

ながら聴きが出来るところ。配信者の方と Twitter で繋がりやすいところ。

A.8.6 好きなジャンル

- ・Tech 系（難しすぎないやつ）
- ・ビジネス系（マーケティング関連）
- ・様々なジャンルで活躍されている人のお話を聴けるもの（「未来授業」とか）

A.8.7 こんな Podcast が聴きたい

興味が持てるジャンル（Tech 系など）の話を聴きつつ、英語が学べるもの。例えば、ネイティブの英語／日本語話者が組んで、前半・オール英語、後半、オール日本語、とか。

A.9 Podcast リスナーさんへのアンケート@おやかた

A.9.1 簡単な自己紹介

合同誌を生やす/本書きませんか？ お兄さん、おやかた@ oyakata2438 です。

A.9.2 どうして聴いているのか？

知人友人が出ているやつをつまむくらいで、本数はあんまり多くないです

A.9.3 主に何で聴いているのか？

PC がメインです。ブラウザで公開ページ直接開いて埋め込んであるやつを再生する形です。

A.9.4 いつ、どんなときに聞いているのか？

時間があんまり取れないので、残念なところですが、原稿やりながら聞くことが多いです。あとは、部屋の片付けとかやるときにBGMとして。

A.9.5 Podcast の好きなところ

パーソナリティやゲストのバックグラウンドや考え方方が知れるところ。

A.9.6 好きなジャンル

技術書界隈の人が出てるやつをよく聞きます。出演者の考え方が出ている、私はこれが好きだからやってる！ がよく分かる放送回が楽しいですね。

A.9.7 こんな Podcast が聴きたい

技術同人誌界隈の人のをもっと聞きたい。みんなもっと出演してー

A.10 Podcast リスナーさんへのアンケート@いわしまん

A.10.1 簡単な自己紹介

いわしまんと申します。Twitter やブログで、イベントや技術書や同人誌、Podcast の感想を呟いたりしています。本書で語られているであろう Podcast 群では、『しがないラジオ』sp.53a/b、『aozora.fm』 24 回にゲスト出演させていただいている。

<https://shiganai.org/ep/sp53a-iwasiman> <https://shiganai.org/ep/sp53b-iwasiman>
<https://fortegp05.github.io/aozorafm/episode/24>

A.10.2 どうして聴いているのか？

広い視点に立って幅広く情報を摂取でき、様々な人の話を聴けるから。自分は比較的大きな企業、揶揄するならば Japanese Traditional Big Company というやつに近いところで働いていますが、多くの社員がそうであるように社内に留まっているとどうしても視野が狭まってしまう、もっと広く様々な立場の人たちを知り、社外から刺激を受けていく……という想いが前々からありました。エンジニア界隈を活動領域に定めてブログを再起動し、繋がりが増えてきてからその想いはさらに強まりました。Podcast はちょうどその目的に沿ったツールだったわけです。また、多彩な人の面白い話が聴けるのがそもそも楽しいからという理由もあります。

A.10.3 主に何で聴いているのか？

端末はほぼ 100% スマートフォン、自分の場合は iPhone から。アプリは主に付属の Podcast アプリからです。恥ずかしながら Podcast を聴き始めてから初めて、いつも最初から入っているこの紫色の謎のアイコンのアプリの価値を知りました……。アプリに配信されない Podcast の場合は Anchor や Spotify などなど、ブラウザ経由のアクセスなどで聴いています。アプリ経由の方が何かと便利ですね。

A.10.4 いつ、どんなときに聴いているのか？

僕は仕事とプライベートが適宜離れていた方が気分転換になる人間なので、通勤に時間がかかるけど住みやすい郊外に居を構えつつ、通勤電車の移動時間を読書や学習、ネットの情報収集、音楽や Podcast、瞑想や休息という名の眠りに充てるというライフスタイルを取っています。なんとなく帰りの楽しみに聞きたい感があるので、Podcast はいつも通勤の帰りに聞くことにしています。仕事や家での作業中に聴くことはないです。世の中に

はジョギングしたり本を読んだり家事をしながら Podcast を聴けるマルチタスク可能な器用な方もいるようで、自分も色々試したのですが集中して本を読みながらは無理なのが分かりました。Podcast を聴きながら同時に取るアクションは自分の場合、はてなブックマークを巡る/Twitter を眺める/読者登録しているはてなブログを巡る……など、ながら作業でゆる~くやれる範囲に留めています。

また、拝聴したらなるべく推奨のハッシュタグで感想をツイートするようにしています。これは自分の聴いた記録ログになること、それが元になってネットでアクションの連鎖が広がっていくこともあること、そして Podcaster や出演者の方がたいていの場合フィードバックをとても喜ぶことが理由です。こうしたアウトプットの連鎖がエモい力になって共鳴し、より大きく広がっていくのは、インターネット黎明期の時代から同じだな……と思っています。

A.10.5 Podcast の好きなところ

- 耳から摂取する情報なので、電車が混んでいたり両手がふさがっていても摂取できるところ。
- 本や映像情報ほど集中していなくても、ゆるく視聴できるメディアであるところ。
- 会話の抑揚や温度感から文字よりも多くの情報を得ることができ、広く情報を摂取できるところ。
- 文章の校正が入ったりしない生の声なので、リアル感や生感のある話が聴けるところ。
- リアルタイムでなくてもいつでも聴けるところ。
- 感想のハッシュタグを追うとリスナー同士の連帯感が生まれ、そこから盛り上がりできるところ。
- 聴いて終わりのように見えて、人との新たな繋がりを生み出すツールでもあるところ。
- エンジニアの自己紹介や名刺代わり、セルフプランディングというやつの媒体としても有効なところ。
- そして、イベントの多い首都圏限定かもしれませんが、リスナー界隈で人が物理的に出会うと、初めてのはずなのに声と人となりを知っているという不思議な現象が起こるのは、なかなか面白いと思っています。

A.10.6 好きなジャンル

テック系 Podcast しか聴いていないのでジャンルを語れるほどではないのですが。技術系トレンドの話もいいし抽象度の高い話も良いし、様々な人のこれまで辿ってきた人生

のジャーニーの話を聞くのも好きです。といいつつ、少しでも知っている人が出演して趣味の話題を話していて、聴いている自分も分かってギュピーンときたりガタッ！ とくる瞬間もけっこう好きです。

A.10.7 こんな Podcast が聴きたい

いろんな人が登場して多彩な話が聞ける Podacast かな。僕もそもそも繫がりの最初のきっかけが『しがないラジオ』でしたし、その後も Podcast を聴いたり出演したことがきっかけで、たくさんの良き出会いに恵まれました。これまでに縁のあった方々が、あの Podcast やあの Podcast にゲスト出演したり新たな Podcast が生えちゃったりする日を楽しみにしています！

A.11 Podcast リスナーさんへのアンケート@ひな

A.11.1 簡単な自己紹介

ひらがなふたつでひなです。ソニーの携帯ゲーム機 PlayStation Portable の RSS チャンネル機能をきっかけに、Podcast の存在する世界線に移動しました。

A.11.2 どうして聴いているのか？

元々は英語のリスニングを目的に聴き始めましたが、技術系 Podcast を知ってからは、パーソナリティの近しくも新しい世界観に触れる面白さを感じ、そしてその語りの雰囲気を楽しむようになりました。雰囲気の楽しさというのは技術系に限るものではなく、Podcast の話し手自身が持つ魅力として、その声を聴くために聴くこともあります。

A.11.3 主に何で聴いているのか？

iPhone SE & Overcast。スマートフォンは Podcast のクライアント用と割り切って、サイズの小さい端末を使い続けています。Overcast は自らも Podcaster である開発者 Marco Arment が開発したアプリで、2014 年にバージョン 1.0 がリリースされて以降、今なお更新が続けられています。リリース当初からの売りである Smart Speed と Voice Boost の両機能をはじめとして、Podcast リスナーの QOL を上げる工夫が随所に盛り込まれていますので、興味を持たれた方は是非試してみてください。

A.11.4 いつ、どんなときに聴いているのか？

通勤などの移動中、もしくは自宅での家事のお供に。移動中に聴くときには、以前に Rebuild.fm で紹介されていた片耳だけの Bluetooth イヤホン Rowkin Mini を使っています。エピソードを聴いた当時すぐに欲しくなり、ちょっと頑張って海外通販で購入。その後うっかり落として壊れた折に買い直しましたが、2 台目は今に至るまで使い続けています。自宅では水回りにも持ち込めるよう防水スピーカーを繋いで使用。

A.11.5 Podcast の好きなところ

便利さでいえばいつでも聴けるところ、そしてながらで消費できるところ。後者はラジオにも当てはまりますが、しかしラジオよりも近しさが感じられるところが好きです。それは取り上げられる話題もそうですし、パーソナリティの属性からもいえることです。

そして良い意味で地味であるところ。動画ほど衆目を集めることはなく（音声だけに）、

しかしそのぶんパーソナリティが語りたいことを語る態度、個人発信の自由さを残しているところが好きです。こうした地味さはブログなどの文字媒体にもあるのですが、しかし Podcast は話者の声を通すことで、話し手が持つ気配や楽しい雰囲気を伝えるのにより優れていると感じます。自分が好きなものについて、その対象がなんであろうと他者と語らうのはとても楽しい、ということは、Podcast を聴いているととても良く理解できます。

A.11.6 好きなジャンル

自分自身の来し方を振り返りますと、当初の目的でもある英語ニュースに加えて、技術系、論文の紹介、ゲーム関連の番組を聴き続けており、自分がこうしたジャンルが好きなのだとわかります。あとはパーソナリティの声を聴くために聴く番組が 2 つ 3 つほどあるでしょうか。

自分が購読している番組リストは、バックアップも兼ねて定期的にログを取っておくことをおすすめします（上で紹介したアプリ Overcast には OPML エクスポート機能あり）。あるものは聴き続け、またあるものは新たに追加・もしくは購読解除していくうちに、自分の嗜好と指向の移り変わりが自然と見えてくることでしょう。

A.11.7 こんな Podcast が聴きたい

かわいい合成音声の VPodcaster^{*1}。バ美肉 VTuber に衝撃を受けたので自分でやろうと刹那に思い立ちましたが、ボイスチェンジャーを購入せても思うような声にならず、自分で美少女を騙り語ることは早々に諦めました。お声のよろしい皆様におかれましては是非とも積極的な検討をお願いしたいです。かわいい声はそこにあるだけで価値がありますよね！

^{*1} Yatteiki Project 『今日からはじめる技術 Podcast 完全入門』株式会社インプレス R&D

付録 B

Podcaster さんへのアンケート

ここは付録として、Podcaster として Podcast を配信している人に向けたアンケートです。Podcast をやってみたいなーという人や、Podcas を聴いているけど裏側にちょっと興味があるという人にぜひ読んでほしいアンケートです。

質問内容は次のとおりです。

募集テンプレート

= Podcaster さんへのアンケート@だれそれ

== Podcast タイトル

== なにをやっているか（内容など）

== なぜやっているのか

== これから始めたい人にひとこと。

== Podcast の宣伝 & URL

B.1 Podcaster さんへのアンケート@FORTE

B.1.1 Podcast タイトル

aozora.fm

B.1.2 なにをやっているか（内容など）

aozora.fm は仕事や趣味の楽しさを共有する podcast です。ゲストさんをお呼びしてゲストさんが楽しんでいること、昔楽しんでいたこと、これから楽しみたいことをあれやこれやと会話する Podcast です。たまにパーソナリティ FORTE の一人回もあったりします。

B.1.3 なぜやっているのか

自分や誰かの楽しさを共有したかったからです。仕事でも趣味でも楽しく過ごせている人がいる一方で、楽しいことなど何もないという人もいます。またいま楽しんでいることがある人も、もっと楽しいことだったり、別の楽しさを知りたいこともあると思います。「知る」ことは非常に大事だと思っているので、楽しさを知ってもらうために Podcast をやっています。

B.1.4 これから始めたい人にひとこと。

Podcast 自体は簡単に始めることができます。続けるのが大変なのは事実ですが、それは続けたい!と思ってから考えればよいことで始める前に考えるべきことではありません。まずは始めてみてその楽しさを経験してください。楽しさがあれば、続ける一助になります。ぜひこの「楽しさ」を知ってください。そして Podcast を始めたたらゲストに呼んでください w

B.1.5 宣伝& URL

aozora.fm という Podcast をやっています。URL は次のとおりです。

<https://fortegp05.github.io/aozorafm/>

公開収録や公開聴取会など Podcast を配信する以外にもいろいろな楽しさを共有していますので、一緒に楽しみましょう！

B.2 Podcaster さんへのアンケート@KANE

B.2.1 Podcast タイトル

- おしごと am
- おしゅうかつ am
- たまよくラジオ
- 成し遂げたい am
- そこまでゆうかねラジオ
- おやかた.am
- 三日月ラジオ

B.2.2 なにをやっているか（内容など）

- おしごと am
 - おしごと am は、おしごとを頑張りたい人に送る、おしごと界隈ラジオです。
これから社会に出て活躍をする、仕事を頑張りたい人へのアドバイスを中心に
将来的なキャリアに関して色々と話しをしています。
- おしゅうかつ am
 - おしごと am のスピノオラジオです。おしごと am よりも就活にフォーカス
をして学生へのアドバイスを中心に話をしています。
- たまよくラジオ
 - ずんだまる（仮）と KANE が"魂をより良くする"をテーマに語ります。皆さん
の"たまよく活動"を応援するラジオです。
- 成し遂げたい am
 - このラジオは今自分が成し遂げたいと思っていることを探求するラジオです。
既になしとげたいことがある人はそれを発表して、まだ成し遂げたいことが固
まっていない人はそれを見つける。そんなラジオを目指しています
- そこまでゆうかねラジオ
 - このラジオはパーソナリティの悠と KANE がゲストを招待し、様々なテーマ
について話をしながら新しい価値観を開拓するラジオです。人材のお仕事に携
わる僕たち二人が「人」にフォーカスを当てていきます。また、僕たちは IT
業界で働いていますが、IT 業界の方々に限らず様々な人と様々なテーマにつ

いて話をします。

- おやかた.am
 - おやかたと KANE が、技術書典に関してワイワイがやがやしながら話をしていく Podcast です。
- 三日月ラジオ
 - サービス開発をしている人をお呼びして、今後開発をしたいと思っている人に向けて情報を発信する Podcast です。

B.2.3 なぜやっているのか

どの Podcast も共通しているのですが、様々な人の発信をしたいという気持ちを叶えるために作りました。自分 1 人ではなかなか伝えられないことも誰かと一緒に伝えられる。ゲストを呼んで一緒に話することでいつもとは違う視点で話をすることができる。そういう場作りが好きなのでこれだけの数の Podcast を作っています。

B.2.4 これから始めたい人にひとこと。

最初はリスナーが 1 人かもしれません。しかし、続けていく中で必ずファンは増えています。再生回数や反応にこだわりすぎることなく、話をしたいことを話すというの大切にしてもらえばと思います。

B.2.5 宣伝 & URL

- おしごと am &おしゅうかつ am
 - <https://www.oshigotoam.com/>
- たまよくラジオ
 - <https://anchor.fm/zunda>
- 成し遂げたい am
 - <https://anchor.fm/nashio/>
- そこまでゆうかねラジオ
 - <https://anchor.fm/yukaneradio>
- おやかた.am
 - <https://anchor.fm/kane4>

- 三日月ラジオ
 - <https://anchor.fm/crescentradio>

B.3 Podcaster さんへのアンケート@naokazu_terada

B.3.1 Podcast タイトル

noracast

B.3.2 なにをやっているか（内容など）

"noracast"（ノラキャスト）は、オンラインコミュニティ "DevelopersJP"周辺にたむろするノラ猫エンジニアたちが、近頃流行りのテック系ポッドキャストを“サカナ”に話す番組です。DevelopersJP は、フリーランスや小さな会社のエンジニアが集って、わいわいワイワイしている Slack のことです。

B.3.3 なぜやっているのか

それまで一人で聞いていただけだったのですが、DevelopersJP という Slack コミュニティに入って、ポッドキャスト好きの人出会って、「仲間を見つけた！」という同じ気持ちで盛り上がったのがきっかけです。

B.3.4 これから始めたい人にひとこと。

頑張って下さい！期待しています！

B.3.5 宣伝& URL

Podcast 好きの方で、ゲスト出演したい方がおられればぜひ声をかけて下さい！

<https://noracast.jp/>

B.4 Podcaster さんへのアンケート@みずりゅ@MzRyuKa

B.4.1 Podcast タイトル

おぼえられたいラジオ

B.4.2 なにをやっているか（内容など）

昔のゲームの話、読んだ本の話、参加したイベントの話などをしています。本当にただの雑多な話です。

B.4.3 なぜやっているのか

イベントで人に会ってにも覚えられない。何をしている人なんですか、に答えられない。最近、何回か会ったことがある人に名前を間違えられた。先日出演した Podcast で「みずりゅさんて影が薄いですよね。」（意訳）と言われた。そんな状態からは抜け出したい想いで始めました。あとは、「話す」（喋る？）の練習の込みで。

B.4.4 これから始めたい人にひとこと。

はじめること自体は Anchor などのアプリを使えばものすごく簡単です。また、「今日からはじめる技術 Podcast 完全入門」と言う技術同人誌もあるので、それを参考にするのも良いでしょう。話すことがないと思っても、書き出してみたり、相方と話をしてみたら意外と話すことがポロポロと出てきます。もちろん、Podcast のコンセプトはあったほうが良いですが、なくても平気です。ブログみたいな感じでいいんですよ。再生回数が…とか考えるかもしれません、有名人でもない限りは再生回数が 0 だって当たり前なんです。（自分が聴く立場になれば、なんとなくわかりますよね。）偉そうなこと書いていますが、自分もそんなこと考えて始められなかったクチです。でも、Podcast を始めたら何か変われるかな、と考え始めたら、イヤホンマイクを使って収録していました。元号が「令和」になったと言うのも後押しされたきっかけですね。良い点も悪い点も改善点もわからないと思います。ですから、「やってみたい」と思ったご自身の想いを大切にして、やりたいことをやれば良いのだと考えます。最後に、マイクだけは意識しておいた方が良いですね。自分はイヤホンマイクから雑音／ノイズが入った関係で、1 回目の収録は 4 回やり直しました。

B.4.5 宣伝 & URL

今は一人で虚空に向かって話しているだけですが、そのうちにゲストをお呼びして話をていきたいと考えてたりしています。Anchor で収録／公開しているので、ひとまずは Anchor での URL を載せておきます。

<https://anchor.fm/mzryuka>

B.5 Podcaster さんへのアンケート@S(エス)@esu

B.5.1 Podcast タイトル

「Tech 系フリーランスが選ぶ最近の気になるトピックス」

B.5.2 なにをやっているか（内容など）

IT 関連ニュースの紹介と、オモロイ人へのインタビュー

B.5.3 なぜやっているのか

自分が愉しみつつ、多くの人に喜んでもらえるメディアを自分で創りたかったから。

B.5.4 これから始めたい人にひとこと。

やらずに後悔するより、やって挫折した方が人生は豊かになると思うのです。最初は驚くほど、誰も相手にしてくれませんし、徒手空拳の時間が続きますが、それを踏まえつつ、「自分が楽しむには？」を考えながら番組を作ってみると良いんじゃないでしょうか。きっとネット上のどこかに、あなたを応援したい！ と待ってる人が居ると思いますよー。

B.5.5 宣伝& URL

「Tech 系フリーランスが選ぶ最近の気になるトピックス」は、フリーランスの視点で、気になった記事を紹介しています。技術的な記事は少ないので、働き方や、世の中が変わりそうな兆しにアンテナを張りつつ、記事をチョイスしています。また、たまたまご縁を頂いた、オモロイ人（変わった働き方をされていたり、面白い活動をされている方）へのインタビュー音声も配信しています。

<https://free-engineer.xrea.jp/techfree-podcast>

B.6 Podcaster さんへのアンケート@akazunoma,yyykn

B.6.1 Podcast タイトル

にんげんがへたエフエム

B.6.2 なにをやっているか（内容など）

「にんげんがへたなりになんとかやっていく人のためのゆるふわ Web ポッドキャスト」をコンセプトに、人生を楽にするためのゆるふわライフハックを展開中。Web ディレクターと Web エンジニアのふたりでメンタル＆フィジカル＆テクニカル、たまにエモーティブな目線で日常に触れていきます。

B.6.3 なぜやっているのか

「コンフォートゾーンを破りたい」という気持ちをきっかけに、ぼんやりと始まりました。Podcast による自分の声を録音し自分を言語化するという行為で、自身の精神性を俯瞰した目で見られると考えています。自分の考えの外部発信という目的以上に、定期的に二人で対話することによる人生のセーブポイントとしての役割が大きいです。クリエイターとして速を高く継続的にアウトプットをし、ときに自身を振り返るための、akazunoma と yyykn の「ふたりのライフノーツ」として収録・配信しています。

B.6.4 これから始めたい人にひとこと。

世界のみんなが立派なインフルエンサーになる必要はありません。あなたの何気ない出来事やほんの小さな気持ちが、どこかの誰かの大きな驚きや大切な発見になるかもしれません。Podcast は日常の延長線、あなたの人生で感じたことをそっと額縁に入れる気持ちで楽しくやっていきましょう。

B.6.5 宣伝 & URL

にんげんがへたエフエム

<http://ningengaheta.me/>

あなたの「にんげんがへた」なエピソード募集中。

B.7 Podcaster さんへのアンケート@おやかた@oyakata2438

B.7.1 Podcast タイトル

おやかた.am -おやかたと KANE が技術書典に関する技術書を褒めちぎるラジオ-

B.7.2 なにをやっているか（内容など）

技術同人誌を褒めちぎるらじお。本を取り上げて、中身を読んで、ここが面白かった、をはなします。あるいは著者に自ら自分の本の紹介をしていただきます。技術書典などのイベント前には、自著の宣伝などもやります。本の宣伝をしたい方、ぜひ。

B.7.3 なぜやっているのか

自分の積読対策と、Podcast をやってみたかった。そしたら、KANE さんがさくっと環境を設定してくれて、編集もやってくれて。本当にありがとうございます。

B.7.4 これから始めたい人にひとこと。

とりあえずやってみればいいと思います。エンジニアの飲み会を録音して（編集して）Podcast として流すだけでも、とっても面白い Podcast になります。aozorafm の特別回で2回ほどやってもらいましたが、それ自体でもすごく面白いです。

構えると大変なんですが、とりあえずやってみましょう。あとは、経験のある人に優しくリードしてもらえるとハーダル下がりますね。数回喋ってみると、やっぱりなれてなめらかになっているのがよくわかります。1-2回やってみると、案外ネタが出てきたり、続けたくなったり。

B.7.5 宣伝& URL

技術同人誌の著者のゲスト出演をお待ちしております。収録は不定期ですが、オンライン収録も可能。こんな素敵なお話を書いたので宣伝させろ、でお声がけください。頑張って読みます。

おやかたと KANE が技術書典に関する技術書を褒めちぎるラジオ <https://anchor.fm/kane4>

付録 C

aozora.fm オンライン公開収録に参加しました

C.1 リスナー参加型の Podcast

Podcast が聴いていると楽しくなってきて、出演してみたい気持ちがだんだん出てきます。でも、なんだか大変そうだし、やっぱり恥ずかしい。そう思っていた時に、チャットで参加できる Podcast のオンライン公開収録が開催されることを Twitter を通して知り、参加してみることにしました。

C.2 ここが面白い

aozora.fm の初の公開収録に参加しました。Discord というチャットアプリを使います。(詳しくは「すばきゅす」の紹介にて)

この日は「Podcast」をテーマにおすすめの Podcast などについて語り合いました。パーソナリティの FORTE さんや一緒に参加しているリスナーさんの興味をリアルタイムに知ることができます。いろいろな Podcast があるんだなと思い、新しい発見でした。ジャンルの幅が広がります。

チャットで質問や感想などコメントを送ると FORTE さんがそれを拾って読み上げていきます。インターラクティブに番組が構成されていくのがとても面白いです。自分が送ったコメントが読まれるとちょっと恥ずかしいけど嬉しいです。

C.3 いよいよ配信

収録から数日後に Podcast が公開されます。エピソード Web ページには私の Twitter アイコンを掲載してもらいました。これで私も憧れの Podcast に初出演ですね。

C.4 最後に

オンライン公開収録に参加して Podcast の楽しみ方が増えました。他の Podcast でもこのようなイベントが増えればいいなと思いました。マイクで話す必要はありません。チャットで気軽に参加してみませんか？

付録 D

Podcast 特別編

ワンストップ Podcast の完成を記念して、(収録時点ではまだ執筆中ですが)、特別版 Podcast を収録・配信しました。

下記 URL からお楽しみください。

あとがき

この本を手にとっていただきありがとうございます。

ワンストップ Podcast いかがだったでしょうか？ 10 人以上の Podcaster の知見が詰まった厚い本になったと思います。

Podcast を聞いてみたくなりましたか？ 配信してみたくなりましたか？ ゼひ、この本の感想やこんな Podcast を見つけた・聞いてみた、あるいはこんな Podcast を始めました、などは、教えてください。#ワンストップ Podcast などのハッシュタグをつけてつぶやいてくれれば、探します。この本があなたの「何かを始めるきっかけ」になれば幸いです。

この本は、ある日、私と KANE さん、FORTE さんの三人で、イベントの打ち上げの後、Podcast を収録し、そのあと軽く飲みながら、「Podcast に関して本を書きたいんだよなー」という KANE さんの一言から始まりました。ですが、その時点ではまだ内容も固まっておらず、KANE さん一人では書ききれないかなー、という話でした。ですが、それをきっかけとして、その場で目次案を固め、解散後にリポジトリ、CI の構築を済ませ、同時に著者募集記事や FORTE さんによる著者募集が始まりました。

きっかけはちょっとしたことですが、それをうまく育てることができた結果、この本が出来上りました。改めて、お二人と、寄稿、アンケートにご協力いただきました著者の皆様にお礼申し上げます。

また、今回の企画のきっかけ及び精力的な著者勧誘をやっていただきました、KANE さん、FORTE さんには、改めて編集後記として一言づついただいています。

KANE です。ワンストップシリーズは、みなさんを次のステージに連れて行ってくれるような本が揃っています。この本を読んだあなたはすぐにでも Podcast を初めることができます。あなたも今日から Podcaster だ！！

FORTE です。本書はおやかたさんと KANE さんと私が Podcast に関する Onestop 本を書こう！内容はこんな感じで！といった軽いノリで始まりました。ですが、多くの執筆者、アンケートのご協力をいただけて非常に豪華な本になったと思います。実際に読んで

みていただくと酒の席での盛り上がりがきっかけとはとても思えない出来栄えだと思います。Podcaster として Podcast リスナーとして、この楽しさが伝わったら非常に嬉しいです。そして Podcast リスナーと Podcaster が増えることを心から祈っております。ぜひあなたの楽しい話を聞かせてください。

それでは、そろそろ締めたいと思います。この本を参考にして、あなたの Podcast 生活が実り多くなりますよう。また次の本でお会いしましょう。

親方 Project では、さまざまな合同誌を通じて、皆さんの執筆及びアウトプットを応援しています。常時いくつかの合同誌企画がうごいていますし、元ネタも募集しております。この本を読んで、ちょっとかいてみたくなったなー、合同誌のネタ思いついたなーという方は、ぜひ教えてください。全力でサポートいたします。

2019年7月
編集長 親方@親方 Project 拝

著者紹介

発起人/編集



親方 @oyakata2438 <https://twitter.com/oyakata2438>

サークル名：親方 Project

「技術書を生やすお兄さん」として、技術書執筆者のみなさんと楽しくやっています。技術書執筆のメリットとメソッドを布教中。執筆は、「アウトプットの一つの形」としてオススメ。コミケと技術書典、その他技術同人誌に関連するイベントにはできるだけ参加したいと思ってます。イベント会場でぼくと握手。普段は「レーザープロジェクタ自作するためのいろいろ」というあたりのネタで執筆中。デッドライナーだけど、最近締め切りをでっち上げて自分の尻を叩く方法を学んだので、コンスタントに本が書けるようになった。プログラミングは苦手。合同誌のネタはいつでも募集中です。思いついたことがあれば教えてください。お膳立てとお手伝いします！

執筆者



KANE <https://twitter.com/higuyume>

情報発信をベースに間接的にエンジニアを応援する人！ 人の成長や充実を真剣に考えてます。Podcast を複数配信していることで有名になってきました。



FORTE(フォルテ) <https://twitter.com/FORTEgp05>

SIer から Web 系に転職し、いまはスマホアプリの開発をしている IT エンジニア。Twitter、ブログ、Podcast 配信、数多くの趣味と楽しく活動中。Podcast の楽しさをさらに広めるため、Podcast を始める人が増えて楽しい Podcast を増やすため、何よりも自分が楽しいので Podcast 本を生やしました。



えびちき <https://twitter.com/ebichiki>

IT企業で働くママエンジニアです。通勤や家事をしながら Podcast を楽しんでいます。



きり丸 <https://twitter.com/nainaiistar>

SIer のウォーターフォールを経験したのちに、転職してアジャイル開発を楽しんでいる最中のアプリエンジニア。サボり癖があるので、勉強会に行くことで色々なことを吸収しています（しているつもりです）年に1回くらいのペースですが、ゆるゆるとよさこいでどこかに出没しています。



koheisg <https://twitter.com/koheisg>

普段は Ruby on Rails を中心としたフリーランスのエンジニアをやっています。フリーランスのエンジニアはリモート作業も多いので、podcast は心の友です。podcast 好きがワイワイ話してる noracast もぜひお聞きください。



寺田直和 https://twitter.com/naokazu_terada

千葉の小さなデザイン会社 KARAPPO (<https://karappo.net>) の共同設立者です。元々デザイナー兼エンジニアでしたが、今は開発をメインで担当しています。デザインとプログラミングの力で解決できることは何でもします。ウェブ案件では WordPress やSSG を使うことが多いです。何か役に立つツールを作る事が好きです。現在、弊社では一緒に働く仲間を募集中です。デザインと開発両方に興味があり、弊社の過去の実績や考え方をご覧いただいて共感していただける方はぜひ一度お話ししましょう！採用情報ページ：<https://karappo.net/news/recruit/2019/>



みずりゅ @MzRyuKa <https://twitter.com/mzryuka>

のんびりごろごろ、ネコ、うさまる、技術の話は大好きです。SIerですがアジャイルな開発も経験しています。最近は思うところもあり、色々と活動中。最近のお気に入り言語は Go 言語です。



S(エス) <https://twitter.com/goodengineer7>

平日は名古屋でフリーランスエンジニア。ずっと Java・C#で SES 客先常駐パターンでしたが、ようやく Web 系の案件 (Laravel+Vue.js) に転向できました。週末は鹿が出る岐阜のド田舎で家族と暮らしています。43 歳の時、手取り 19 万円だったブラック企業を脱出してフリーランスへ。電子書籍で生々しい経緯を無料配布中 <http://bit.ly/FSE-FreeEBook>



akazunoma <https://twitter.com/akazunoma>

寝相が良い Web ディレクター。ドワンゴ、DMM.com などの様々な Web 企業勤務を経て楽しく暮らす。口癖は「なんか」と「あの」。



yyykn

Web の片隅でなにかをつくっています。やっていきましょう。podcast はたのしいです。紹介する自己がありません。



いわしまん <https://twitter.com/iwasiman>

エンジニア転職戦線がまだ SIer 対 Web 系でなく汎用機系対オープン系で語られていた時代、金融系から SIer(たぶん) に転職してサバイブしてきた IT エンジニア。会社では SE だけほぼソフトウェアエンジニアであり、Web エンジニアぼくもあり、何エンジニアなのかよく分からなくなっています。サーバサイドがメインでアーキテクト的な立ち位置が多いです。2019 年は AWS の学習を始めてみました。皆さんのエンジニアライフが、Podcast と共により楽しくなりますように！



ひな <https://twitter.com/hinahypersonica>

研究者。普段は本とゲームを語りますが、細く長い Podcast 聴き専でもあります。Podcast 本が生えると知って思わずアンケートに名乗り出てしましましたが、出処の知れない回答を拾っていただいたことには感謝しかありません。皆様に Podcast の楽しさが少しでも伝わりますように。

表紙イラスト担当



湊川あい @llminatoll <https://twitter.com/llminatoll>

サークル名：湊川あいの、わかば家。 <http://webdesign-manga.com/>

絵を描く Web デザイナー。『わかばちゃんと学ぶ』シリーズなどを描いています。前回に引き続き、表紙イラスト、漫画、一部本文に参加させていただきました。いつもありがとうございます。マイクにやりすぎない金属感が出せたのと、ワンストップちゃんを生き生きとかわいく描けたのが満足です。裏表紙のちびキャラも注目。

OnestopPodcast

2019年7月27日 技術書同人誌博覧会

編 集 親方 Project

発行所 親方 Project

印刷所 K-9(ケーナイン)

(C) 2019 親方 Project